2024 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関する
アンケート調査
【調査結果報告書】

2025 年 6 月

西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査」については、本文中「就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査」と略称表記（以下同様）

目　次

第１章　卒業生アンケート 1
　１．調査の概要 1
　　【調査結果の見方】 1
　２．調査結果 2
　　〔１〕回答者について 2
　　〔２〕現在の仕事について 3
　　〔３〕転職の状況について 12
　　〔４〕未就業の状況について 16
　　〔５〕仕事についての感想（自由意見） 19
　　〔６〕大学・短大で受けた教育について 31
　　①　達成度と必要性（全体） 31
　　②　達成度と必要性（学科別） 33
　　③　能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体） 37
　　④　仕事をする上で重要だと思う事 43
　　〔７〕大学時代で有意義だった授業 45
　　〔８〕更にあればよかった授業の具体案 50
　　〔９〕大学の講義以外で希望する支援・経験 54
　　〔１０〕大学に対する意見・要望（自由意見） 57
　３．調査結果のまとめ 59
第２章　就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート 63
　１．調査の概要 63
　【調査結果の見方】 63
　２．調査結果 64
　　〔１〕回答者について 64
　　〔２〕仕事に必要な能力 65
　　①　必要性と達成度（全体） 65
　　②　必要性と達成度（学科別） 67
　　③　採用の際に重要視する能力 71
　　〔３〕事業所の概要 73
　　〔４〕学生に希望する資格や検定 76
　　〔５〕大学生の人間形成に必要な支援 78
　　〔６〕採用について 80
　　〔７〕大学に対する意見・要望（自由意見） 85
　３．調査結果のまとめ 88
第３章　調査項目 90

第１章　卒業生アンケート

１．調査の概要

調査対象者	2022 年 3 月卒業生
調査方法	郵送配布、Web回収
回収数	232 人
調査時期	2024 年 12 月 13 日～2025 年 3 月 3 日
回収率	下表の通り

	依頼卒業生数	回答人数	回　収　率
看　護　学　科	94	38	40.4%（43.6%）
福　祉　学　科	72	41	56.9%（39.5%）
栄　養　学　科	77	39	50.6%（32.3%）
英　語　学　科	55	25	45.5%（40.0%）
観 光 文 化 学 科	61	38	62.3%（49.1%）
助　産　別　科	16	11	68.8%（43.8%）
全　　体	375	192	51.2%（41.1%）

（）内は前年度回収率

	依頼卒業生数	回答人数	回　収　率
保　育　科	68	40	58.8%（37.8%）
全　　体	68	40	58.8%（37.8%）

（）内は前年度回収率

【調査結果の見方】

○回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第 2 位を四捨五入している。このため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。また、2 つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

○学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。

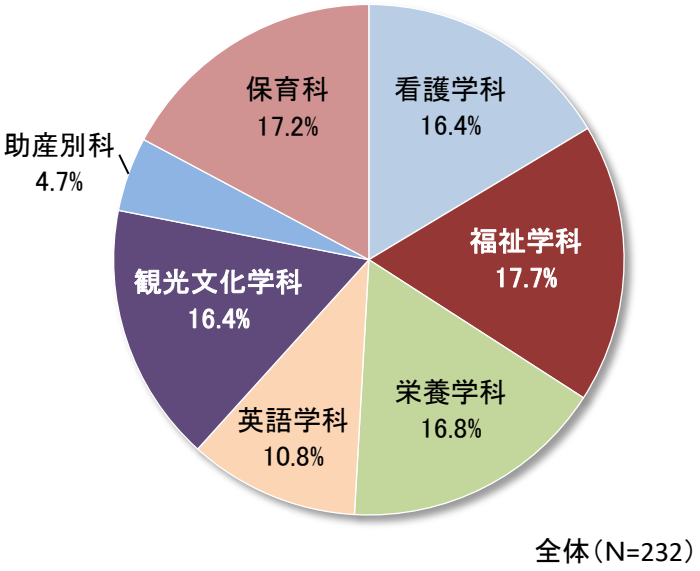
○報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。

○本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第３章　調査項目」を参照のこと。なお、調査項目は大学・短期大学部ともに同様の調査項目を使用しているため、大学用の調査項目を添付するものとし、短期大学部用の調査項目の添付は省略する。

２．調査結果

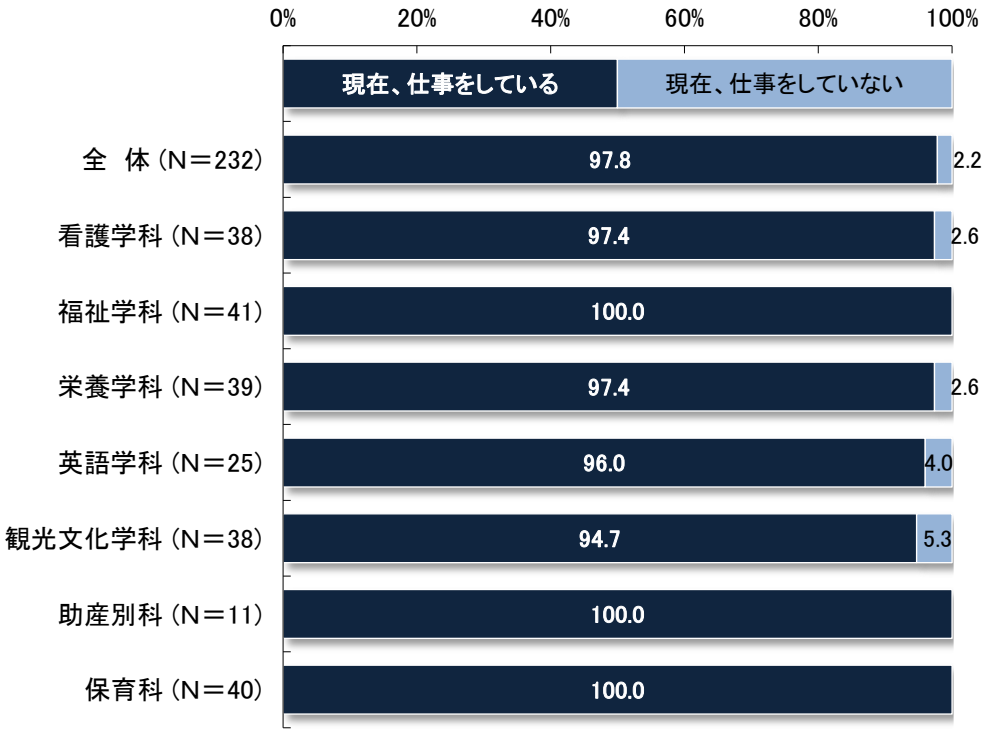
〔1〕回答者について

【卒業した学科】



全体（N=232）

【現在の状況】



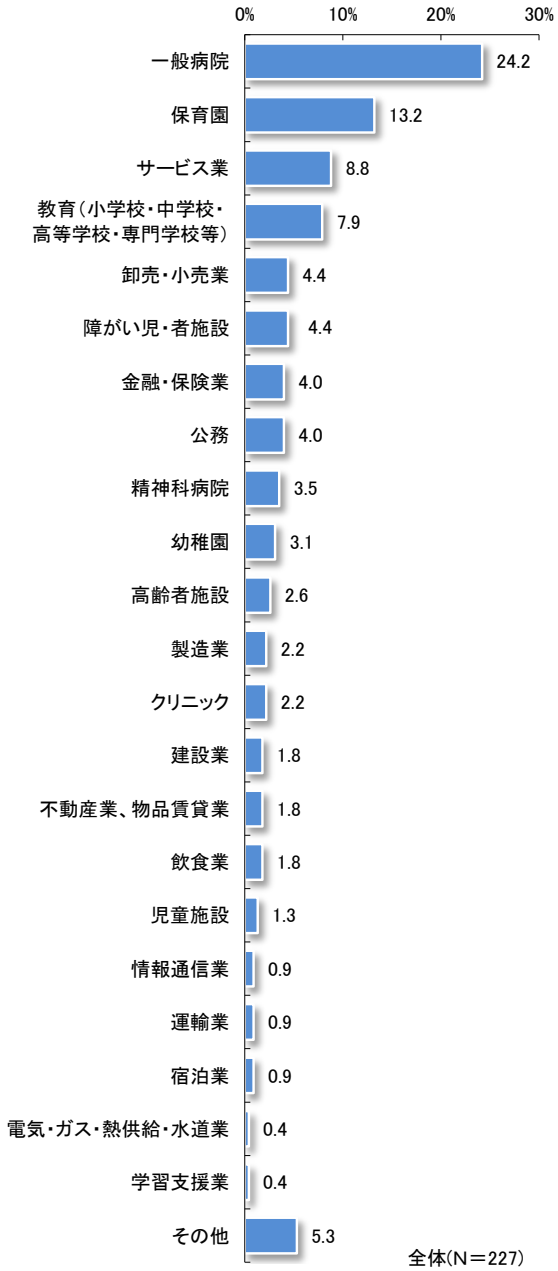
〔2〕現在の仕事について

問　現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
（１つ選択）

現在の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(24.2%) が最も多く、次いで「保育園」(13.2%)、「サービス業」(8.8%) となっている。

学科別にみると、看護学科、助産別科は「一般病院」(看護学科：67.6%、助産別科：81.8%)、福祉学科は「教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）」(22.0%)、栄養学科「高齢者施設」(10.5%)、英語学科は「製造業」(16.7%)、観光文化学科は「サービス業」(30.6%)、保育科は「保育園」(62.5%) の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先の主たる業種が異なることがうかがえる。

【業種】



全体(N＝227)
※回答のなかった項目は省略

【業種・職種区分表】

A業種
1 農業
2 林業
3 漁業
4 鉱業、採石業、砂利採取業
5 建設業
6 製造業
7 電気・ガス・熱供給・水道業
8 情報通信業
9 運輸業
10 卸売・小売業
11 金融・保険業
12 不動産業、物品賃貸業
13 飲食業
14 宿泊業
15 一般病院
16 精神科病院
17 クリニック
18 高齢者施設
19 障がい児・者施設
20 児童施設
21 保育園
22 教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23 幼稚園
24 学習支援業
25 サービス業
26 公務
27 その他（　　）

【学科別　業種（1/2)】(%)

	全体（人）	一般病院	保育園	サービス業	教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）	卸売・小売業	障がい児・者施設	金融・保険業	公務	精神科病院	幼稚園	高齢者施設	製造業
全　体	227	24.2	13.2	8.8	7.9	4.4	4.4	4.0	4.0	3.5	3.1	2.6	2.2
看護学科	37	67.6	−	−	10.8	−	−	−	16.2	−	−	−	−
福祉学科	41	22.0	2.4	2.4	22.0	4.9	14.6	2.4	2.4	14.6	−	4.9	−
栄養学科	38	26.3	10.5	5.3	2.6	7.9	−	−	2.6	5.3	−	10.5	−
英語学科	24	4.2	−	20.8	8.3	4.2	−	8.3	−	−	−	−	16.7
観光文化学科	36	2.8	−	30.6	2.8	8.3	−	16.7	2.8	−	−	−	2.8
助産別科	11	81.8	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
保育科	40	−	62.5	2.5	2.5	2.5	10.0	−	−	−	17.5	−	−

【学科別　業種（2/2)】(%)

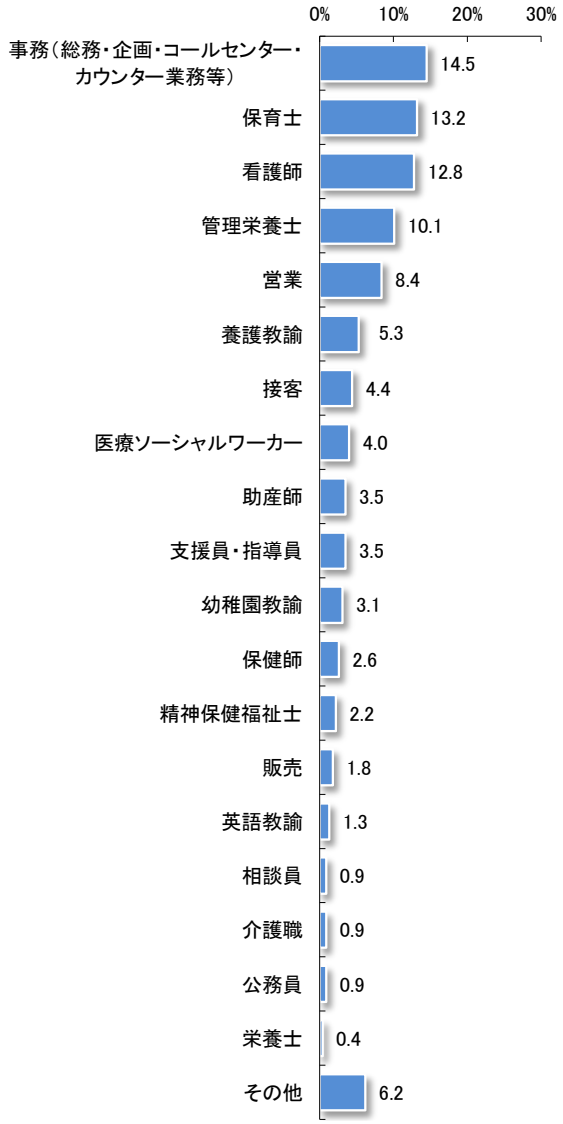
	全体（人）	クリニック	建設業	不動産業、物品賃貸業	飲食業	児童施設	情報通信業	運輸業	宿泊業	電気・ガス・熱供給・水道業	学習支援業	その他
全　体	227	2.2	1.8	1.8	1.8	1.3	0.9	0.9	0.9	0.4	0.4	5.3
看護学科	37	5.4	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
福祉学科	41	−	−	−	−	4.9	−	−	−	−	−	2.4
栄養学科	38	7.9	5.3	−	5.3	−	−	−	−	−	−	10.5
英語学科	24	−	−	4.2	−	−	8.3	−	−	4.2	4.2	16.7
観光文化学科	36	−	5.6	8.3	2.8	−	−	5.6	5.6	−	−	5.6
助産別科	11	−	−	−	9.1	−	−	−	−	−	−	9.1
保育科	40	−	−	−	−	2.5	−	−	−	−	−	−

問　現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）

現在の勤務先で携わっている主たる職種は、大学全体では「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（14.5%）が最も多く、次いで「保育士」（13.2%）、「看護師」（12.8%）、「管理栄養士」（10.1%）となっている。

学科別にみると、看護学科は「看護師」（70.3%）、福祉学科は「医療ソーシャルワーカー」（22.0%）や「養護教諭」（19.5%）、栄養学科は「管理栄養士」（60.5%）、英語学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（50.0%）、観光文化学科は「営業」（38.9%）、助産別科は「助産師」（63.6%）、保育科は「保育士」（70.0%）の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先で携わっている主たる職種が異なることがうかがえる。

【職種】



B職種
1 事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）
2 販売
3 営業
4 接客
5 看護師
6 保健師
7 助産師
8 医療ソーシャルワーカー
9 相談員
10 精神保健福祉士
11 支援員・指導員
12 介護職
13 保育士
14 管理栄養士
15 栄養士
16 幼稚園教諭
17 養護教諭
18 英語教諭
19 公務員
20 その他（　　）

全体(N＝227)
※回答のなかった項目は省略

【学科別　職種（1/2)】(%)

	全体	事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）	保育士	看護師	管理栄養士	営業	養護教諭	接客	医療ソーシャルワーカー	助産師	支援員・指導員
全　体	227	14.5	13.2	12.8	10.1	8.4	5.3	4.4	4.0	3.5	3.5
看護学科	37	－	－	70.3	－	－	10.8	－	－	2.7	－
福祉学科	41	9.8	4.9	－	－	4.9	19.5	－	22.0	－	12.2
栄養学科	38	15.8	－	－	60.5	2.6	－	2.6	－	－	－
英語学科	24	50.0	－	－	－	8.3	－	4.2	－	－	－
観光文化学科	36	27.8	－	－	－	38.9	－	19.4	－	－	－
助産別科	11	－	－	27.3	－	－	－	9.1	－	63.6	－
保育科	40	2.5	70.0	－	－	－	－	－	－	－	7.5

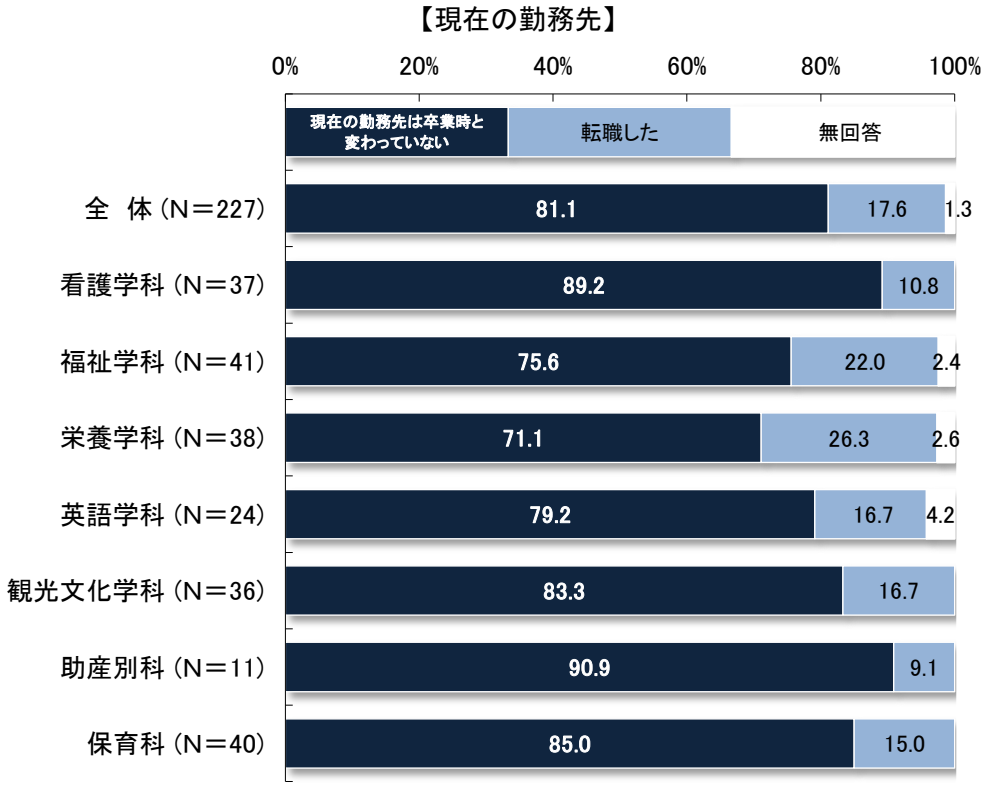
【学科別　職種（2/2)】(%)

	全体	幼稚園教諭	保健師	精神保健福祉士	販売	英語教諭	相談員	介護職	公務員	栄養士	その他
全　体	227	3.1	2.6	2.2	1.8	1.3	0.9	0.9	0.9	0.4	6.2
看護学科	37	－	16.2	－	－	－	－	－	－	－	－
福祉学科	41	－	－	12.2	－	－	4.9	2.4	2.4	－	4.9
栄養学科	38	－	－	－	2.6	－	－	－	－	2.6	13.2
英語学科	24	－	－	－	－	12.5	－	4.2	－	－	20.8
観光文化学科	36	－	－	－	8.3	－	－	－	2.8	－	2.8
助産別科	11	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
保育科	40	17.5	－	－	－	－	－	－	－	－	2.5

問　現在の勤務先について○をつけてください。（１つ選択）

現在の勤務先は、大学全体では「現在の勤務先は卒業時と変わっていない」の割合が 81.1%を占め、「転職した」とする人は 17.6%となっている。

学科別に現在の勤務先をみると、少数の学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、栄養学科（26.3%）、福祉学科（22.0%）では「転職した」の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。

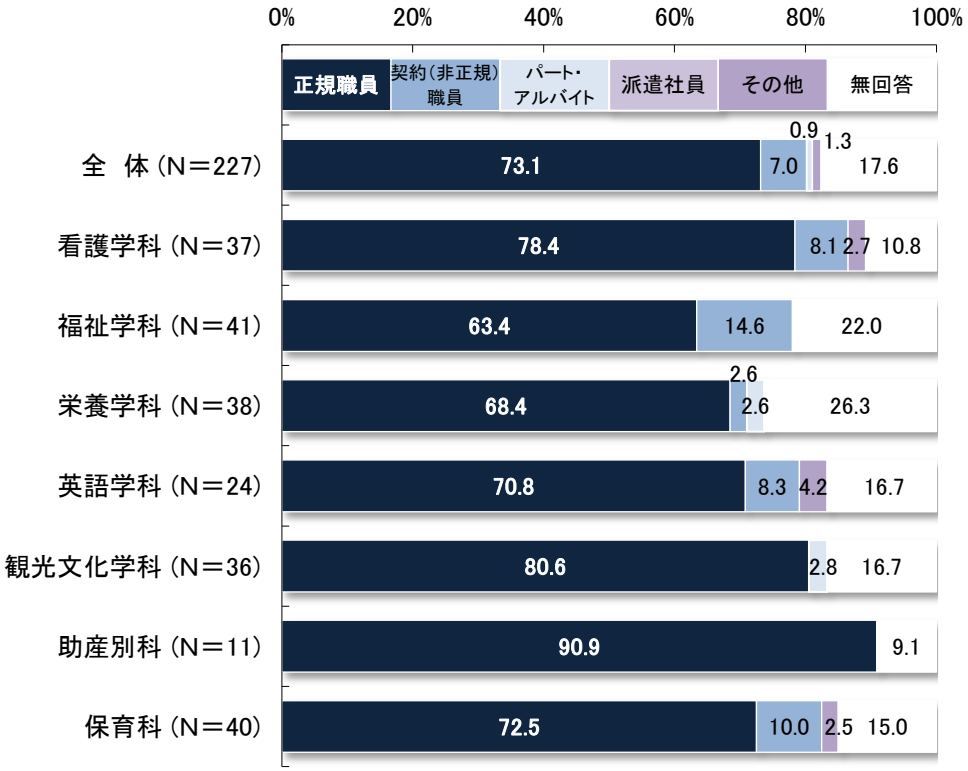


問　雇用形態について教えてください。
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

卒業時の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が 73.1%を占め、次いで「契約（非正規）職員」の割合が 7.0%となっている。

学科別の卒業時の雇用形態をみると、「正規職員」の割合は、観光文化学科、助産別科で８割以上と高いのに対し、福祉学科では６割程度となっており低い。

【卒業時の雇用形態】

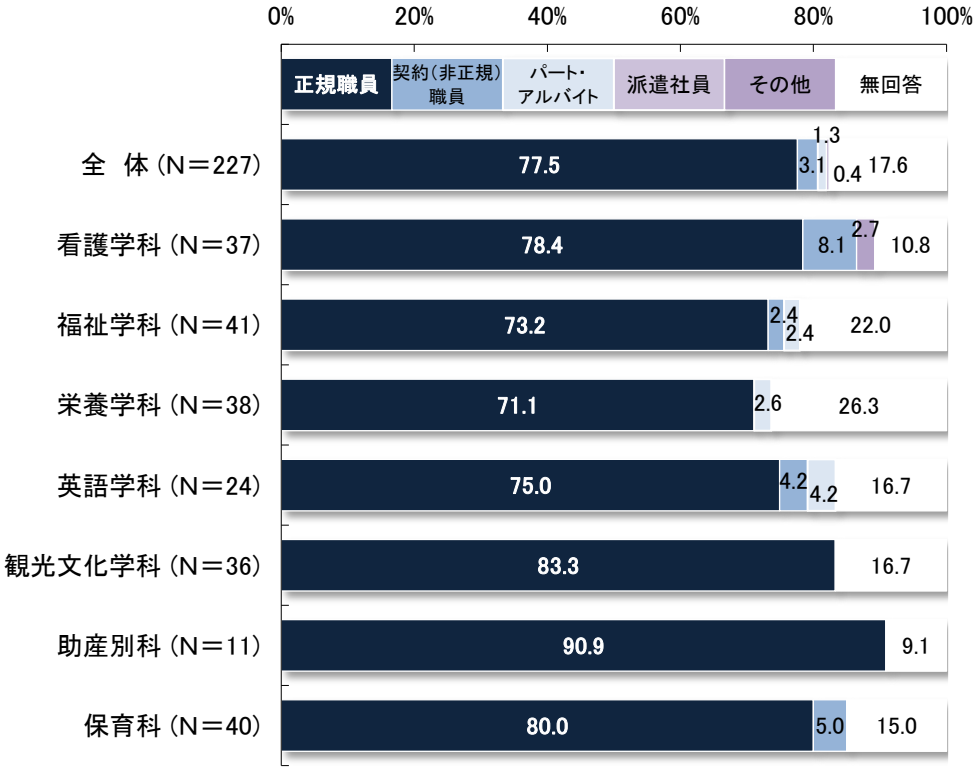


②現在の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

現在の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が 77.5％と卒業時よりも正規職員の割合が増え、「契約（非正規）職員」（3.1％）などの非正規雇用は減っている。

学科別の現在の雇用形態をみると、看護学科、助産別科では「正規職員」の割合は変わっていないが、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科、保育科は卒業時から高くなっている。

【現在の雇用形態】

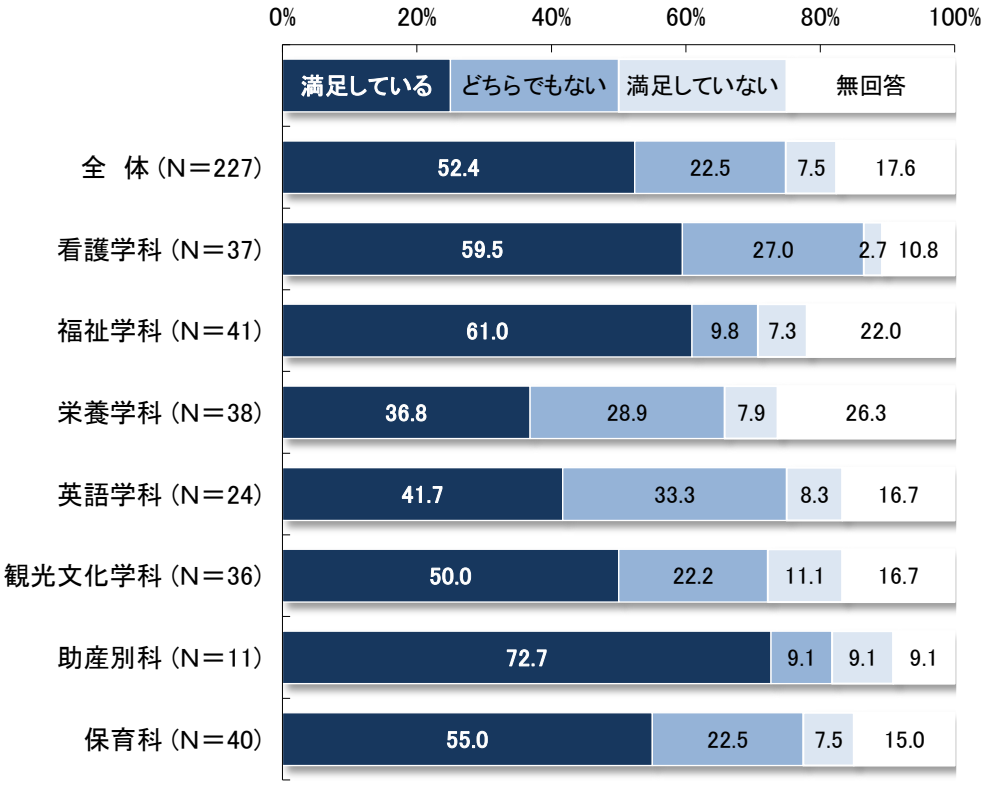


問　現在の勤務先の満足度について〇をつけてください。

現在の勤務先の満足度は、大学全体では「満足している」(52.4%) が最も多くなっている。

学科別に現在の勤務先の満足度をみると、栄養学科、英語学科では「満足している」の割合が４割程となっており、他の学科より低い。

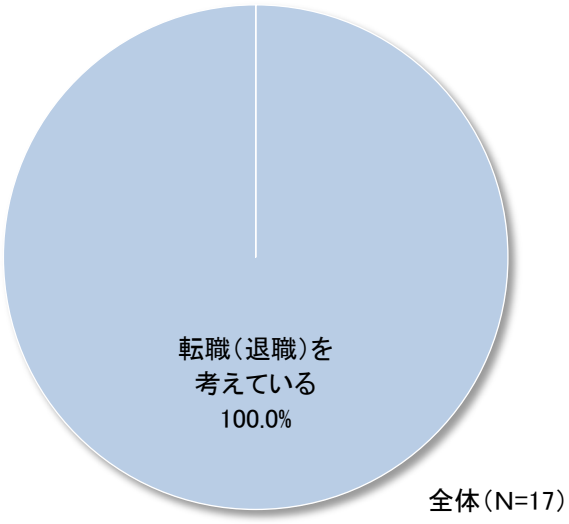
【現在の勤務先の満足度】



問　Ⅱ－５で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

「満足していない」と答えた人の転職（退職）希望は、大学全体で「転職（退職）を考えている」の割合が 100.0%となっている。

【転職希望】

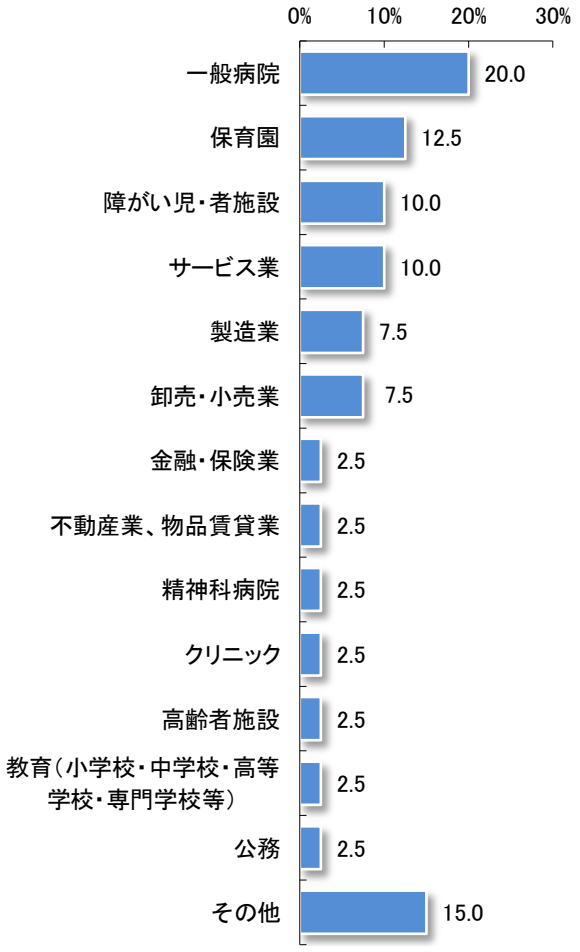


〔3〕転職の状況について

問　卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
（１つ選択）

転職した人の卒業時における勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」（20.0%）が最も多く、次いで「保育園」（12.5%）となっている。

【業種】



全体(N＝40)

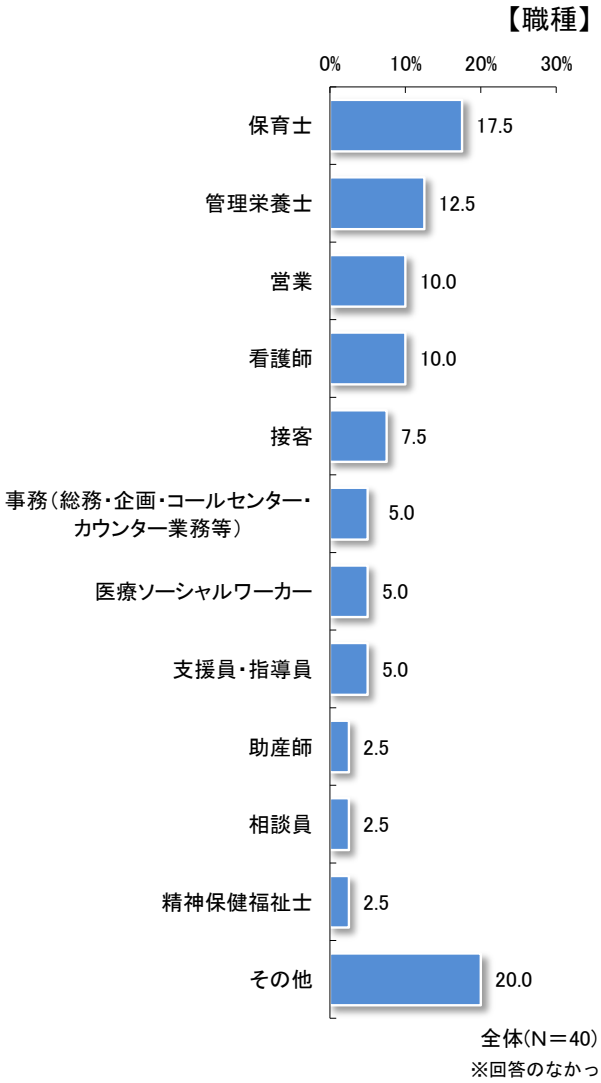
※回答のない項目は省略

【業種・職種区分表】

A業種
1 農業
2 林業
3 漁業
4 鉱業、採石業、砂利採取業
5 建設業
6 製造業
7 電気・ガス・熱供給・水道業
8 情報通信業
9 運輸業
10 卸売・小売業
11 金融・保険業
12 不動産業、物品賃貸業
13 飲食業
14 宿泊業
15 一般病院
16 精神科病院
17 クリニック
18 高齢者施設
19 障がい児・者施設
20 児童施設
21 保育園
22 教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23 幼稚園
24 学習支援業
25 サービス業
26 公務
27 その他（　　）

問　卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【Ｂ】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）

転職した人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、大学全体では「保育士」(17.5%)が最も多く、次いで「管理栄養士」(12.5%) となっている。

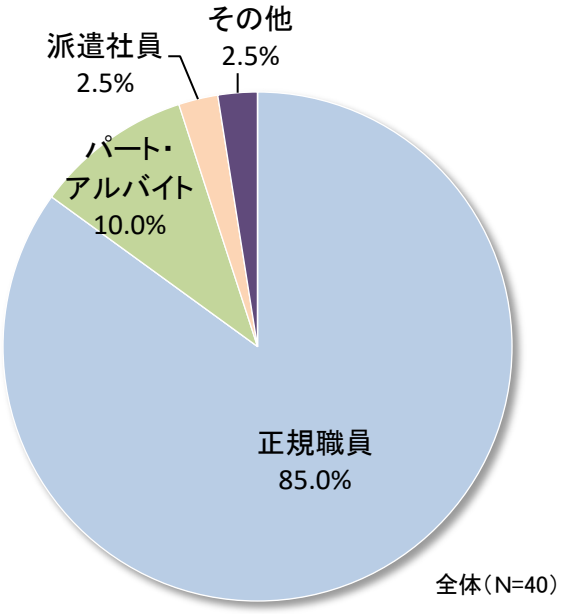


Ｂ職種
1 事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）
2 販売
3 営業
4 接客
5 看護師
6 保健師
7 助産師
8 医療ソーシャルワーカー
9 相談員
10 精神保健福祉士
11 支援員・指導員
12 介護職
13 保育士
14 管理栄養士
15 栄養士
16 幼稚園教諭
17 養護教諭
18 英語教諭
19 公務員
20 その他（　　）

問　雇用形態について教えてください。
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

転職した人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」（85.0%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト」（10.0%）となっている。

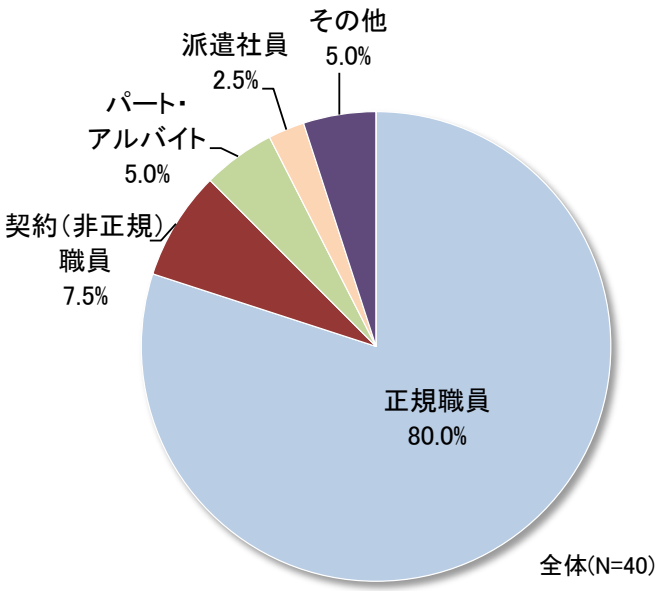
【卒業時の雇用形態】



②現在の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

転職した人の現在の雇用形態は、「正規職員」（80.0%）、「契約（非正規）職員」（7.5%）、「パート・アルバイト」（5.0%）、「派遣社員」（2.5%）となっており、卒業時よりも「正規職員」、「パート・アルバイト」の割合は減り、「契約（非正規）職員」、「その他」の割合が増えている。

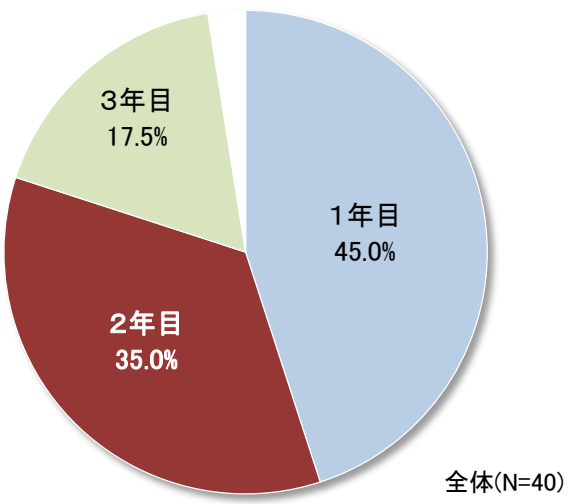
【現在の雇用形態】



問　転職された時期をご記入ください。

転職した時期は、入職後「1 年目」（45.0%）が最も多く、次いで「2 年目」（35.0%）、「3 年目」（17.5%）となっている。

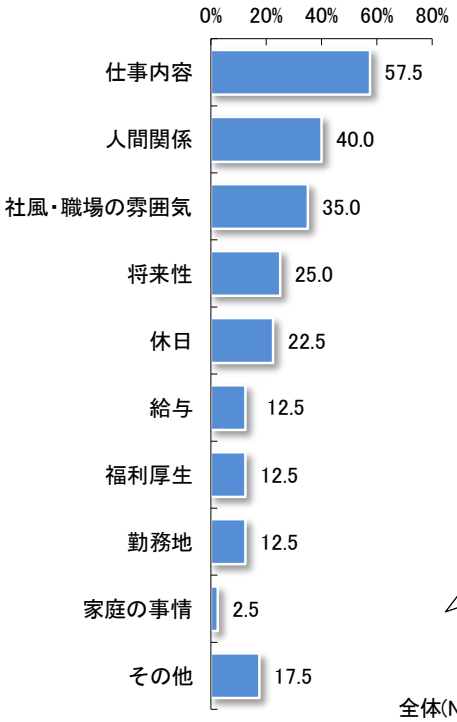
【転職した時期】



問　転職した理由に〇をつけてください。

転職理由は、「仕事内容」（57.5%）が最も多く、次いで「人間関係」（40.0%）となっている。

【転職理由】



※回答のなかった項目は省略

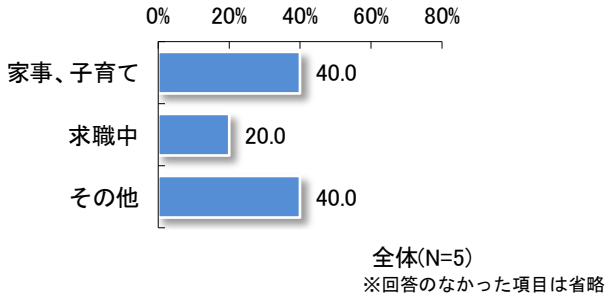
学科	「その他」の内容
看護学科	結婚による転居のため
助産別科	結婚
保育科	怪我をしたため、復職困難になり退職を勧められました
保育科	事故

〔4〕未就業の状況について

問　現在の状況に○をつけてください。

仕事をしていない人の現在の状況は、「家事、子育て」（40.0%）が最も多く、次いで「求職中」（20.0%）となっている。

【現在の状況】

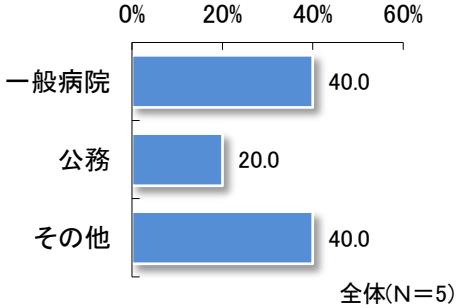


全体(N=5)
※回答のなかった項目は省略

問　卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
（１つ選択）

現在仕事をしていない人の卒業時における勤務先の主たる業種は、「一般病院」（40.0%）が最も多く、次いで「公務」（20.0%）となっている。

【業種】



全体(N＝5)
※回答のなかった項目は省略

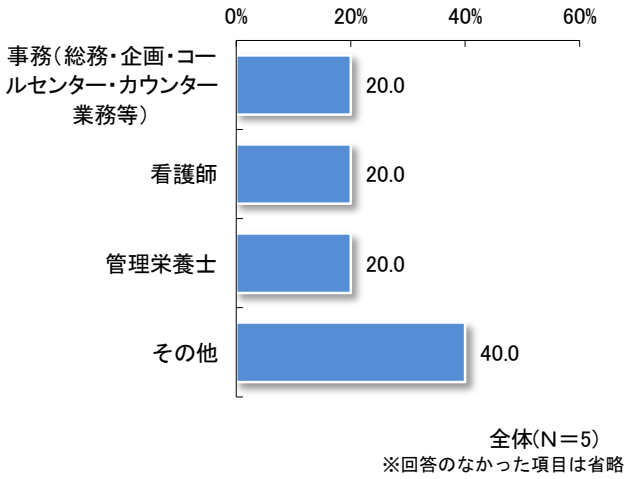
【業種・職種区分表】

A 業種
1 農業
2 林業
3 漁業
4 鉱業、採石業、砂利採取業
5 建設業
6 製造業
7 電気・ガス・熱供給・水道業
8 情報通信業
9 運輸業
10 卸売・小売業
11 金融・保険業
12 不動産業、物品賃貸業
13 飲食業
14 宿泊業
15 一般病院
16 精神科病院
17 クリニック
18 高齢者施設
19 障がい児・者施設
20 児童施設
21 保育園
22 教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23 幼稚園
24 学習支援業
25 サービス業
26 公務
27 その他（　　）

問　卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）

現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」、「看護師」、「管理栄養士」（いずれも 20.0%）となっている。

【職種】

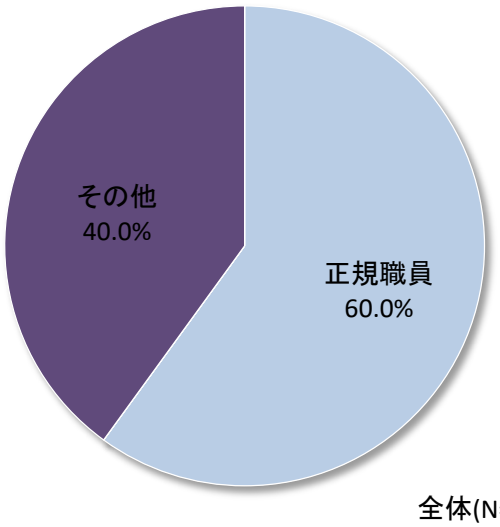


B職種
1 事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）
2 販売
3 営業
4 接客
5 看護師
6 保健師
7 助産師
8 医療ソーシャルワーカー
9 相談員
10 精神保健福祉士
11 支援員・指導員
12 介護職
13 保育士
14 管理栄養士
15 栄養士
16 幼稚園教諭
17 養護教諭
18 英語教諭
19 公務員
20 その他（　　）

問　卒業時の雇用形態に〇をつけてください。（１つ選択）

現在仕事をしていない人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」（60.0%）、「その他」（40.0%）である。

【卒業時の雇用形態】

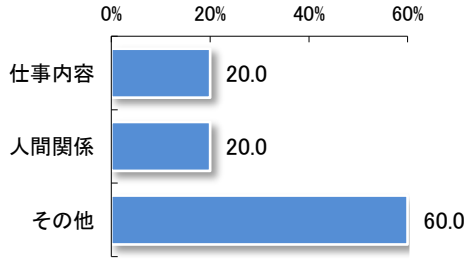


問　退職した理由に〇をつけてください。（複数選択可）

現在仕事をしていない人の退職した理由は、「仕事内容」、「人間関係」（いずれも 20.0%）である。

また、「その他」では結婚等の理由が挙げられている。

【退職理由】



全体(N＝5)
※回答のなかった項目は省略

学科	「その他」の内容
看護学科	結婚

〔5〕仕事についての感想（自由意見）

問　仕事をする中で感じたこと（苦労したことや成長したことなど）をご記入ください。

仕事についての感想を自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【成長したことについて】　（回答者数：170人/232人[73.3%]）

学科	自由回答
看護学科	人前で発言することが苦手だったが、かなり改善された。
	学生の時とは違い、一つひとつの自分の言動や行動に責任を持つことが大切だと感じました。仕事をしていく上で、もちろん初めての事ばかりなので、どう動いていいのか分からなくて苦労したり、年齢層が広くコミュニケーションを取るのも初めはなかなか慣れずに苦労はしました。ですが、その分、学生の時とは違い、年齢層が広い分、会話一つでもいろいろな人に伝わって話が盛り上がるようなテーマを見つけて話したりするなど、成長に繋がることもありました。おかげさまで、今では年齢が近い先輩だけでなく、色んな方とお昼や出張などに行ったりして楽しんでいます。
	ICUで勤務しています。一般病棟よりも重症度が高く、亡くなる方もいて、家族との関わりが難しく、今でも悩むことがある。挿管中の患者とコミュニケーションが取れなかったり、治療が中心となる部分があり、看護とは何かについて考えることがある。急変時の対応など鍛えられる。
	コロナ禍で実習経験が少なかったため、入職時は看護現場の実際を見て、ややギャップを感じたり、忙しさについていけないことが多かった。しかし、仕事を辞めずにコツコツと言われたことを頑張ることや、入職時にもらった1年間のスケジュールを毎日確認して少しでも先の事に手を伸ばすようにしていくことで慣れていくことができた。
	大学で学ぶことと、働くことが全く違うことを最初は痛感した。最初の１年は毎日苦しく、それを乗り超えると何となく流れとかが分かってきたものの、徐々に責任が重くなるにつれて耐えられなくなった。その結果、夜勤等の辛さも含め、転職したが、最初の職場で約3年働いた経験は無駄ではなかったとすごく感じる。看護師としてのスキルアップもあるが、社会人としての立場や関係性の構築は大学病院で最も成長できたことだと今では物凄く感じる。
	保健師としてのスキルアップ（母子・成人の保健指導、健康教育）など。
	養護教諭は変わらず教員採用試験の倍率が高く、なかなか手に職をつけることができないことが悩みです。でも、現場で働き、子どもたちと接していると、養護教諭になりたい思いも強くなったし、実際に現場でしか経験できないことや事例にぶつかり、日々勉強です。卒業時の自分と比べると、自分なりの考えや価値観が持てるようになり、成長したなと感じます。
福祉学科	・仕事量に見合った給与をもらっていないのでは。仕事量が多い。 ・対利用者支援では応用ができるようになった。
	「正解のない」仕事であるため、慣れるまでに時間がかかったり悩んだりすることが多いです。その分、一つひとつのケースを経験しながら成長を感じられています。今ではある程度１人立ちし、その都度、同職種や他職種と連携しながら仕事ができていると思います。
	子どもとの関わり方が成長した。
	仕事を始めた頃は、保護者対応を難しく感じており、悩むことが多かったです。しかし、毎日の送迎時や懇談などを通して経験を積み、現在も悩むことはありますが、慣れてきたと感じることが増えたため、そこは成長した点だと思います。また、担当児の保護者から相談を受けた際に、解決策をどうすればよいのか分からないことも多いですが、上司と相談しながら検討するなど努力しています。

福祉学科	専門職(一人職)なので、分からないことを誰に聞くべきかも分からないところからのスタートで、慣れるまでに時間がかかりました。一年目は特に苦労しましたが、その時の苦労があったからこそ、二年目、三年目にできることが増えて、自分自身の成長に気づくことができ、やりがいにも繋がっていると感じます。
	座学で学んだ知識を実際の現場で使う事が難しいと感じます。似たようなケースであってもそれぞれ背景が違ったり、状況が違ってどの制度を利用すべきか悩む事があります。少しずつではありますが、できることも増え、学んだ知識を実践で使えることも増えたと思います。
	実務を通して、様々な人がいるなと感じました。勤務したばかりの頃は、自信がなくなり、悔しい思いも沢山しましたが、今は何事も挑戦&勉強だ！と思い、業務に取り組んでいます。
	最初は覚えることも多く、１日８時間働くことにも慣れていなかったので、毎日すごく疲れていました。メモを取って、自分なりのマニュアルを作成したり、分からないことはすぐに先輩に聞くなどして、１年ほどで仕事には慣れることができたと思います。色々な業務を任されるようになった時に、自分の成長を感じました。
	大学で先生方が手厚くご指導して下さったおかげで、現場での対応を職場の先生方から称賛して頂けることがあります。また、知識や技術に関しては大学で基礎を固めていたので、今はそれを柔軟に発揮できるよう、日々の子ども達の怪我や病気への対応で力をつけています。
	実際現場に入ることで、どんな風に支援するか、一人ひとりに合わせて考えないといけないので大変です。いかに子ども達が楽しく成長していけるか、遊びの中での支援を考えられるようになったのは成長かなと思います。今の職場は、勉強する環境も与えてくれるし、すごく良い会社です。
栄養学科	仕事でミスをした際に最初は何日も酷く落ち込んでいましたが、慣れてきてからはすぐに次からの改善策を考え、あまりミスを引きずりすぎないようになりました。
	周りを見る、観察する力がついたこと。
	自分の知識不足などもありつつ、日々勉強がある中で仕事をしているように感じます。利用者様と関わることで得られるもの、仕事をしている中で得られるものなど色々ありました。毎日と言っていいほど、成長を感じることができていると思います。
	言葉を上手く話せなかったり、コミュニケーションが苦手な患者様に栄養指導を行う際、最初はどのように指導を行ったらよいか分からず、苦労しました。経験を積んでいくにつれ、患者様の表情や声のトーンなどから気持ちを理解し、患者様に寄り添った提案やアドバイスを行えるようになりました。
	調理のスピード感などに慣れるまでに時間がかかりました。でも、そこが成長したところでもあります。大量調理の現場に入っておくことは、初めのうちにしておいて良かったと思います。
	いろんな年代の方とお話しするので、人に合わせて会話する力は成長しました。歯科で働く上で、歯科用語を覚えることは苦労しました。

英語学科	自分の言動に礼儀や誠意が伴っているかを考えさせられることが多く、仕事を通して人間として成長することができました。
	自分の興味のある分野での仕事ではなかったので、最初はお客様に何を言われているかも分からない時があり、上手く接客ができず悩む時がありました。慣れてくると、内容が深く分からないにしても、この場合はどう対応すべきか、話が分かる人に繋げるまでに自分にできることは何か、次第に分かるようになり、以前より余裕のある接客ができるようになりました。分からないことは、積極的に質問をしたり、知っていること、出来ることを自分なりに増やしていくと、私の仕事の範疇ではない部分もカバーできるようになりました。場面を選んで、周りのお助けになればと察して動くことができるようになった時、仕事ができるね、助かったと感謝してもらえたこともあります。普通の事務とは少し違い、接客をしながら事務仕事をこなすので、毎日が違っていてやりがいがあります。お客様に笑顔を褒めてもらえたり、私がお客様を覚えていることを喜んでもらえたり、事務だけで仕事を探していたけれど、今となっては毎日色々なお客様と関わり合うこの仕事を選んで良かったと思うことが多いです。
	若手の育成の仕方を試行錯誤しながら行っています。人に教える仕事は自分が分かっていないとできないので、自分自身の成長にも繋がるし、育成の仕方が物凄く身に付く。
	謙虚になった。
	入社した当初はIT業界に関する知識が足りず、話についていけないことがあり苦労した。仕事をするにつれ、知識量や経験が増え、お客様に自分の案を提案したり、後輩を指導したりできるようになり、自分の成長を感じた。
観光文化学科	社会人1年目はとにかく覚えることが多く、自分のことだけで必死でした。2年目3年目は周りを見て行動できるようになったと思います。
	今の仕事では、自分の業務以外の問い合わせにも対応します。隣の係の事や他課の事も内容を聞いて、引き継ぎをするのですが、聞いた事のない言葉や専門用語を聴き取ることが難しいです。ですが、どこに引き継ぐのか調べることによって知識が増え、別の方から同じ様な問い合わせがくるとスムーズに引き継ぐことができたりすると成長しているなと感じます。
	事務総合職で入社しましたが、実際は現場での仕事がメインで、屋外や倉庫内の作業をしているので、体力的にはかなりきついです。運送業なので、ドライバーとのコミュニケーションを取るのも最初はかなり苦戦しましたが、今ではどんなドライバーとも上手く関わることができるようになりました。お客様とのやり取りも上達し、会社訪問や食事会に同席する機会も増えました。
	社会人としての所作や正しい言葉遣いを意識すること、入社当時は毎日初めてのことだらけの中、一つひとつ覚えては接客やトークのテストがあるなど、とても苦労しましたが、今では相手を慮る大切さを学び、人として成長出来たと思います。
	報連相の大切さや、一緒に働く人が働きやすいように周りをよく見たり、気を遣うことが前よりもできるようになったと思う。
	一人暮らしで家事もしながら、シフト制で出勤時間もかなりばらつきのある不規則な部署で仕事と両立することが非常に大変である。そんな中でもしっかり勤め続けられていて、自立できたことが成長だと感じる。
	社会人としての基本的な礼儀が身に付いた。
助産別科	精神的にも強くなったと思います。
	ハイリスクな患者様が多いため、イレギュラーに対応することへの柔軟さがついた。
	自立してできることが増えたとき。

保育科	卒業前は、保護者対応に不安を感じていたが、送迎時や連絡帳で、子どもの成長を話していくにつれて、あまり自分から話さなかった保護者が「先生！聞いてくださいよー」等と、家庭での子どもの様子を教えてくれるようになり、信頼関係が築けてきたと感じて、成長したなと思った。
	子どもたちの特性や発達段階に合わせて関わる中で、一人ひとりに合った支援を行いながら関わることができるようになった。
	障害を持っている子どもへの理解や保護者への対応方法に関して、まず理解する事に苦戦しましたが、今では大体のことを理解し、対応方法を率先して考えられるので成長したのかなと感じます。
	クラスに家庭環境が複雑な子どもや支援が必要な子どもが多く、対応に悩んだり、先輩の先生や保護者の方とのコミュニケーションで悩んだり、自分の保育の引き出し不足で悩んだり、一つひとつの仕事に時間がかかって時間の使い方で悩んだりなど、様々なことで悩んで苦労をしています。しかし、教えてもらったり、経験を重ねたりするうちに、少しずつ成長できていると感じます。毎日子ども達の笑顔を見ることができ、「大好き」とたくさん言ってもらえるおかげで、頑張ることができています。
	保護者とのコミュニケーションに初めは慣れず、あまり話せずに苦労していたが、今は子ども達の今日の出来事を交えながら話して、盛り上がり、信頼関係を少しずつ築いている。また、保護者からの相談にも乗ることが多くなり、コミュニケーションを取ることが以前よりも出来ているように感じる。
	･一人でクラスを持つようになり、今まで複数人で行っていたことを一人で進めなくてはいけなくなったときに苦労した。 ･先生方の子どもたちに対する対応の仕方を見て学び、実践し、上手くいったときに成長したのかな、と感じた。
	１年目の時は、迷惑をかけてばかりの中で先輩方の視野の広さを凄く感じました。又、子どもによって言葉掛けを変えることの大切さや、年齢に合った保育の在り方をよく学びました。苦労したことは、２歳児クラスだったのでイヤイヤ期の子どもへの対応や、睡眠時のトントンの仕方、保護者対応です。特に、保護者対応は、保護者さんとのコミュニケーションを通じて信頼関係を築くため、初めは何を具体的に話していけば良いのか、又、怪我等のお知らせをどのように伝えたら良いのかを先輩方に聞きました。２年目になり、子どもたちと一緒に3歳児クラスに行きました。その際には、保護者さんとの信頼関係も築けてきており、会話がよく弾むようになりました。又、子ども達とも信頼し合う場面が増えたり、自分達で出来ることをやってみようとする場面も増えたので、子どもを見守りながら出来ないところは教えるという考え方に成長したと思います。３年目は、0歳児クラスに配属され、初めての乳児保育を体験しています。3歳児と0歳児の違いが大きすぎて大変な部分ばかりですが、慣れてくると楽しいし、なにより色々な学年を持つことで経験できることがたくさんあり、嬉しく思います。来年度も頑張ります。
	入職時は、仕事内容を覚えることはもちろん、子どもや保護者との信頼関係を築くこと、職員とのコミュニケーションを取ることに苦労しました。3年目になり、子どもに対する言葉掛けやスキンシップが分かるようになり、子どもとの信頼関係の築き方が分かって、子ども達からも声を掛けてもらえる嬉しさもあり、自分が成長した点だなと感じます。
	初めは、保護者や子どもの名前を覚えることが大変でしたが、積極的に声を掛けていくうちに、クラスだけでなく、他クラスの子ども達とも関わりを持つことができるようになりました。子どもの興味を広げることで、遊びの幅がどんどん広がり、面白いなと感じている。

【嬉しかったこと、楽しかったことについて】

学科	自由回答
看護学科	まず養護教諭の教員採用試験に合格することが難しい。しかし、臨時的任用職員の養護教諭として働くことが出来ており、忙しかったり、悩むことも多かったりするがやりがいを感じている。
	教育現場では、子ども自身が病気になることや怪我を予防することを教えたり、将来的に自己管理が出来るようになるための土台を作ってあげるなど、先生として責任感を日々持ちながら仕事をしています。着任した当初は、仕事も分からず、すぐに健康診断シーズンに入ったので、仕事を覚えながら「保健室の先生」としての責任を果たすことがとても大変でした。今では、子ども達が怪我をして、泣いて保健室に来ても、最後には笑顔で元気に保健室を出ていく姿を見たり、毎日元気で楽しそうに学校生活を送り、学年が上がって成長していく姿を見て、仕事のやりがいを感じています。
	患者さんや職場の人の役に立てることが増えてきて、やりがいを感じます。
福祉学科	自分自身の未熟な部分も沢山あり、悩みや葛藤は尽きませんが、多くの方の支えにより何とか今日までやってこれました。周りの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。
	卒業後の就職先が決まっていませんでしたが、半年後に講師として今年まで働いております。次の４月から正規職員に採用されています。違う職種で大変でしたが、やりがいを感じながらお仕事をさせて頂いております。
栄養学科	最初は、歯科知識ゼロの状態だったので、毎日、歯科の用語を覚えることが大変でした。 先輩たちが優しく指導して下さったおかげで、徐々にその知識が身に付いて、最近は人数も増えて、歯科助手を卒業し、管理栄養士として、食のイベントを行う機会も増えました。 また、今年７月より、歯科の事務長として、マーケティングに携わっています。食の知識だけでなく、パソコン等の授業(Excel等)も習ったことなどを生かすことができて、とても嬉しく思っています。西南女学院大学の管理栄養士の後輩も続いて入職してくれたおかげで、円滑にイベントを行うことができています。
	周りの地域にはあまり栄養教諭がおらず、仕事の相談がなかなかできず、初めは何も分からないまま仕事をしていました。大学で学んだことを再度勉強したり、研修に参加したりしてようやく目的を持って仕事を行えるようになりました。自分の赴任校では、食育体制が整っていなかったので、他職種の先生方と連携を行い、この３年間で体制を整えました。次世代を担う子どもたちのために食育ができて、毎日楽しく仕事をしています。
	年数を重ねるにつれて任される仕事、できる仕事が増えていき、仕事内容にやりがいを感じています。
英語学科	お客様サポート本部、カスタマーセンターに所属。インターネット銀行で窓口がないため、電話が唯一の応対窓口となる。その中で受電チーム、研修チームなど様々なチームがあり、研修チームで勤務。業務内容は、応対品質を上げるためのリアルタイムモニタリングによるFB。中途研修、新人研修、スキルアップ育成が主な仕事になる。２年目の夏で研修チームに先輩方の推薦で選ばれた。もちろんまだ2年目だったので、業務に慣れていなかった。当時は、仕事と自分の知識をつけることを同時並行で行わなければならなかったことが一番きつかった。研修チームに入って１年が経過する今、能動的な研修ではなく、インプットの質を上げるために、大学時、日本語教員で学習したアクティブラーニングを業務改善として提案し、改善に取り組んでいる。そのためのマニュアルの改訂、５人いる研修チームの足並みを揃えるための講師用のマニュアル作成など、様々な業務改善に取り組めている。新卒のメンタルケアにも注力しており、1on1などを実施している。本当に良い先輩方に囲まれて充実した社会人生活を過ごせている。

観光文化学科	物件を持つという人生でも大きなお買い物に携わる過程で、お客様のニーズやネックにどのような提案をするかが大変ではありますが、やりがいを感じます。
保育科	1年目から1人担任で2、3年目は年長を担任しています。1、2年目はずっと辞めたいくらい大変でした。3年目でやっと楽しく保育できています。
	異動があり、現在の勤務先の人間関係で悩んでいる。子どもを相手にする仕事なので、大変なことも時折あるが、毎日が楽しい。（子どもの成長を近くで毎日感じることができる）
	子ども達の成長していく姿を見ることができて嬉しく感じた。

【仕事に必要なこと、大切なことについて】

学科	自由回答
看護学科	学生時代に成績が良い人＝仕事ができる人というわけではないと感じます。勉強ができても真面目すぎて自分を追い込んでしまったり、対人関係が上手くいかなかったりすると、仕事でも上手くいかないことが多いと思います。勉強の仕方を知っていた方ほど知識や技術を身に付ける力があると思うけれど、部活やバイトなどの人生経験もとても大切だと感じます。
	常に勉強が必要。
	学校で働いています。小学校を1年間勤務後、現在は高校勤務2年目となり、生徒や先生方、保護者の方、関係機関の方と様々な関わりを経験できています。自分の業務のことであたふたと余裕がなくなっていると、生徒の相談にも快く対応できずに「あ、対応冷たかったかな…」「親身に話を聞くことができていなかったかな…（途中途中ぼーっとしてしまう等）」と反省して落ち込む時もありました。そこで勤務中は生徒ファーストができるように、体調管理や休日の過ごし方にこだわるようになりました。自分の心も身体もエネルギー満タンにした上で生徒に対応することが望ましいと感じています。今後の自分の取り組み（保健委員会を活発にしたい、掲示板を頻繁に更新したい等）で悩むことが多いですが、自己発信力を鍛えて、周りの先生方に相談できるようになりたいと思っています。
	患者さんの意思を尊重しつつ最善な看護を見出すこと。
	小さな町の保健師なので、予想した以上に事務仕事が多く、ギャップに日々悩むことがありますが、小さい町だからこそ、地域住民との直接の関わりは多く、一緒に働く職員とサポートし合いながら仕事をする大切さを学べていると思います。
福祉学科	職場の人、生徒、保護者とコミュニケーションをとることで信頼関係を築くことの大切さ、こまめに報告連絡相談を行うことの重要性を感じている。
	自分を成長させるためには、人一倍の努力と時間をかけていかなければいけないと社会人になって理解できました。成長するためには、周りの人のサポートも必要です。内面から磨いていくことが成長するための第一歩だと思います。
	仕事をする中で、人間関係・コミュニケーションは大切であると改めて感じました。責任感のある仕事、業務を任せて頂くことにやりがいを感じています。
	互いに助け合おうとする精神がないと何事も進んでいかないと感じました。担任業務、養護業務、管理職、その他ありますが、それぞれにそれぞれ抱えているものがあるということをお互いに理解しておくべきだと日々感じています。
	仕事に慣れてきても、関わる患者さんの思いや生活歴は様々なので、日々勉強が必要だと感じました。初めは、分からないことばかりで大変でしたが、面接技術や制度・サービスについて理解するには、たくさん経験することが大切だと実感しています。
栄養学科	コミュニケーション能力が大切なこと。

栄養学科	・もっと堂々としていればよかった。新卒で学ぶ事ばかりで、分からない事への焦りがあり、不明なことを質問しても、しなくても怒られていた。出来ない自分が悪いとばかり思わず、もっと環境のせいにして気楽に仕事をすればよかった。 ・人間関係が1番大事。
	実際の現場に出ると、講義だけで学んだ知識では通用しないため、日々働きながら、自ら勉強をしていくことが大切です。しかし、講義で学んだ基礎知識はとても重要な内容のため、振り返りながら仕事をするように心掛けています。
	学生のうちにパソコンのスキルを身に付けておくことが大事だと思いました。
	・やりたかったことと実際にした仕事内容の違いから、どんどんモチベーションが下がってしまった。（事前の企業の仕事内容について、調べが足りなかったから。やりたいことをしたいのであれば、どんな業務かきちんと理解するべきだと思った。したい業務に必ず就ける訳ではないことも想定しておくべきだった。） ・人間関係が上手くいかず、精神的に病んでしまった。（病む前に相談できる人を探すこと。仕事以外の時間を楽しむことが大切。本当にこのままやっていける自信がないと思ったら、企業には申し訳ないが、辞めることを選択肢に入れてもいいと思う。） ・専門職を学んだから、一度はその職に就いてみるのもいいけど、研修制度だったり、教えてくれる先輩がいるかどうかをきちんと確認することが大切だと思った。 ・自分が就職先に選ばれると思うだけでなく、こちら側も選ぶという気持ちが大切。
	管理栄養士は厨房の中で立場が一番上になるため、目上の人とどう接していくのが良いのか日々考えながら仕事をしています。
	とりあえず考えるのではなく、行動することがとにかく大事だということに気づきました。今までは、考えていましたが、それでは判断が遅くなるため、他の人の作業にまで影響してしまいました。自分はどんな目標を成し遂げるために行動しているかを見失わないように仕事出来たらいいなと思います。
英語学科	臨機応変にその場に合った柔軟な対応。
	自分が話す英語ではなく、教える英語になったため、どのように授業をすれば生徒が理解しやすくなるかを考えることに日々時間を費やしている。しかし、間近で生徒の成長を見ることができ、とてもやりがいを感じている。また、「生徒と共に成長する」をモットーに初めてのことにたくさん挑戦するようにしている。
	最初は不安もありましたが、頭で考えるより経験を積むことが大切だと思いました。
	お客様が求めていることを推察する力、論理的に提案する力が自分に足りていないと感じた。
観光文化学科	責任感がとても大事だと思いました。任せられる仕事が増えた。
	業務においてのコミュニケーションは、学生時までのコミュニケーションとは異質であること。段取り、自己分析、努力を大切にすれば大抵のことはなんとかなること。
	日々の積み重ねが大事。
	仕事に対しての責任感。
	・自分で考えて動くことの大切さ。 ・後輩を育成することの大変さ。
保育科	・社会人としてのマナー。 ・仕事に対する考え方。
	一人で行うものではなく、働いている全員が集団として一人ひとりに責任を求められていることの大変さや大切さを学んだ。

【苦労したことについて】

学科	自由回答
看護学科	人間関係に苦労しています。
	実習とのギャップ。実習では1人を受け持つが、スタッフになると日勤で5-6人、夜勤で10人前後であり、慣れるまでが大変だった。
	コロナ禍の学生時代であったため、実際の病院のイメージがつきにくく、不安があった。先輩から言われないと知らないこと、気づけないことが多くて不安だった。
	人間関係に苦労しました。
	業務時間を考えて、自分の受け待ち患者のスケジュールを上手く組みながら、動くことに苦労した。また、その中で、イレギュラーなことが起こることに対応することが困難だと感じた。それらの経験を積むことで、基本的なこと以外に柔軟に対応する方法を身に付けることができた。
	先々のことを見越して、計画的に優先順位を立てて動くことに苦労しました。相手のことをよく考える力が身に付きました。
	医療機器の使い方やアセスメント力がなく、今も大変。
	苦労したこととして、残業代が本当に出ませんでした。申請さえさせてもらえませんでした。残業は平均で1日５時間（前残業含め）を超えます。明らかに他の人より組織に貢献していたのに「あなたは良くできるから」といってどんどん仕事だけが増えていきました。真面目にやりすぎると馬鹿を見るということを身をもって学びました。新人なのになぜか先輩の失敗の尻拭いをし、医師に怒られ、そんな生活をしていました。今思い返すと、いじめだったのかもしれません。組織に搾取されていると気づき、退職致しました。
福祉学科	苦労した点は、新人職員の育成や複数担任のため、職員間のコミュニケーション。
	医療ソーシャルワーカーの同期がおらず相談できる人が近くにはいないこと。
	上司が理不尽。
	養護教諭として働く中で、大学時代に座学で学んでいたとしても、実際に現場で人に対して対応してみると上手くいかないことの方が多いなと感じています。
	患者との関わり方。
	家族や多職種の板挟みになることがある。
	未経験で入ったので専門知識を覚えることが大変だった。
栄養学科	職場での人間関係。
	献立を立てる上で、保育園側からの要望を取り入れることで起きる、調理師と保育士の双方の調和の取り方が最初の頃はとても難しく感じました。
	・他の職種の方々との関わり方。 ・メールや電話対応の慣れ。
	上司・現場とのコミュニケーション。
英語学科	仕事上、様々な国籍の方と一緒に仕事をしているので、最初は考え方を理解することが大変だった。
	障害者雇用で働いているが普通の人よりできないことが多いので悔しかった。
	全く知識のない業界で仕事を覚えていくために、新たに知識を増やすことが大変だった。
	理系大学出身の方が多い中で、唯一、文系大学出身で基礎知識が全く異なるため、専門分野の勉強をすることが難しかった。
	上司とのコミュニケーションの取り方に苦労した。

観光文化学科	自分のやりたいことが仕事にできていても、お給料や福利厚生が伴っていないと不満が出てくるため、会社選びは難しいと感じた。
	お客様が納得いただけるような提案を行うことに対し、苦戦することがある。
	文系とはかけ離れた仕事内容だったことが苦労しました。
	思っていたより社会人が大変だということ。
	学生の時に学んだ分野とは別の仕事に就いたため、全く知らない分野で、興味のない分野も一から学ばないといけないので大変だった。
	会社の人に気を遣うこと。
	育成に携わっている中で、育てるということに苦労した。
	毎日違う業務をすることがほとんどであり、同時に10案件ほど携わっているので、業務を整理して従事することに慣れるのに時間がかかった。また、クライアントとの関係性構築に苦労した。
	お客様本位の営業、コンサルティングをすること。
	学生と社会人のギャップを感じることがあり、失敗出来ないプレッシャーを常に感じているところ。
	想像していた社会人とのギャップ。
助産別科	特に一年目、職場の人間関係に苦労しました。
	母子周産期センターであるため、幸せなお産ばかりではなく、その中での妊婦への声掛け等。
	ハイリスク妊産婦の管理。
	その日のメンバーによって自分の立ち回りを変えたり、周りを意識して仕事しないといけないことが難しく感じる。
保育科	特性や発達段階、家庭環境によってどのような支援が望ましいかについて、一人ひとりに沿って考え、関わることへの難しさ。また、保護者への声掛け、支援方法について。
	・環境の変化への対応の難しさ。 ・子どもとの関わり方等。
	人間関係。
	人間関係で苦労しました。

保育科	2年目の時に嘱託から正規になりました。同じ事業団ですが、異動があるので卒業時とは異なる保育所にいます。そのため、この書類も以前の職場に取りに行きました。出来れば自宅に送って頂けると助かります。 【苦労したこと】 ・学校で学んだこととのギャップ 大変だとは分かっていたが、人が少なすぎて理想の保育、短大で学んだような保育をすることは簡単ではありません。また、卒業生の話がキラキラしていて、期待しすぎてしまっていたので、盛っていた部分や、悪い部分は隠していたんだなと正直思いました。それは、保育士になってほしいから私も逆の立場ならそうすると思いますし、当たり前ではあると思うのですが、現実も教えて頂きたかったです。 ・行事（発表会、運動会） 特にこの2つの行事はとても大変です。リモートでの授業で発表会の進め方など、実践を学びきれていないところも原因だとは思いますが、未満児の発表会の進め方、絵本からのごっこ遊びの取り組み方は現場で多く学びました。 ・コロナでどうしようもないとは思うのですが、〇〇学園の実習はやはりクラスに入って学びたかったと思います。就職して支援が必要な子どもに関わることが多く、生かしていけたらと思ったからです。 【成長したこと】 ・絵本読み 認定絵本士の資格はとても大きく大切な学びになっていると感じます。現場に出て、先輩に対してもっとこうすれば絵本を子どもが楽しめるのにと思う場面もあり、自分の時には子どもがとても集中して見てくれて嬉しかったからです。 ・保護者対応、連絡帳等 保護者に対する対応は学校では学べませんし、実践あるのみだと思うから。連絡帳も学校ではそれでOKでも、実際はやはり異なり、その書き方ではいけないとアドバイスをもらうことが多かったため。
	・ピアノ。 ・行事前の残業。 ・労働時間の超過。
	グレーゾーンの子どもに対する受け皿が無さすぎる。また、保護者の理解度の低さ（グレーゾーンの子どもや療育について）。
	・給料の低さ。 ・保育に対する考え方の違い。 ・要領の悪さやマルチタスク等。
	体調管理が大変。
	人間関係がとても良い職場で、毎日楽しく働かせてもらっているのですが、行事の際の作り物のクオリティが全体的に高いので、行事が近づくと残業や持ち帰りをしなければ終わらないノルマを課せられることがあったり、グループ園なので、姉妹園の行事にお手伝いとして無給の休日出勤をしなければならないこともあり、そこがストレスに感じることがあります。仕事をする中では、少しずつ気を抜けるところは抜けるようになってきて、入職したばかりの頃よりは余裕を持って仕事できていると思います。
	人間関係の大変さ。
	子ども同士でトラブルが起きたときの対応の仕方が難しく苦労しました。

【学べたことについて】

学科	自由回答
看護学科	技術や知識が身に付いた。
	看護師としての知識やスキルの習得ができた。
	看護師：人の命に関わる仕事なのにずっと焦っていないといけないことが精神的に辛かった。実際は患者さんの話をゆっくり聞く時間などなかった。 保健師：忙しいが、看護師よりは心の余裕がある。子どもの発達や育児知識が身に付いた。
	実際に働くことで学ぶことが多くありましたが、大学で学んだ基礎を活かしながら働くことができているなと感じています。
	日々学習を繰り返し、知識や経験を重ねながら、専門職としての自信と誇りを身に付けられている。
福祉学科	人と関わることの大切さ、責任感を学んだ。
	一人ひとりに合わせた支援方法を考える力が身に付いた。
栄養学科	実際に働くことで、学校では得ることができなかった知識を多く学ぶことができている。 現在は、研究や発表など色々なことにチャレンジし、良い経験となっている。日々勉強しなければいけないことが多く大変だが、今後も管理栄養士として働きたいと思ってます。
	仕事を始めたことで、社会人としての受け答えの部分や専門的な知識が身に付いた。また、国家試験を受ける上で実践したことが試験内容と結びつきやすかった。
英語学科	社会人としてのマナーや言葉遣いなどの立ち振る舞いを身に付けられた。
観光文化学科	知らない道具の名前を知ることができたり、できなかったことができるようになったり、上の人との付き合い方を学ぶことができました。
	お客様に対する接し方(敬語を使う、話題を作ること)に対し、最初は大変だなと感じたが、先輩方を見てたくさん学んだ。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	コロナで実習に行けない中での就職でしたが、教育プログラムがあり、なんとか3年目になり病棟で働くことができています。
	異動した先の病棟でパワハラにあったため、現在休職中です。一度、メンタルを崩してしまうと復帰するのに時間がかかることを実感しました。
福祉学科	患者対応。
栄養学科	もっと真剣に2、3年の時から就活をしておけば良かった。メーカーと販売会社、子会社、オーナー会社などの違いを理解した上で就活に取り組むべきだった。インターンなどについて、早い段階から知っておきたかった。
	管理栄養士採用だが、実質は介護業務が多い。経験として働いており、会社の職員が良いため続けられている。管理栄養士採用が初めてであったため、管理栄養士業務が確立されていない。
英語学科	給料が少ない。
	能力が周りについていけていないのではないかと考える時がある。

観光文化学科	新しいことにチャレンジして、それによって利益を得ることの難しさを感じました。
	募集時に書かれていたことと入社してからの実態が異なっていたこと。
	クオリティや質を求められる仕事もあれば、早さが求められる仕事もあり、Excelや簿記、FPの勉強を早く始めていればよかったなと思います。
	まずは、会社と出逢って「自分が決めた道を最高の人生にする」と思わせてくれたことに感謝したいです。また、会社を通して、新しい世界観や価値観に出逢うきっかけを与えてくれ、いろんな挑戦をさせて頂けていることや、大切な仲間や尊敬できる方々に出逢えたことで人生が豊かになっていると感じます。
助産別科	資格が増えた。
	分娩教育。
	看護師の仕事がメインになっており、助産師の資格を発揮できていない。婦人科や他科の患者を見ることも多く、仕事にやりがいを感じない。
保育科	就職し、仕事を続けていく中で改めて子どもと関わることが好きだということがわかりました。
	勤務形態に慣れない。
	ナチュラル、自然を大切にしている園で、自分のやりたい保育ができていると感じています。
	外部講師の先生から嫌われていたこと。
	初めてのことなどは分からず大変だが、教えてくれるので大丈夫だった。

〔6〕大学・短大で受けた教育について

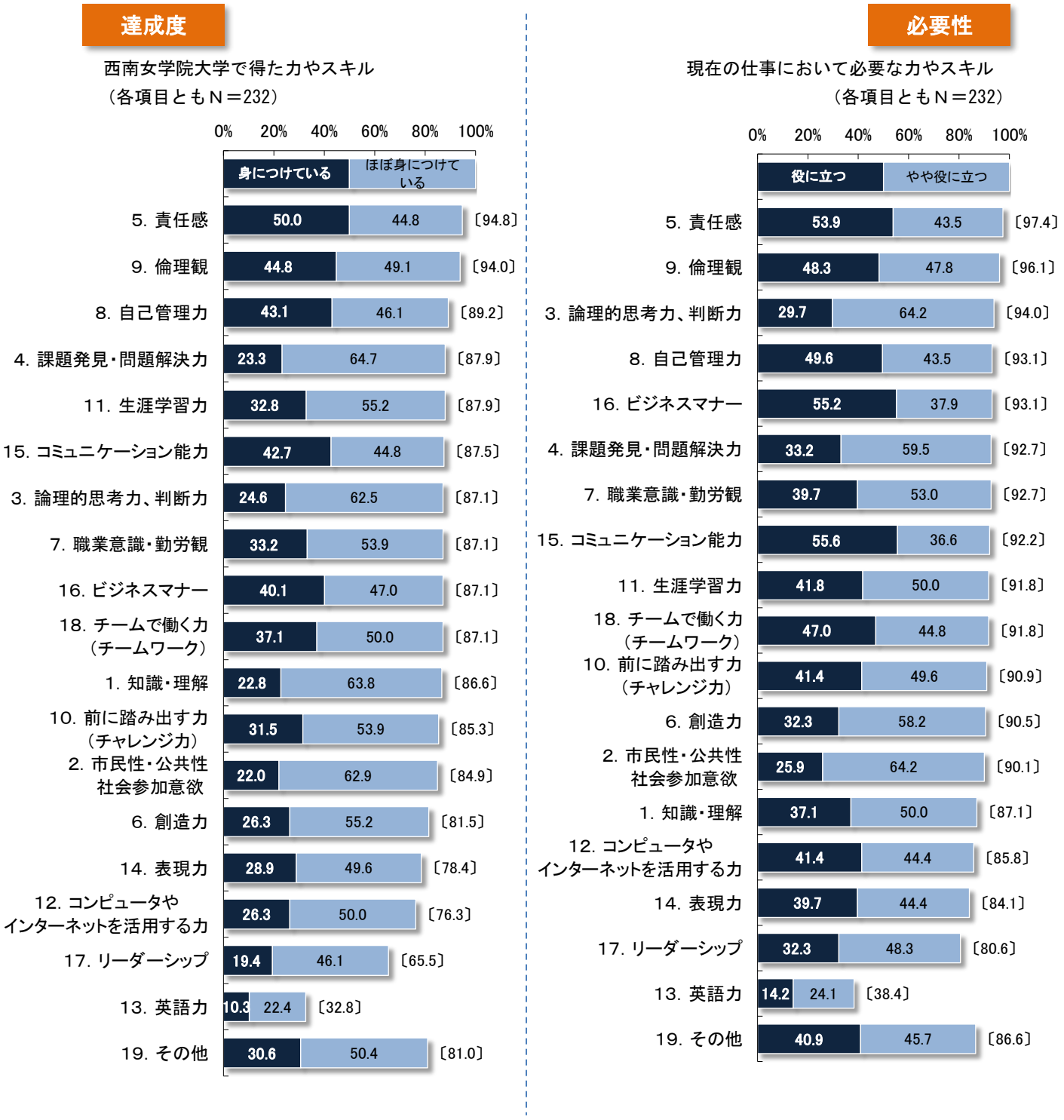
① 達成度と必要性（全体）

問　①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。
　　その他を選択した場合は、（　）内に具体的内容をご記入ください。

西南女学院大学で得た力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価する人の割合をみると、「5.責任感」（94.8%）が最も多くなっている。また、これに次いで「9.倫理観」（94.0%）、「8.自己管理力」（89.2%）、「4.課題発見・問題解決力」「11.生涯学習力」（いずれも 87.9%）、「15.コミュニケーション能力」（87.5%）、「3.論理的思考力、判断力」「7.職業意識・勤労観」「16.ビジネスマナー」「18.チームで働く力（チームワーク）」（いずれも 87.1%）、「1.知識・理解」（86.6%）、「10.前に踏み出す力（チャレンジ力）」（85.3%）が 85%を超えている。

現在の仕事において必要な力やスキルが『役に立つ』（役に立つ＋やや役に立つ）と評価する人の割合をみると、「5.責任感」（97.4%）が最も多くなっている。また、これに次いで「9.倫理観」（96.1%）、「3.論理的思考力、判断力」（94.0%）、「8.自己管理力」「16.ビジネスマナー」（いずれも 93.1%）、「4.課題発見・問題解決力」「7.職業意識・勤労観」（いずれも 92.7%）、「15.コミュニケーション能力」（92.2%）、「11.生涯学習力」「18.チームで働く力（チームワーク）」（いずれも 91.8%）、「10.前に踏み出す力（チャレンジ力）」（90.9%）、「6.創造力」（90.5%）、「2.市民性・公共性・社会参加意欲」（90.1%）が 90%を超えている。

【達成度と必要性】



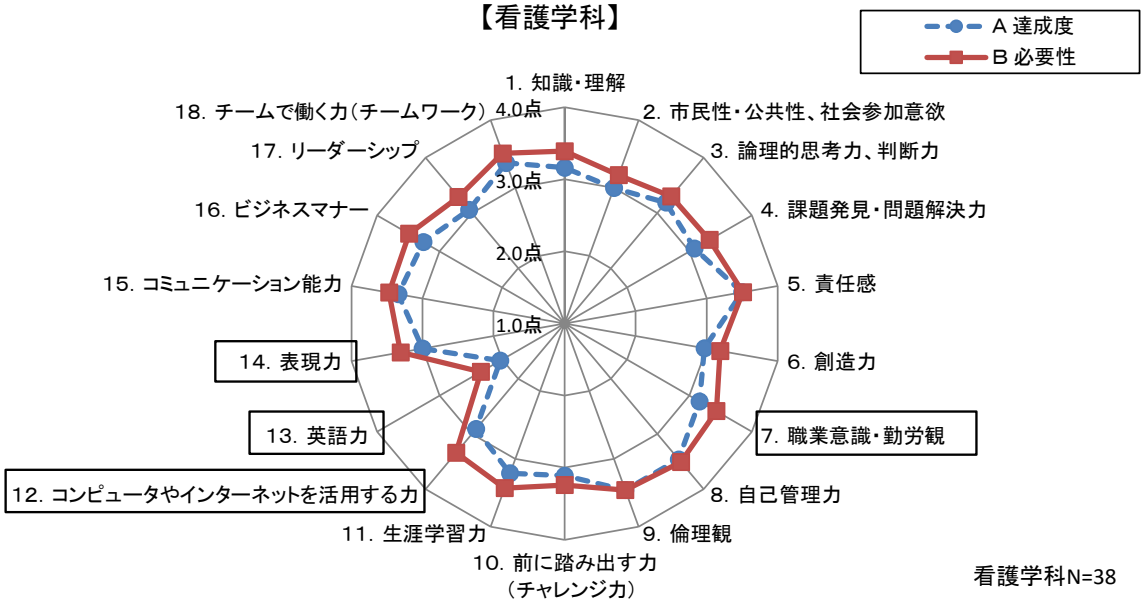
注 1）達成度の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」の 4 段階。
注 2）達成度の〔　　〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計（%）。ただし、回答比率（%）は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計（%）と内訳の計（%）は一致しない場合がある。
注 3）必要性の選択肢は「役に立つ」、「やや役に立つ」、「あまり役に立たない」、「役に立たない」の 4 段階。
注 4）必要性の〔　　〕は「役に立つ」+「やや役に立つ」の合計（%）。ただし、回答比率（%）は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計（%）と内訳の計（%）は一致しない場合がある。

② 達成度と必要性（学科別）

達成度と必要性について、「身につけている」、「役に立つ」＝4 点、「ほぼ身につけている」、「やや役に立つ」＝3 点、「あまり身につけていない」、「あまり役に立たない」＝2 点、「身につけていない」、「役に立たない」＝1 点として配点し、達成度と必要性の各項目の平均点を算出した。達成度と必要性を比較し、各学科に必要な能力がどの程度達成されているのか、確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位 3 項目には枠を付けている。

看護学科では、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の必要性が達成度よりも 0.43 ポイント高く、次いで「13. 英語力」「14. 表現力」で 0.31 ポイント、「7. 職業意識・勤労観」が 0.27 ポイント高くなっている。看護学科は、「9. 倫理観」を除くすべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。

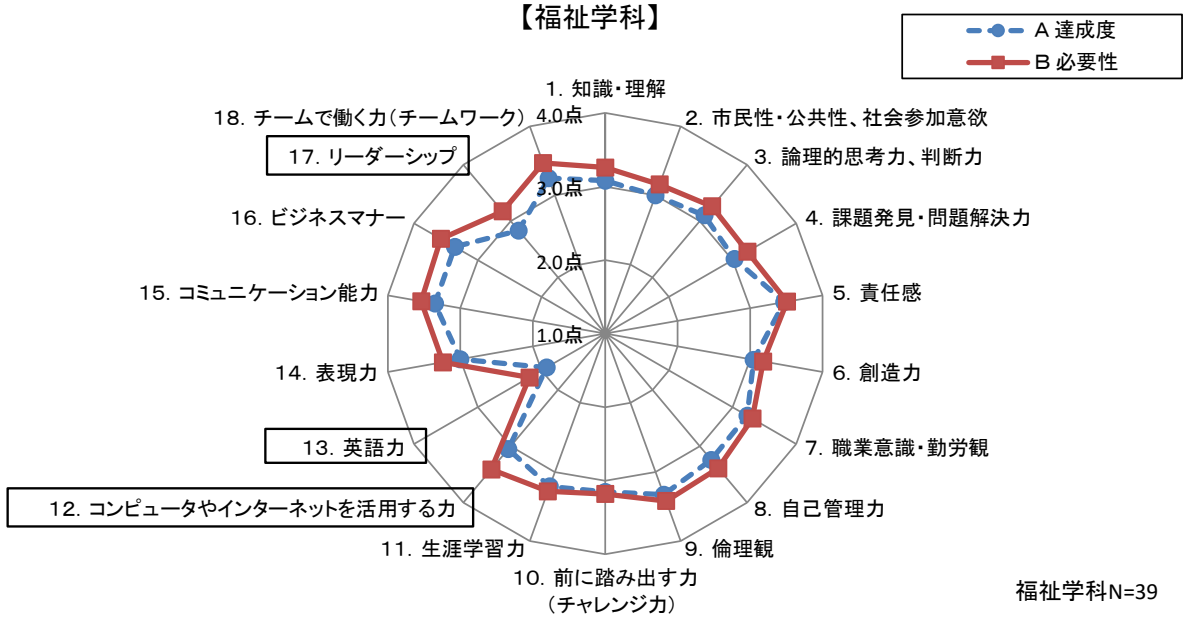
【看護学科】



看護学科N=38

福祉学科では、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の必要性が達成度よりも 0.36 ポイント高く、次いで「17. リーダーシップ」が 0.34 ポイント、「13. 英語力」が 0.27 ポイント高くなっている。福祉学科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。

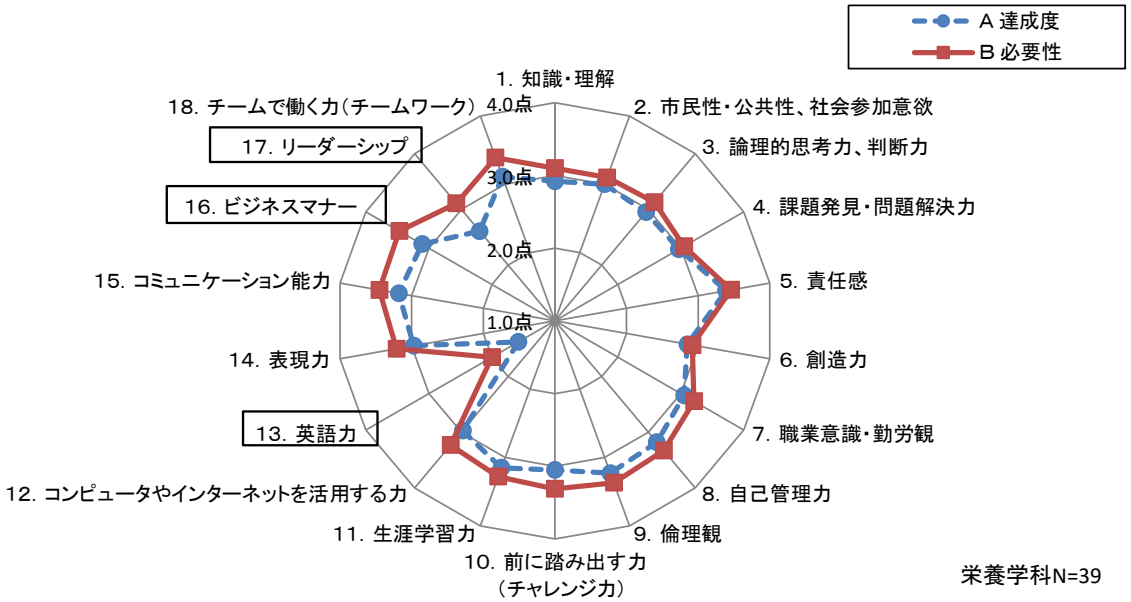
【福祉学科】



福祉学科N=39

栄養学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 0.50 ポイント高く、次いで「13. 英語力」が 0.42 ポイント、「16. ビジネスマナー」が 0.36 ポイント高くなっている。栄養学科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。

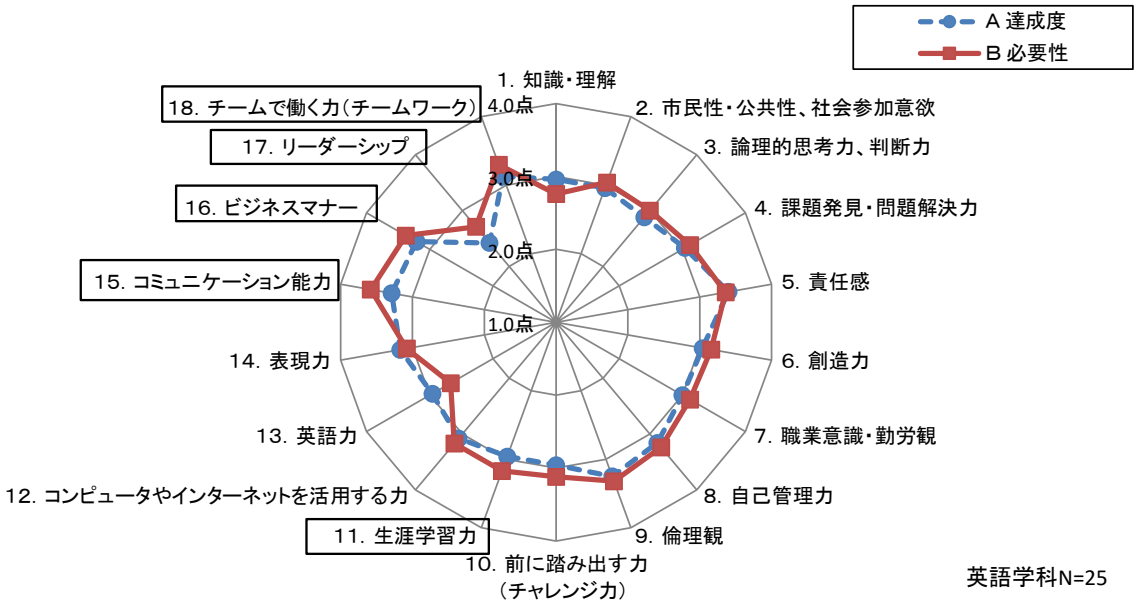
【栄養学科】



栄養学科N=39

英語学科では、「15. コミュニケーション能力」「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 0.29 ポイント高く、次いで「11. 生涯学習力」が 0.21 ポイント、「16. ビジネスマナー」「18. チームで働く力（チームワーク）」が 0.17 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」が 0.29 ポイント、「1. 知識・理解」が 0.20 ポイント、「14. 表現力」が 0.09 ポイント、「5. 責任感」が 0.04 ポイント、必要性より達成度が高く、求められる能力を達成していると考える人が多いことがうかがえる。

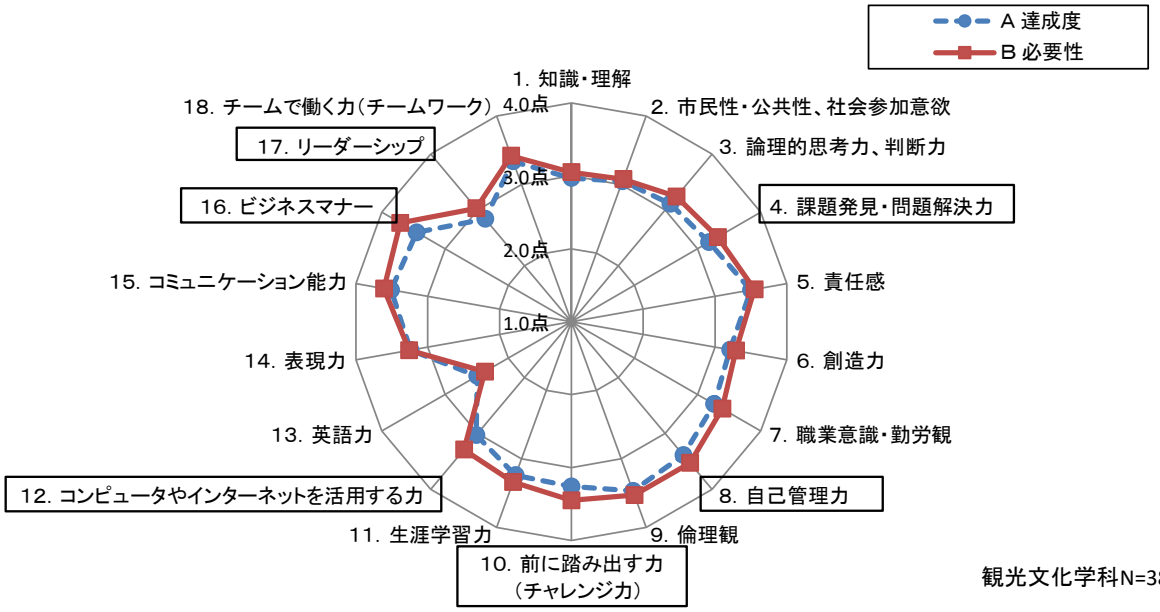
【英語学科】



英語学科N=25

観光文化学科では、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも 0.26 ポイント高く、次いで「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力)」「17. リーダーシップ」が 0.19 ポイント、「4. 課題発見・問題解決力」「8. 自己管理力」が 0.14 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」が 0.12 ポイント、必要性より達成度が高く、求められる能力を達成していると考える人が多いことがうかがえる。

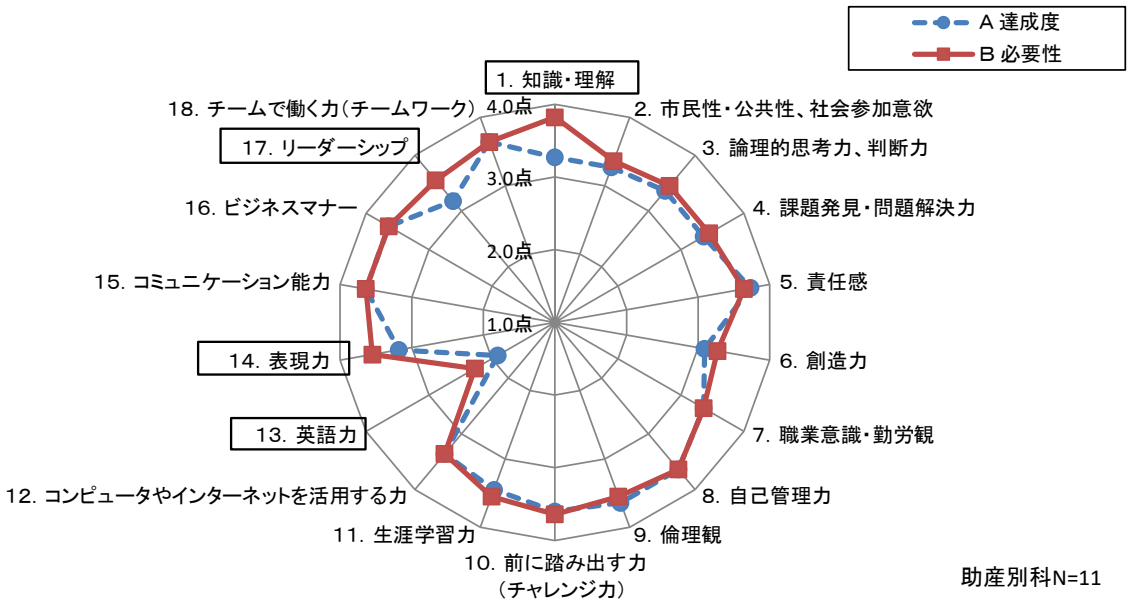
【観光文化学科】



観光文化学科N=38

助産別科では、「1. 知識・理解」の必要性が達成度よりも 0.55 ポイント高くなっている。次いで「14. 表現力」「17. リーダーシップ」が 0.37 ポイント、「13. 英語力」が 0.36 ポイント高くなっている。一方、「5. 責任感」「9. 倫理観」が 0.09 ポイント、必要性より達成度が高く、求められる能力を達成していると考える人が多いことがうかがえる。

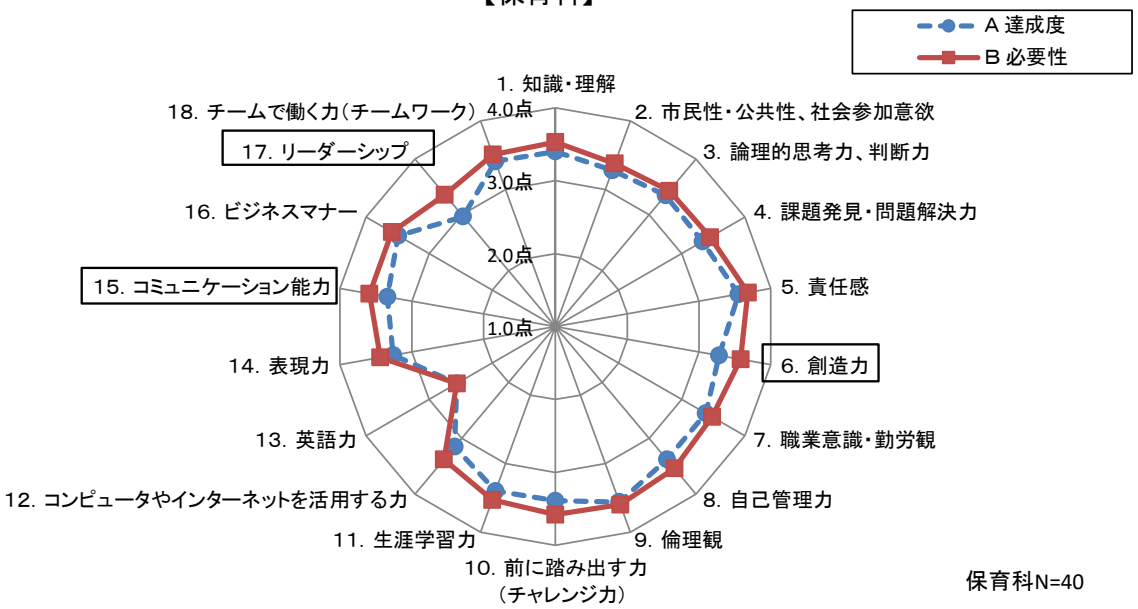
【助産別科】



助産別科N=11

保育科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 0.39 ポイント高く、次いで「6. 創造力」が 0.30 ポイント、「15. コミュニケーション能力」が 0.25 ポイント高くなっている。保育科は、「13. 英語力」を除くすべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。

【保育科】



③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）

能力やスキルを身につけるために役立ったことは、多くの項目について「大学での講義」が役立っていると回答している人が多いが、「15. コミュニケーション能力」、「18. チームで働く力（チームワーク）」については「研究室、ゼミ活動」、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」では「実習、インターンシップ」が役に立ったと回答した人が多い。

【能力やスキルを身につけるために役立ったこと】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
１．知識・理解	232	66.4	35.8	10.3	54.7	4.7	6.0	17.2	0.4	6.9	10.8	1.3
２．市民性・公共性、社会参加意欲	232	53.0	42.2	7.3	44.8	4.3	7.8	18.1	0.4	7.8	5.6	2.2
３．論理的思考力、判断力	232	64.2	44.8	6.0	44.0	1.7	7.3	15.5	0.4	3.9	8.6	2.2
４．課題発見・問題解決力	232	62.9	50.9	6.0	44.8	2.2	5.6	13.4	－	3.4	9.9	2.2
５．責任感	232	62.1	49.6	7.3	51.7	2.2	8.6	20.7	2.2	5.2	7.8	1.7
６．創造力	232	58.6	52.6	4.7	34.1	3.4	6.0	11.6	1.7	6.0	6.9	3.4
７．職業意識・勤労観	232	50.9	45.7	10.8	45.3	1.3	6.0	20.3	－	5.2	10.3	3.0
８．自己管理力	232	53.9	35.8	8.2	37.9	2.6	10.8	16.8	0.9	4.3	6.9	4.3
９．倫理観	232	61.6	46.1	8.2	42.7	2.2	9.5	21.1	0.4	4.3	7.3	3.4
１０．前に踏み出す力（チャレンジ力）	232	47.8	49.1	6.5	50.9	4.7	8.2	19.0	0.4	6.9	9.5	3.9
１１．生涯学習力	232	63.4	47.8	8.6	36.2	3.4	5.6	14.2	0.9	4.3	9.9	5.2
１２．コンピュータやインターネットを活用する力	232	78.0	32.8	4.3	12.5	0.9	0.9	3.0	0.9	0.9	7.8	5.2
１３．英語力	232	69.8	12.1	2.2	6.5	4.3	0.4	1.3	1.3	1.3	1.7	20.3
１４．表現力	232	72.8	53.0	5.6	34.9	1.7	2.6	2.2	1.3	1.3	7.3	6.5
１５．コミュニケーション能力	232	53.9	58.6	10.8	48.3	4.7	20.7	30.6	0.9	7.3	9.1	5.6
１６．ビジネスマナー	232	53.9	38.4	17.2	43.5	0.9	10.3	28.0	0.9	4.3	8.2	6.0
１７．リーダーシップ	232	46.1	44.8	6.0	36.6	0.9	11.2	17.7	－	2.2	5.6	7.3
１８．チームで働く力（チームワーク）	232	54.3	61.6	5.2	42.7	1.7	15.5	22.4	－	6.5	8.6	6.0
１９．その他	232	72.8	38.8	12.5	25.9	1.7	8.2	19.4	0.9	3.4	8.2	9.1

【学科別　能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１～４）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解												
全　体	232	66.4	35.8	10.3	54.7	4.7	6.0	17.2	0.4	6.9	10.8	1.3
看護学科	38	68.4	34.2	5.3	73.7	－	5.3	13.2	－	7.9	10.5	2.6
福祉学科	41	70.7	39.0	7.3	70.7	－	4.9	14.6	－	7.3	7.3	4.9
栄養学科	39	82.1	15.4	2.6	48.7	2.6	7.7	23.1	－	－	7.7	－
英語学科	25	56.0	36.0	28.0	28.0	20.0	12.0	16.0	－	16.0	12.0	－
観光文化学科	38	65.8	60.5	18.4	23.7	13.2	10.5	34.2	2.6	10.5	10.5	－
助産別科	11	54.5	－	－	72.7	－	－	－	－	9.1	18.2	－
保育科	40	55.0	40.0	10.0	67.5	－	－	7.5	－	2.5	15.0	－
2. 市民性・公共性、社会参加意欲												
全　体	232	53.0	42.2	7.3	44.8	4.3	7.8	18.1	0.4	7.8	5.6	2.2
看護学科	38	52.6	42.1	5.3	65.8	－	7.9	15.8	2.6	10.5	10.5	2.6
福祉学科	41	65.9	34.1	4.9	61.0	－	7.3	12.2	－	7.3	4.9	7.3
栄養学科	39	56.4	20.5	7.7	43.6	2.6	12.8	30.8	－	－	5.1	2.6
英語学科	25	44.0	64.0	20.0	28.0	16.0	8.0	12.0	－	12.0	4.0	－
観光文化学科	38	42.1	63.2	7.9	13.2	10.5	10.5	31.6	－	15.8	－	－
助産別科	11	45.5	9.1	－	54.5	－	－	－	－	9.1	－	－
保育科	40	55.0	47.5	5.0	47.5	2.5	2.5	10.0	－	2.5	10.0	－
3. 論理的思考力、判断力												
全　体	232	64.2	44.8	6.0	44.0	1.7	7.3	15.5	0.4	3.9	8.6	2.2
看護学科	38	63.2	52.6	2.6	63.2	－	7.9	10.5	－	7.9	13.2	2.6
福祉学科	41	65.9	48.8	2.4	53.7	－	4.9	7.3	2.4	－	7.3	4.9
栄養学科	39	61.5	12.8	5.1	51.3	－	12.8	28.2	－	2.6	7.7	2.6
英語学科	25	68.0	56.0	16.0	24.0	12.0	16.0	16.0	－	8.0	4.0	－
観光文化学科	38	44.7	68.4	13.2	18.4	2.6	7.9	28.9	－	5.3	5.3	2.6
助産別科	11	63.6	27.3	－	63.6	－	－	－	－	－	18.2	－
保育科	40	82.5	40.0	2.5	40.0	－	－	7.5	－	2.5	10.0	－
4. 課題発見・問題解決力												
全　体	232	62.9	50.9	6.0	44.8	2.2	5.6	13.4	－	3.4	9.9	2.2
看護学科	38	60.5	63.2	2.6	65.8	－	－	7.9	－	5.3	10.5	2.6
福祉学科	41	61.0	56.1	2.4	48.8	－	4.9	12.2	－	－	7.3	7.3
栄養学科	39	59.0	28.2	2.6	41.0	－	12.8	20.5	－	－	12.8	2.6
英語学科	25	64.0	60.0	24.0	32.0	16.0	8.0	12.0	－	4.0	8.0	－
観光文化学科	38	55.3	73.7	5.3	18.4	2.6	10.5	26.3	－	7.9	5.3	－
助産別科	11	72.7	9.1	－	63.6	－	－	－	－	9.1	18.2	－
保育科	40	75.0	40.0	7.5	52.5	－	－	5.0	－	2.5	12.5	－

【学科別　能力やスキルを身につけるために役立ったこと（５～８）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
5. 責任感												
全　体	232	62.1	49.6	7.3	51.7	2.2	8.6	20.7	2.2	5.2	7.8	1.7
看護学科	38	63.2	52.6	2.6	73.7	－	2.6	13.2	－	5.3	10.5	2.6
福祉学科	41	56.1	63.4	7.3	63.4	－	9.8	24.4	－	2.4	7.3	4.9
栄養学科	39	64.1	35.9	2.6	48.7	－	15.4	33.3	2.6	－	10.3	2.6
英語学科	25	64.0	64.0	20.0	40.0	16.0	4.0	20.0	－	12.0	4.0	－
観光文化学科	38	57.9	73.7	10.5	15.8	2.6	15.8	28.9	2.6	13.2	7.9	－
助産別科	11	63.6	－	－	72.7	－	9.1	－	18.2	9.1	9.1	－
保育科	40	67.5	27.5	7.5	57.5	－	2.5	10.0	2.5	－	5.0	－
6. 創造力												
全　体	232	58.6	52.6	4.7	34.1	3.4	6.0	11.6	1.7	6.0	6.9	3.4
看護学科	38	55.3	47.4	－	44.7	－	2.6	10.5	2.6	7.9	15.8	2.6
福祉学科	41	61.0	58.5	7.3	51.2	－	4.9	14.6	－	2.4	4.9	7.3
栄養学科	39	56.4	38.5	2.6	30.8	－	10.3	15.4	2.6	－	2.6	5.1
英語学科	25	68.0	68.0	16.0	20.0	16.0	4.0	8.0	－	16.0	4.0	－
観光文化学科	38	47.4	71.1	5.3	10.5	10.5	13.2	18.4	2.6	10.5	2.6	2.6
助産別科	11	45.5	18.2	－	36.4	－	－	－	9.1	9.1	18.2	9.1
保育科	40	70.0	47.5	2.5	40.0	－	2.5	5.0	－	2.5	7.5	－
7. 職業意識・勤労観												
全　体	232	50.9	45.7	10.8	45.3	1.3	6.0	20.3	－	5.2	10.3	3.0
看護学科	38	55.3	44.7	2.6	55.3	－	－	15.8	－	10.5	15.8	7.9
福祉学科	41	65.9	56.1	9.8	58.5	－	9.8	17.1	－	4.9	9.8	4.9
栄養学科	39	46.2	25.6	7.7	43.6	－	12.8	28.2	－	－	7.7	5.1
英語学科	25	36.0	48.0	28.0	40.0	12.0	4.0	24.0	－	8.0	8.0	－
観光文化学科	38	36.8	63.2	18.4	15.8	－	10.5	36.8	－	7.9	7.9	－
助産別科	11	36.4	9.1	－	63.6	－	－	－	－	9.1	9.1	－
保育科	40	62.5	47.5	7.5	50.0	－	－	7.5	－	－	12.5	－
8. 自己管理力												
全　体	232	53.9	35.8	8.2	37.9	2.6	10.8	16.8	0.9	4.3	6.9	4.3
看護学科	38	39.5	31.6	5.3	52.6	－	10.5	18.4	－	10.5	15.8	2.6
福祉学科	41	63.4	56.1	7.3	43.9	－	9.8	12.2	2.4	－	7.3	7.3
栄養学科	39	61.5	12.8	2.6	35.9	－	15.4	23.1	2.6	－	－	5.1
英語学科	25	52.0	48.0	24.0	32.0	16.0	12.0	16.0	－	8.0	8.0	－
観光文化学科	38	42.1	39.5	10.5	10.5	5.3	15.8	31.6	－	5.3	5.3	7.9
助産別科	11	54.5	－	－	63.6	－	9.1	－	－	9.1	9.1	－
保育科	40	62.5	40.0	7.5	42.5	－	2.5	5.0	－	2.5	5.0	2.5

【学科別　能力やスキルを身につけるために役立ったこと（９～１２）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
9. 倫理観												
全　体	232	61.6	46.1	8.2	42.7	2.2	9.5	21.1	0.4	4.3	7.3	3.4
看護学科	38	50.0	42.1	2.6	55.3	－	10.5	18.4	－	7.9	13.2	5.3
福祉学科	41	65.9	61.0	9.8	56.1	－	7.3	19.5	－	－	7.3	4.9
栄養学科	39	66.7	25.6	12.8	43.6	－	17.9	35.9	2.6	－	7.7	2.6
英語学科	25	64.0	60.0	16.0	24.0	16.0	20.0	28.0	－	8.0	4.0	－
観光文化学科	38	50.0	55.3	7.9	13.2	2.6	7.9	23.7	－	13.2	5.3	7.9
助産別科	11	63.6	－	－	72.7	－	－	－	－	－	9.1	－
保育科	40	72.5	50.0	5.0	47.5	－	－	10.0	－	－	5.0	－
10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）												
全　体	232	47.8	49.1	6.5	50.9	4.7	8.2	19.0	0.4	6.9	9.5	3.9
看護学科	38	42.1	47.4	－	57.9	－	7.9	18.4	－	10.5	15.8	7.9
福祉学科	41	51.2	58.5	9.8	65.9	－	9.8	14.6	－	2.4	9.8	4.9
栄養学科	39	46.2	30.8	2.6	61.5	－	12.8	30.8	－	2.6	7.7	5.1
英語学科	25	44.0	44.0	16.0	28.0	20.0	8.0	16.0	－	12.0	12.0	4.0
観光文化学科	38	36.8	71.1	7.9	21.1	15.8	13.2	28.9	2.6	15.8	2.6	2.6
助産別科	11	45.5	9.1	－	54.5	－	－	－	－	9.1	18.2	－
保育科	40	65.0	52.5	7.5	60.0	－	－	10.0	－	－	7.5	－
11. 生涯学習力												
全　体	232	63.4	47.8	8.6	36.2	3.4	5.6	14.2	0.9	4.3	9.9	5.2
看護学科	38	50.0	47.4	2.6	44.7	－	－	10.5	－	5.3	10.5	7.9
福祉学科	41	73.2	61.0	9.8	51.2	－	9.8	12.2	－	2.4	12.2	9.8
栄養学科	39	69.2	28.2	12.8	35.9	－	5.1	17.9	2.6	－	7.7	7.7
英語学科	25	56.0	64.0	16.0	20.0	16.0	12.0	20.0	－	12.0	8.0	4.0
観光文化学科	38	52.6	60.5	7.9	13.2	10.5	10.5	26.3	2.6	7.9	7.9	－
助産別科	11	81.8	－	－	63.6	－	－	－	－	9.1	18.2	－
保育科	40	70.0	45.0	7.5	37.5	－	－	5.0	－	－	10.0	2.5
12. コンピュータやインターネットを活用する力												
全　体	232	78.0	32.8	4.3	12.5	0.9	0.9	3.0	0.9	0.9	7.8	5.2
看護学科	38	78.9	28.9	2.6	21.1	－	－	－	－	－	10.5	10.5
福祉学科	41	75.6	39.0	4.9	17.1	－	2.4	7.3	－	－	4.9	9.8
栄養学科	39	89.7	17.9	2.6	10.3	－	2.6	5.1	－	－	10.3	－
英語学科	25	76.0	36.0	8.0	8.0	8.0	－	－	－	－	4.0	4.0
観光文化学科	38	78.9	50.0	7.9	－	－	－	5.3	5.3	2.6	7.9	2.6
助産別科	11	45.5	27.3	－	27.3	－	－	－	－	9.1	9.1	－
保育科	40	77.5	27.5	2.5	12.5	－	－	－	－	－	7.5	5.0

【学科別　能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１３～１６）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
13. 英語力												
全　体	232	69.8	12.1	2.2	6.5	4.3	0.4	1.3	1.3	1.3	1.7	20.3
看護学科	38	78.9	7.9	－	7.9	－	－	－	2.6	－	－	18.4
福祉学科	41	63.4	7.3	－	4.9	－	－	－	2.4	－	－	26.8
栄養学科	39	56.4	2.6	－	2.6	－	－	－	－	－	－	38.5
英語学科	25	84.0	40.0	16.0	24.0	16.0	4.0	8.0	－	8.0	8.0	4.0
観光文化学科	38	81.6	13.2	2.6	2.6	15.8	－	－	－	2.6	－	5.3
助産別科	11	45.5	－	－	－	－	－	－	9.1	－	9.1	45.5
保育科	40	67.5	15.0	－	5.0	－	－	2.5	－	－	2.5	15.0
14. 表現力												
全　体	232	72.8	53.0	5.6	34.9	1.7	2.6	2.2	1.3	1.3	7.3	6.5
看護学科	38	55.3	60.5	2.6	57.9	－	－	－	－	2.6	10.5	7.9
福祉学科	41	68.3	61.0	9.8	43.9	－	4.9	4.9	－	－	7.3	9.8
栄養学科	39	89.7	43.6	5.1	38.5	－	－	2.6	2.6	－	5.1	5.1
英語学科	25	76.0	64.0	8.0	16.0	8.0	8.0	－	－	－	8.0	4.0
観光文化学科	38	73.7	81.6	2.6	13.2	5.3	2.6	2.6	－	5.3	5.3	－
助産別科	11	63.6	9.1	－	45.5	－	－	－	9.1	－	9.1	18.2
保育科	40	77.5	25.0	7.5	30.0	－	2.5	2.5	2.5	－	7.5	7.5
15. コミュニケーション能力												
全　体	232	53.9	58.6	10.8	48.3	4.7	20.7	30.6	0.9	7.3	9.1	5.6
看護学科	38	39.5	44.7	2.6	68.4	－	21.1	23.7	－	10.5	13.2	7.9
福祉学科	41	61.0	58.5	9.8	61.0	－	22.0	34.1	－	7.3	9.8	12.2
栄養学科	39	46.2	51.3	15.4	53.8	－	25.6	38.5	2.6	－	5.1	5.1
英語学科	25	60.0	72.0	16.0	28.0	20.0	28.0	32.0	－	8.0	8.0	4.0
観光文化学科	38	55.3	84.2	13.2	18.4	15.8	26.3	44.7	－	15.8	7.9	－
助産別科	11	72.7	18.2	－	63.6	－	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	－
保育科	40	57.5	57.5	12.5	47.5	－	7.5	15.0	－	2.5	10.0	5.0
16. ビジネスマナー												
全　体	232	53.9	38.4	17.2	43.5	0.9	10.3	28.0	0.9	4.3	8.2	6.0
看護学科	38	31.6	34.2	13.2	50.0	－	7.9	18.4	－	10.5	7.9	7.9
福祉学科	41	53.7	43.9	9.8	56.1	－	14.6	36.6	－	7.3	9.8	12.2
栄養学科	39	46.2	23.1	17.9	46.2	－	15.4	33.3	2.6	－	7.7	7.7
英語学科	25	60.0	36.0	28.0	36.0	－	4.0	32.0	－	－	4.0	4.0
観光文化学科	38	71.1	63.2	28.9	18.4	5.3	15.8	39.5	－	7.9	7.9	－
助産別科	11	36.4	－	－	54.5	－	9.1	9.1	9.1	－	18.2	9.1
保育科	40	67.5	40.0	15.0	47.5	－	2.5	15.0	－	－	7.5	2.5

【学科別　能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１７～１９）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
17. リーダーシップ												
全　体	232	46.1	44.8	6.0	36.6	0.9	11.2	17.7	－	2.2	5.6	7.3
看護学科	38	28.9	63.2	－	60.5	－	10.5	10.5	－	2.6	5.3	7.9
福祉学科	41	58.5	43.9	7.3	34.1	－	12.2	19.5	－	－	4.9	14.6
栄養学科	39	35.9	20.5	5.1	48.7	－	10.3	23.1	－	－	7.7	10.3
英語学科	25	40.0	48.0	12.0	20.0	4.0	20.0	20.0	－	4.0	4.0	4.0
観光文化学科	38	44.7	55.3	5.3	－	2.6	18.4	26.3	－	5.3	5.3	5.3
助産別科	11	54.5	18.2	－	72.7	－	－	－	－	9.1	9.1	－
保育科	40	62.5	47.5	10.0	40.0	－	2.5	12.5	－	－	5.0	2.5
18. チームで働く力（チームワーク）												
全　体	232	54.3	61.6	5.2	42.7	1.7	15.5	22.4	－	6.5	8.6	6.0
看護学科	38	39.5	65.8	2.6	71.1	－	13.2	13.2	－	13.2	13.2	7.9
福祉学科	41	61.0	61.0	7.3	51.2	－	14.6	26.8	－	7.3	7.3	14.6
栄養学科	39	43.6	51.3	7.7	56.4	－	20.5	28.2	－	－	7.7	5.1
英語学科	25	68.0	64.0	12.0	24.0	12.0	28.0	28.0	－	16.0	8.0	4.0
観光文化学科	38	50.0	81.6	－	10.5	2.6	21.1	39.5	－	5.3	2.6	2.6
助産別科	11	54.5	9.1	－	81.8	－	－	－	－	－	9.1	－
保育科	40	67.5	62.5	5.0	25.0	－	5.0	7.5	－	2.5	12.5	2.5
19. その他												
全　体	232	72.8	38.8	12.5	25.9	1.7	8.2	19.4	0.9	3.4	8.2	9.1
看護学科	38	68.4	34.2	2.6	39.5	－	5.3	15.8	－	5.3	10.5	15.8
福祉学科	41	70.7	31.7	9.8	31.7	－	9.8	24.4	2.4	2.4	4.9	17.1
栄養学科	39	74.4	20.5	17.9	20.5	－	12.8	23.1	－	－	7.7	12.8
英語学科	25	80.0	48.0	24.0	24.0	12.0	8.0	20.0	－	－	8.0	8.0
観光文化学科	38	76.3	68.4	15.8	5.3	2.6	15.8	28.9	－	10.5	5.3	－
助産別科	11	54.5	18.2	－	54.5	－	－	－	－	－	9.1	－
保育科	40	75.0	40.0	12.5	25.0	－	－	10.0	2.5	2.5	12.5	2.5

④ 仕事をする上で重要だと思う事

問　②上記の表の１～１９の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、５つまでその番号をご記入ください。

仕事をする上で重要だと思うことは、「5. 責任感」（72.8%）が最も多く、次いで「15. コミュニケーション能力」（69.8%）、「18. チームで働く力（チームワーク）」（54.3%）となっている。

学科別にみると、概ね全体結果と同様の傾向を示しているが、看護学科では「3. 論理的思考力、判断力」、福祉学科、観光文化学科では「16. ビジネスマナー」、栄養学科、保育科では「5. 責任感」、英語学科では「4. 課題発見・問題解決力」、助産別科では「1. 知識・理解」を重要視する人が他学科に比べ際立って多くなっている。

【仕事をする上で重要だと思うこと】

(N=232)

※回答のなかった項目は省略

【学科別　仕事をする上で重要だと思うこと（1/2)】(%)

	全体（人）	5.責任感	15.コミュニケーション能力	18.チームで働く力（チームワーク）	1.知識・理解	8.自己管理力	4.課題発見・問題解決力	16.ビジネスマナー	3.論理的思考力、判断力	10.前に踏み出す力（チャレンジ力）
全体	232	72.8	69.8	54.3	51.3	38.8	32.3	28.0	23.7	18.1
看護学科	38	68.4	71.1	55.3	63.2	50.0	34.2	21.1	42.1	13.2
福祉学科	41	68.3	75.6	56.1	51.2	41.5	36.6	36.6	29.3	9.8
栄養学科	39	82.1	71.8	43.6	61.5	38.5	28.2	30.8	17.9	25.6
英語学科	25	64.0	68.0	36.0	28.0	52.0	52.0	28.0	28.0	20.0
観光文化学科	38	71.1	84.2	55.3	31.6	47.4	31.6	44.7	13.2	31.6
助産別科	11	63.6	45.5	72.7	81.8	18.2	9.1	－	27.3	－
保育科	40	82.5	55.0	67.5	55.0	15.0	25.0	15.0	12.5	15.0

【学科別　仕事をする上で重要だと思うこと（2/2)】(%)

	全体（人）	7.職業意識・勤労観	12.コンピュータやインターネットを活用する力	2.市民性・公共性、社会参加意欲	9.倫理観	14.表現力	11.生涯学習力	6.創造力	17.リーダーシップ	13.英語力
全体	232	15.5	12.5	8.6	8.6	8.6	6.5	5.6	4.7	3.0
看護学科	38	10.5	2.6	7.9	15.8	2.6	13.2	－	2.6	－
福祉学科	41	12.2	2.4	17.1	9.8	2.4	4.9	7.3	2.4	－
栄養学科	39	10.3	17.9	7.7	5.1	10.3	2.6	－	10.3	2.6
英語学科	25	16.0	32.0	－	8.0	20.0	4.0	4.0	4.0	16.0
観光文化学科	38	10.5	21.1	7.9	10.5	10.5	5.3	10.5	－	2.6
助産別科	11	45.5	9.1	9.1	9.1	－	9.1	－	9.1	9.1
保育科	40	25.0	7.5	7.5	2.5	12.5	7.5	12.5	7.5	－

〔7〕大学時代で有意義だった授業

問　大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。
　　また、よろしければ理由をご記入ください。

大学時代に有意義だったと思う授業について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【研究室・ゼミ、実習・演習・インターンシップについて】　（回答者数：92人/232人[39.7%]）

学科	自由回答
看護学科	実技。
	学内実習が有意義だったと思います。客観的情報から分析し、判断する過程を同じグループの仲間と一緒にやっていくことが、チームワークや個人の考える力を育てる機会になったからです。
	実習は大変なことも多かったが、学ぶことや得ることも多かったので、看護実習や教育実習はとても有意義だったと感じる。
	保健師実習での健康教育の学びは、住民さん向けの健康教育を作るときに思い出します。
	3年生後期の各論実習は、色々な世代の色々な背景を持った人がいるというアセスメント等の経験が、現在とても役に立っていると思います。実際に、問題や背景は本当に多岐に渡るので、一つに決めつけない経験は、事例検討だけでなくチームで働く際にもいろいろな動きができるので、多方面で役に立つと思います。
栄養学科	調理実習。
	実習系の授業は今でも役に立っています。給食実習で学んだ調理機器の活用方法や、栄養指導実習で学んだ個別指導法などをそのまま活かせることが多いからです。講義系の授業で知識を学ぶこともすごく大事ですが、知識を実践に結びつけることがなかなか難しいので、実習系の授業は有意義だったと思います。
	学内、学外での実習。
英語学科	ゼミや少人数のチームでの英語で議論する授業は有意義だった。自分の意見を分かりやすく伝えること、チームで意見をまとめることなど、社会人になってもチームで仕事をする際に役立っているため。
観光文化学科	3、4年生のゼミ。様々な職種を知ることができたり、動画で何に気づくかという授業では、先入観を捨てることが大事だと学び、普段だったら絶対に気づかないところを知り得たので、今でも覚えている授業です。今の仕事でも役に立っています。
	ゼミでの活動が最も印象に残っています。実際、どんな職業でも大切なのは、ある程度のWordやExcelが使えることだと感じます。
	○○先生のインターンシップの授業：コロナでインターンに行けなかったが、熱心にエントリーシートの添削をしてもらった。他にも就活に役立つことをたくさん教えてもらいました。
	ゼミ活動。
助産別科	実習全般。
	学内実習。（お産シミュレーション、沐浴指導実施）
保育科	ゼミ活動。興味のあることを時間いっぱいできるから。
	ゼミ活動。
	調理実習のある授業。元々、調理や栄養学に興味があったため、個人的に内容も耳に入りやすかった。
	ゼミ：みんなで話して楽しかったのでコミュニケーション能力が身に付いた。

【パソコン、グループワーク・実験、マナー講座について】

学科	自由回答
福祉学科	グループワークが多い授業。様々な価値観に、あの時期に触れ合えて良かったなと思います。
	グループワークを多く行い、実践的な課題について他の学生と意見交換を行うような講義は、とても有意義だったと感じています。
栄養学科	パソコン授業。
英語学科	ビジネスマナー。
観光文化学科	ビジネスマナー。

【資格、語学、留学について】

学科	自由回答
英語学科	英語の発音などの講義と留学。留学に行くことで価値観が変わり、視野が広くなった。また、英語の発音などを学ぶ講義は、やっておいて良かったと感じるし、すごく役に立ったから。
	圧倒的に〇〇先生の日本語教員養成に関する科目。社会人になって、ここまで習ったことが生きてくると思わなかった。未だに、講義内容を参考にすることがある。心からお礼を言いたい。
	日本語教育実習。
	ドイツへの留学。自分が興味のある国に行けたことはとても楽しかったから。
観光文化学科	中国語の授業。コロナ禍でオンライン授業でしたが、回答をPowerPointでまとめ、発表する授業があり、中国語の理解と共にPowerPointを作成するスキルが身に付きました。
	国内旅行業務取扱管理者の資格試験の授業。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	〇〇先生の疾病学は今でも振り返ります。勤務して解剖学の重要性を実感しました。
	看護過程：アセスメント能力がついたと思うから。
	看護倫理は、学生時代では当たり前に考えられていた倫理観が薄れてしまう瞬間があるため、初心を忘れないためにも大切だと感じた。
	解剖生理。
	全ての授業で学びがありました。看護や教職の専門知識が様々な講義で、多岐に渡って知識を得ることができ、嬉しかったです。特に有意義だと振り返る授業は、〇〇先生の心理学です。今でもその当時の講義記録のプリントファイルを見直しています。自分の気持ちを前向きにしたり、生徒対応に活用したりしています。
	・解剖生理学。 ・コミュニケーションに関する科目。
	〇〇先生の教育の授業は、患者さんに指導を行う際に役立ちました。
	解剖生理、看護技術。人体の事を知り、NSとして新人の時に必要な知識を学んだ。

看護学科	看護技術の授業です。基礎を学べたと思います。掃除の時にシーツ交換をしたのもよかったです。就職したばかりの時に、シーツ交換のスピードを褒められました。また、実習先でエンゼルケアの経験を積ませてもらったことは大変有意義だったと思います。職場で即戦力になったと評価されました。
	教職課程の授業です。今の仕事に直結した内容であり、今でも教職課程の授業の中で行った模擬授業の内容を、保健体育の授業をする時に役立てたりしています。
福祉学科	実習や養護教諭の専門的な知識、技術を学ぶことができる授業が今の職場でも生きている。
	精神保健福祉士に関する授業。たくさんの学びがあったから。
	保育に関する授業は、全体的に実践も多く、仕事をする上で役立つことが多いです。
	記憶が定かではありませんが、教育系の科目で受けた英語学科の先生の授業。毎回90分があっという間でした。いつも有意義な話をして下さっていた気がします。
	授業名がはっきり分かりませんが、〇〇先生の医療系の授業が一日に2時間ありました。学んでいて楽しかったですし、2時間あることで1日の学びも多かった印象です。
栄養学科	調理実習・基礎栄養学：栄養士として働かなくても、実際の生活で役に立っている。調理実習に関しては、座学では頭に入らないことも身に付くため。 応用栄養学：成長や、スポーツする人など、人によって必要な栄養が違うことを知り、就職した際にも理解の追いつきが早かった。
	食品衛生学の授業は仕事をする上でも役立ちました。
	臨床病理学。
	薬膳の授業。
	臨床栄養学、給食経営管理論、給食実習。就職した先にもよると思うのですが、最初に就職した病院は現場に入ることがとても多かったため、給食関係の講義はとても役に立ちました。今は、特養で働いており、調理はしていないのですが、病院ではないため、施設にいる看護師と連携を取ることが多く、その際に臨床の知識が必要になる場面が多いかなと思います。
	・応用栄養学。 ・臨床栄養学。
	臨床栄養学。
	給食経営管理論。
英語学科	キャリア教育で、実際に働かれている方や、過労死した遺族をお持ちの方のリアルな話を聞けたことはとても印象に残っています。
	教職課程の授業。（英語教科教育法・生徒指導・特別活動・教育心理学・教育社会学・教育相談・道徳）実際に、教育現場に勤務しており、大学での学びが活かされることが多い。現在も、授業で配布された教科書やワークシートを参考にしている。
観光文化学科	航空産業論：自分が興味ある業界について学べたから。
	ビジネス関連の授業です。仕事の研修などで触れる機会が多く、授業で使用していた決算書や簿記の本を読み返すくらい有意義でした。
	文学だったと思いますが、日本人的感性や歴史を知る機会が少なくなっているので、心が豊かになる素敵な授業でした。
	イベントテーマパーク論。
	・フィールドワーク。 ・広告宣伝論。
	広告の授業。

助産別科	栄養学や運動学。
保育科	障害児保育。
	こどもの遊び。活動のアイデアとして取り入れることが出来るため。
	子どもの運動遊び。子ども達と遊ぶときに授業で習った遊びを取り入れている。
	みんなの前で手遊びをしたり、現場であったことを実際に教えてもらう授業。
	体育の授業。いろいろな遊びを知れるため。
	手遊びやわらべうたをたくさん教えて頂けたのはとても今役に立っているなと思います。
	子どもの運動遊び。実際に、園でも実践できる遊びがたくさんあり、非常に役に立っている。
	ピアノ：実際に楽器に触れる機会が日常的にできた。 実際に保育の現場に役立つ講義。（わらべうた、保育案等）

【その他】

学科	自由回答
看護学科	看護科目全て。
福祉学科	どの授業も有意義だったと思うので、一つには絞れないです。全体を通して、グループワークを行う機会がたくさんあったので、「人の意見を聞くこと」「自分の意見を伝えること」「グループの意見をまとめること」などできたのは良かったと思うし、就職してからも役に立っていると感じます。
栄養学科	・栄養教諭の教職課程の授業全て。 ・応用栄養学。 ・パソコンを使った授業。
	・栄養教育論。 ・調理実習。
	どの授業も有意義なものだったと思います。たくさん居眠りしていた大学時代の自分に対し、目の前で教えてもらえることがどんなに素晴らしいことなのか言ってあげたいです。バイトや遊ぶことばかり考えず、可能性を広げることを考えてほしかったです。
	・調理実習。 ・栄養教育論。 ・給食経営管理論。
英語学科	プレゼンテーションで何かまとめて発表する授業。
	自分が受けた授業は全て有意義であったと考えます。充実した大学生活を送れました。
	プレゼンテーション。学生時代に英語を使って何度もプレゼン、発表をやっていたため、社会に出てからプレゼンする緊張感が減り、自分らしい発表ができているから。
観光文化学科	実際に働いている人の話を聞く授業は、今の自分にとって、とても為になっているなと感じます。
	卒業された先輩方から就職先のお話を聞けた授業。またエントリーシート添削の授業。ゼミで、面接対策やディスカッションの練習ができたのも良かったです。
	思い出せない。
	映画で学ぶ欧米文化です。
	授業というより研修ですが、東京研修はJALの施設やホテルを訪問でき、普段では経験の出来ないことを経験できたので、将来の仕事を考える上で、とても意味のある時間になりました。

観光文化学科	・語学の講義全般。 ・観光に関する科目。
	海外研修です。さまざまな価値観があるということ、そして多様性を認めることが実感できました。
	北九州市のお土産を作るという課外活動に参加していて、響灘緑地（グリーンパーク）さんとコラボさせて頂いたときに、学生内だけでなく企業や会社の方と話し合い、プレゼンする場があったことは本当に為になった。
	中国へ研修に行った授業。現在英語・中国語をよく使用する職に就いたため。
保育科	全ての授業が役に立ったと感じた。
	模擬保育の授業では、お互いに意見を出し合ったり、先生からアドバイスをもらったりする中で、実践で役立つことをたくさん学ぶことができました。こどもの保健では、感染症のことなどを学び、今も役立っていると感じます。また、ゼミ活動では、学生同士で話し合いながら活動を計画していく中で、コミュニケーションの大切さや楽しさを学んだり、おはなし会をする中で絵本を読むスキルを磨いたりすることができ、とても印象に残っています。
	ゼミや音楽の授業で表現する力を身に付けました。また、乳児保育や保育者論、看護分野において、今でも教科書やノートを見返すので特に有意義に感じました。
	認定絵本士関連：活かさない日はないし、絵本を読まない日はないから。絵本を読む環境、場面、流れ、全て学びだったと思う。 〇〇先生の授業：実践的なことを学ぶことができたから。

〔8〕更にあればよかった授業の具体案

問　どの様な授業があれば更によかったか具体案があればご記入ください。

どのような授業があれば更によかったか具体案について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【実習、ゼミ、インターンシップ、現場の仕事内容や交流について】　（回答者数：63人/232人[27.2%]）

学科	自由回答
看護学科	保健師として働く中で、個人から集団への視点を学ぶためには、個別の事例をしっかり抑えることが大切だと感じました。ここを実習で実感できる内容があればいいなと思います。
	教育課程の中で、直接教員採用試験に繋がるような演習授業などもあると嬉しかった。
栄養学科	実践的な講義や実習。
	非常時の対応についての実習があれば良かったなと思います。災害時、調理場内での非常時（断水したなど）にどんなことが求められるのかなど、マニュアルを作成するなどを学ぶことで、現場でも活かせるのではないかと思います。
	もっと包丁を使うなど実践に役立つもの。
英語学科	多分あったと思うのですが、もっと様々な分野で実際に働いている人達から話が聞ける授業があれば、幅広い職業選択も可能だったかと思いました。学科に囚われず、職種に偏りのないように聞けると、もっと興味深い授業だったかと思いました。
観光文化学科	必須のインターンシップ。
保育科	・日々の活動内容の引き出しを多く持つための授業。 ・発熱や嘔吐、体調不良の対応の仕方を実践する授業。 ・子ども達の製作の進め方を知る授業。
	エプロンシアターや手袋シアターを作る授業。
	毎日評価される実習とは違う、気軽に子どもと触れ合える環境。

【ビジネス・マナー講座、書類の記入や制度・手続きの仕方について】

学科	自由回答
看護学科	社会人としてのマナー。
	社会人基礎力。
栄養学科	ビジネスマナー。
英語学科	マナーや礼儀。ある程度分かっていたりしても、つい忘れがちになったり、自分の癖が出たりするから。
観光文化学科	もっと就職に特化したり、ビジネスマナーに特化した授業が欲しかった。
	ビジネスマナー。

【パソコンについて】

学科	自由回答
看護学科	教職現場では、ICTの活用が進められているので、コンピュータの関連授業をもっと深めた方がいいかなと思います。大学では、養護教諭に関わる教育内容しか勉強しなかったですが、現場では、他の授業の研修に参加したり、ということもあるので、教科に関わらず、授業の作りや重視する点についてなど、大まかなくくりで教職を勉強しておくことも必要かなと思います。

栄養学科	実践的なパソコンスキルについての授業。
	インターネットの活用。
英語学科	日常で使えるパソコン機能の授業。（WordやExcelなど）
観光文化学科	WordやExcel、PowerPointなどの基本的なパソコン操作を一通り学べる授業。
	パソコン(Word、Excel)の授業。(実際仕事に使えるようなパソコンスキル)

【語学について】

学科	自由回答
観光文化学科	中国語と英語が主な授業だったので、もっと韓国語の授業も受けたかったです。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	保健センターの保健師は、児の発達や育児相談などをすることが多いので、育児に関する授業があるとありがたいと思いました。
	希望する授業は思いつきませんが、基礎看護学での演習は学籍番号順の班ではなく、仲の良い友達で作った班だと学びやすいと振り返ります。体の接触もあるため、相性が合わないと感じている同級生との演習は私も含めて苦痛に感じる学生もいると思います。
	結局、事務仕事が多いことから、事務的なスキルも学んでおきたかった。
	アセスメント力を身につける。
福祉学科	採用試験対策の講座など、大学でできれば良かったと思う。
	教員採用試験対策の授業。
	実践的な授業がコロナ禍を含めて出来なかったイメージがあります。応急処置を実際にたくさんやってみたり、誰かが倒れたときの学校としての動き方のシミュレーションなどがあると良いと思います。後は、現役養護教諭に話を聞く機会がもっとあるといいと思います。
栄養学科	栄養指導についてもっと詳しく体験する機会があればよかったです。
	自分のやりたいことをできる授業。個人的にパンを製造する会社に行きたかったので、パンに関する基礎知識や、技術をもっと知りたかった。
	難しい授業も国試のためには必要な勉強だが、栄養学科だったので、もっと食材の栄養素だったり食材の組み合わせでどういう影響があるのかなどを詳しく勉強したかった。
英語学科	・まさに〇〇先生のような授業。 ・異文化、多様性のコミュニケーション。 ・問題発見能力を養う力。 ・心理学。 ・プレゼン力をつける授業。 ・TOEICやIELTS高得点が狙える学習法。 ・正直、歴史系の授業などはなんの役にも立っていない。
	教育論の授業がもっと充実していたら良かったです。英語の授業だけでなく、電話の受け答えや生徒に相談されたときにどう対応するかなど、実践的なことがもっとできたらと思いました。
	・エアラインの講座。 ・航空会社の方を招いた講義があれば良かったと思う。

観光文化学科	航空業界の方による専門知識の授業。モチベーションも上がるし、より知ることができるから。
	論理的な思考を身につける授業があればさらに良かったです。
	マーケティング入門。
	観光業は、流行などの変化が大きく、常に変化しているので、実践を踏まえた授業などたくさんあるといいなと思いました。
保育科	家族支援について。
	障害児保育。
	保護者対応。 指導要録の書き方。 連絡帳の書き方。
	月案等の記録を書く授業。
	要録の書き方や、小学校との連携をもっと詳しく学べる授業があると役に立つと思った。
	手遊びの講義。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	今回、メンタルを崩してしまい休職したことを通して、もっと自分自身の不調についても学習しておけばよかったなと思いました。また、パワハラを受けていた当時、先輩から言われたことがパワハラに該当することすら知りませんでした。学生のうちから、どんなことがパワハラに該当するかをもっと学習してもよかったなと思いました。
	基本的に、必要なことは職場の研修でしっかり身につけることができました。大学生のレベルとしては授業内容は十分網羅されていたと思います。
福祉学科	自習の時間。
	実際に現場を訪問する授業があれば更に良かった。(コロナ禍で中止になることが多かった)
	実践系。
栄養学科	【実際に活用出来る授業】 栄養指導(もう少し授業数がほしかった):栄養指導がない病院だったため、次の就職先に栄養指導がある所が選べない。 イレギュラー対応方法など:機器の故障で対応することが多かった。どのように対応し、指示を出すか。
	就職に関することをもっと知りたかった。上下の繋がりのある授業などあると、いろいろな相談事とか出来たのかなと思いました。上下の繋がりが欲しかったと思うことが何度かありました。
英語学科	ビジネスマナー深堀り、Excel等。 一般常識。
	採用の仕事をしているということもあり、就職活動に関するものを授業として入れていいのかなと思います。最近の学生は自分が何をしたいのか、どんな職に就きたいのかが分からない人が多いと感じるので、企業の方を呼んで、キャリアを考えるようなものだったり、ESの添削やGD、面接の練習をするなど。就職課の活動として行っているとは思いますが、希望者のみだった気がするので。それを授業の一環として取り入れたら、就職に悩む人も減ってくるのかなと思いました。
	もっとハイレベルな授業があれば良かったなと思いました。途中で周りに合わせてしまったので、あまり英語を活かす仕事に就けていないからです。

観光文化学科	キャリア、旅行系、留学、ゼミ。
	ディベート戦。
	授業内での地域貢献の場。
	お金。
	体験型の授業。
保育科	いろいろな幼稚園を見学にいく授業。
	・手作り玩具を作る。自分で調べたものを作って見せ合うこともあったが、みんなで作ったり作り方を共有したい。 ・支援が必要な子どもの次への繋げ方、保護者対応等。事例を用いて具体的に学びたい。 ・育児担当制保育について。

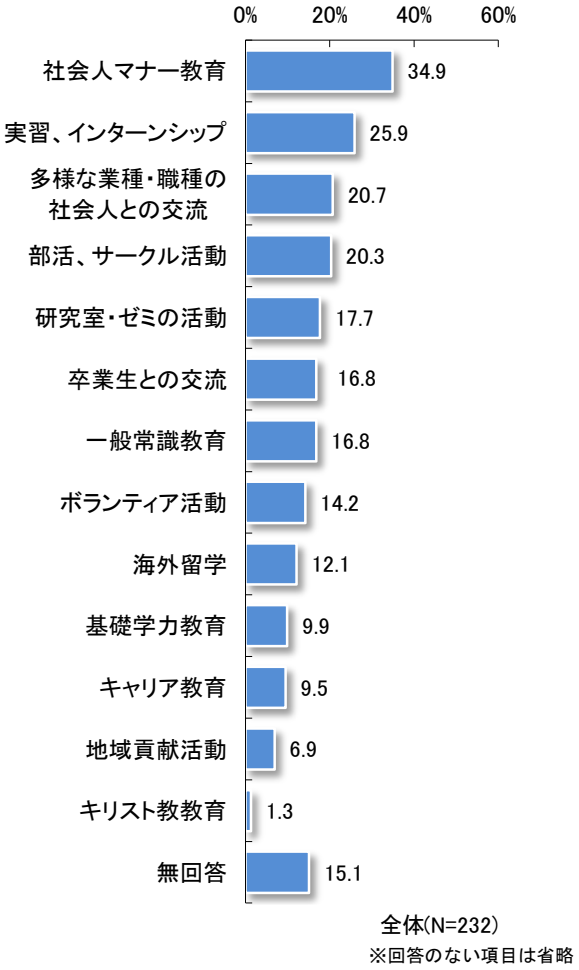
〔9〕大学の講義以外で希望する支援・経験

問　大学に対して講義以外でもっと支援してもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（５つまで選択可）。
また、具体的な内容があればご記入ください。

大学に希望する支援・経験は、「社会人マナー教育」（34.9%）が最も多く、次いで「実習、インターンシップ」（25.9%）、「多様な業種・職種の社会人との交流」（20.7%）となっている。

学科別にみると、看護学科では「ボランティア活動」、福祉学科では「卒業生との交流」、栄養学科では「研究室・ゼミの活動」、英語学科では「一般常識教育」、観光文化学科と助産別科では「実習、インターンシップ」、保育科では「部活、サークル活動」を希望する人がそれぞれ他学科に比べ多くなっている。

【大学の講義以外で希望する支援・経験】



全体(N=232)
※回答のない項目は省略

【学科別　大学の講義以外で希望する支援・経験（1/2)】(%)

	全体（人）	社会人マナー教育	実習、インターンシップ	多様な業種・職種の社会人との交流	部活、サークル活動	研究室・ゼミの活動	卒業生との交流	一般常識教育
全体	232	34.9	25.9	20.7	20.3	17.7	16.8	16.8
看護学科	38	26.3	31.6	21.1	13.2	7.9	15.8	21.1
福祉学科	41	43.9	19.5	22.0	19.5	22.0	26.8	4.9
栄養学科	39	38.5	15.4	23.1	10.3	25.6	15.4	17.9
英語学科	25	44.0	20.0	16.0	20.0	12.0	8.0	48.0
観光文化学科	38	36.8	42.1	28.9	23.7	18.4	18.4	15.8
助産別科	11	－	27.3	18.2	9.1	－	9.1	9.1
保育科	40	32.5	25.0	12.5	37.5	22.5	15.0	7.5

【学科別　大学の講義以外で希望する支援・経験（2/2)】(%)

	全体（人）	ボランティア活動	海外留学	基礎学力教育	キャリア教育	地域貢献活動	キリスト教教育	無回答
全体	232	14.2	12.1	9.9	9.5	6.9	1.3	15.1
看護学科	38	21.1	7.9	13.2	10.5	7.9	2.6	15.8
福祉学科	41	19.5	7.3	4.9	9.8	－	－	17.1
栄養学科	39	7.7	7.7	15.4	12.8	5.1	－	10.3
英語学科	25	16.0	32.0	16.0	20.0	4.0	－	12.0
観光文化学科	38	10.5	18.4	7.9	10.5	18.4	2.6	10.5
助産別科	11	18.2	18.2	－	－	－	－	36.4
保育科	40	10.0	5.0	7.5	－	7.5	2.5	17.5

大学の講義以外で希望する支援・経験の具体的な内容について自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

学科	自由回答
看護学科	上下の関わりがあれば、就職したときに先輩がいると心強いと思う。
	海外留学等はコロナ禍もあって、することに対して否定された。
	コロナ禍ということもあり、繋がりが難しかった部分もあります。
	看護師として実際働いて、職場で看護学生と関わる経験を持った今、自分が学生だった頃の実習先の看護師の中にかなりいい加減な人がいたと感じます。病院での実習を看護師に任せきりにせず、もう少し看護師の人間性も見て指導者として相応しいのか、相応しくない場合は学生としての心持ちをアドバイスする等、支援があるとかなり良いと思います。ひどいいじめにあった記憶が消えません。
福祉学科	コロナの影響で制限されていた時期なので仕方なかったのですが、現役の養護教諭のお話を聞ける機会がもっとあったら良かったなと思います。
栄養学科	栄養に関する就職の事だけでなく、色々な企業（メーカーや商社）への就職についてのインターンシップのシステムや給与など、全然違うなと今になって思ったため、もっと早くに知りたかったと思いました。
	コロナ禍であったこともそうですが、もっと密に調査について話し合いの場が欲しかったです。
英語学科	英語を活かせるインターンシップ。
	教員採用試験のサポート。
	Excelの関数や表計算などの講義。
	日本語教育実習。
観光文化学科	社会人のマナーを1から知り得たかった。
	コロナ禍だったので、インターンシップに行けなかったことだけが後悔。
	なし。
保育科	コロナで普通の学生時代は送れなかったから。
	電話の応対、保護者対応。

〔１０〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問　本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【大学への感謝について】　（回答者数:26人/232人[11.2%]）

学科	自由回答
看護学科	西南女学院大学で学べて良かったなと心から思います。入学する学生が大幅に減らずに繁栄してほしいです。
	西南女学院での思い出は私の大切な宝物です。これからも西南女学院での思い出を胸に生きていきたいです。
	今の自分を作って下さった大学です。感謝しています。
福祉学科	在籍していた時から思っておりましたが、卒業後に振り返っても、やはり学生一人ひとりを大切にしてくれる、素敵な大学だったなと思います。
栄養学科	卒業後も利用でき、力になって下さり、西南女学院大学に来て良かったと思っています。先生方もいつも温かく感謝しております。ありがとうございます。
	たくさんの経験を積ませて頂きました。ありがとうございました。
	コロナ禍で制限が多く不安な時期もありましたが、先生方の手厚いサポートのおかげで4年間充実した学びを得ることができました。ありがとうございました。
	就活では不安なことが多かったですが、最後まで就職課の先生方にサポートして頂き、ありがとうございました。
英語学科	卒業後も元気に過ごしております。ありがとうございました。
	今後ともよろしくお願い致します。
観光文化学科	西南女学院に入学出来て、学べて良かったと思っています。コロナがなければもっと海外研修に行けたのかなと思いました。たくさんの経験ができたことが私の中の財産になっています。
	就職に関しての支援がゼミの先生、就職課の先生共にとても手厚かったのですごく有り難かったです。
	今でも、この大学を卒業できてよかったと思います。ありがとうございました。
保育科	保育科で過ごした2年間は、大変なことも多かったけど、保育士として働く上でたくさん大切なことを学ばせて頂いて本当に感謝しています。保育科は学生募集を停止されるとのことで寂しいですが、これからも学んだことを活かして頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
	アンケートに参加させて頂きありがとうございました。アンケートに答えることで、更に頑張ろうと思えたことが増えました。頑張ります。
	コロナ禍でみんなが試行錯誤の毎日でしたが、その中でもなるべく実践をさせて下さって、今、ほんとに楽しく夢だった仕事が続けられています。大学、ゼミ活動の学びがとても楽しかったです。
	ありがとうございました。
	短期大学部閉鎖は悲しいですが、西南女学院短期大学部保育科に通うことができて良かったです。コロナ禍で登校した日は数少ないですが、学びの多い毎日でした。

【大学への要望】

学科	自由回答
看護学科	コロナ禍の時は実習が少なくて、働いた時のギャップがすごかった。今後、同様なことが起きた時にリモートだけでは物足りないと思うし、社会人になった時に後輩が辛いと思います。少しでも現場を体験してもらうことが大事だと思うので、もっと病院と連携して受け入れてもらえる状態にしておくべきだと思います。
栄養学科	歯科界で管理栄養士業務は非常に注目されています。歯科で働く管理栄養士の魅力について、生徒さんにお話しする機会がありましたら、ぜひお話しさせて頂ければと思っております。今後ともよろしくお願いします。
	フードスペシャリストの資格については、社会人になって使う場面は感じられなかった。そういう情報だったりを教えてほしかったと思いました。お金もかかることだと思うので。
	就活時には特に良くして頂いたと思います。大変お世話になりました。当時は就職先を探すのに必死だったのを覚えています。その際に、〇〇病院を勧めて頂き、就職致しました。中に入ってみないと分からないことが多いと当時就職課の方々から伺っていましたが、本当にその通りだなと感じました。管理栄養士の業務はほとんどできず、朝5時半～夜7時半まで現場に入り、残業は多い時で100時間を超えていました。心身共に限界だったため、家の近くの特養に転職しました。今は利用者様と共にすごく楽しい時間を過ごしながら働いています。残業、現場に入ることはほとんどないです。病院にこだわって就職活動をしている在校生の方々、いると思います。もう一度、自分がやりたいことを確認した方が良いです(とは言っても中に入らなければ分からない事だらけですが)。とても長くなりましたが、学生の皆様のことを凄く応援しています。国家試験がもうすぐだと思うので、頑張ってください。
英語学科	留学費用を安くしてあげてほしい。
保育科	車で通学。

【その他】

学科	自由回答
観光文化学科	アンケート用紙など書類を職場に送らないでください。自宅住所やメールなどで頂ければ回答できます。
	少しアンケートの質問数が多かったので、簡略化して頂けたらと思います。

３．調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2023 年度（令和 5 年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2024 年度（令和 6 年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、卒業生アンケートの総括とする。

▶現在の仕事について

＜就業状況、業種＞

2022 年 3 月卒業生の 2024 年 12 月時点の在職状況は、97.8%が就業中、未就業は 2.2%となっており、卒業後 2 年 9 カ月経過時点で大半の卒業生が就業中となっている。

卒業生が勤務先で携わっている主な職種を学科別にみると、看護学科は「看護師」(70.3%)、福祉学科は「医療ソーシャルワーカー」（22.0%）や「養護教諭」（19.5%）、栄養学科は「管理栄養士」(60.5%)、英語学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（50.0%）、観光文化学科は「営業」(38.9%)、助産別科は「助産師」(63.6%)、保育科は「保育士」(70.0%）の割合が他学科に比べ高く、それぞれ学科の特性を活かした職種に就いている様子がうかがえる。

また、在学生に対して尋ねた学生調査と比較すると、将来進みたいキャリアとして、看護学科は「医療・看護系」、福祉学科は「学校・教育系」や「福祉・介護系」、栄養学科は「食・栄養系」、英語学科は「旅行・ホテル・ブライダル系」「語学・国際系」、観光文化学科は「旅行・ホテル・ブライダル系」「ビジネス・経営系」、保育科は「保育・子ども系」が高くなっており、学生時代の希望と実際の進路が一致していることから、概ね卒業生が希望の進路に進んでいることが分かる。

一方、転職の状況について、現在の勤務先が卒業時と変わっていない人が 81.1%、転職した人が 17.6%となっており、学科別では福祉学科や栄養学科で転職率が 2 割を上回っている。

また、「転職した」に着目して前回調査と比較すると、全体で 23.5%から 17.6%と 5.9 ポイント減少している。

【現在の勤務先を「転職した」の割合】

	全体	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	助産	保育
今回調査（N=227）	**17.6**	**10.8**	**22.0**	**26.3**	**16.7**	**16.7**	**9.1**	**15.0**
前回調査（N=166）	23.5	21.7	23.1	20.0	50.0	29.2	0.0	14.8

＜雇用形態、勤務先の満足度＞

卒業時の雇用形態をみると、正規職員の割合が全体で 73.1%である。福祉学科では 63.4%と他学科に比べ正職率が低くなっていたが、卒業時から現在までに正規職員の割合は 9.8 ポイント増加している。

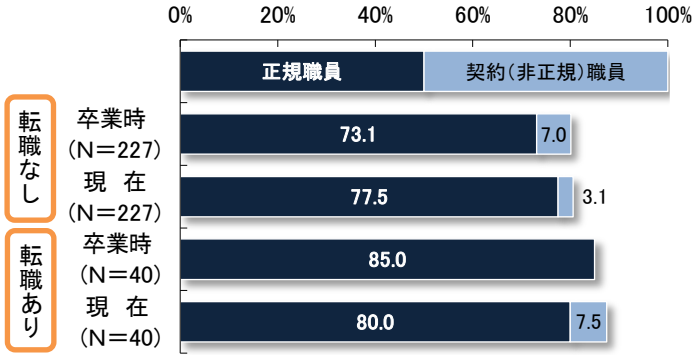
現在の勤務先の満足度をみると、全体で満足している人が 52.4%と最も多く、次いでどちらでもない人は 22.5%となっており、満足していない人（7.5%）を上回っている。学科別にみると、看護学科、福祉学科、英語学科、観光文化学科、助産別科、保育科の満足度は 4～7 割程を占めるのに対し、栄養学科では 36.8%と満足度にばらつきがあり、学科によって満足度に差がみられる。

＜転職＞

転職しなかった人は、卒業時から現在までに正規職員への登用がやや増加している（卒業時73.1%⇒現在77.5%）

一方、転職した人は、卒業時よりも「正規職員」の割合が減少している。転職した人よりも、転職せずに継続して働いている人の方が正規職員の登用率が高く、この結果は前回調査でも同様の傾向を示している。

【転職時の雇用形態】



転職した理由について、少数ではあるが傾向をみてみると、前回調査の上位３つのうちすべてが今回調査でも上位に挙げられている。しかし前回調査では「将来性」が入っているのに対し、今回調査では上位３位に入っていない。

転職理由は職種や職場環境によって大きく異なると想定されるが、「仕事内容」や「人間関係」、「社風・職場の雰囲気」などの職場環境を重視する人が多い様子がうかがえる。

【転職した理由】

	今回調査（N=40）	前回調査（N=39）
1位	仕事内容（57.5%）	仕事内容（43.6%）
2位	人間関係（40.0%）	人間関係（35.9%）
3位	社風･職場の雰囲気（35.0%）	社風･職場の雰囲気 将来性 （ともに28.2%）

▶就職全般について

前回調査結果と同様に、大半の卒業生が正規職員で採用され、一定数の転職した卒業生はいるものの、就業状況や雇用形態、勤務先の満足度から、現在の職場には概ね満足している卒業生が５割以上おり、卒業時から転職せずに現在の職場で経験を積んでいる様子がうかがえる。

在学生に対する学生調査の結果と関連付けてみると、看護学科、福祉学科、栄養学科、保育科については、在学中に希望した進路に実際に進んでいる卒業生が多いことを踏まえると、大学から就職までは比較的スムーズに移行できていると考えられる。

しかしながら、希望する進路が「決まっていない」の回答が英語学科や観光文化学科においては３割程と他学科より多く、在学中はいいものの、在学中に得た学習成果を就職先で活かすことができない、または当初希望していた職種に就けなかった、想像していた仕事内容でなかったなどのケースにおいては、転職希望も高い傾向がうかがえる。

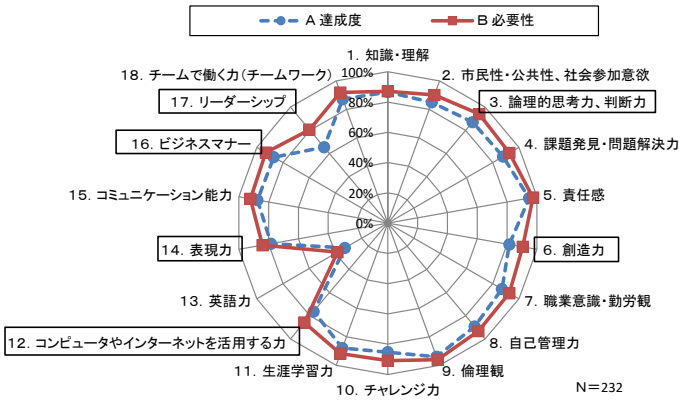
そうした意味で、入学時から卒業時までに、将来の進路をある程度明確に意識させること、また、仕事内容など卒業してから大きなギャップを感じないよう、職場環境や仕事内容を具体的にイメージできるよう在学中からの進路支援がより必要であると考えられる。

なお、転職したと回答した卒業生は前回調査（23.5%）から今回調査（17.6%）では減少している。

▶大学・短期大学部で受けた教育について【大学・短期大学部での達成度と仕事上における必要性】

＜達成度と必要性＞

大学・短期大学部で得た力やスキルを【達成度】(「身につけている」+「ほぼ身につけている」)、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】(「役に立つ」+「やや役に立つ」)として分析した。なお、達成度と必要性の差が大きい上位 6 項目には枠を付けている。



達成度は、「5. 責任感」、「9. 倫理観」、「8. 自己管理力」、「4. 課題発見・問題解決力」、「11. 生涯学習力」の順に高く、これらの項目については必要性と達成度の差が小さいものも多く、大学・短期大学部で身につけた力が仕事上において役立っていると考えられる。

一方、必要性が高いのに対し、達成度が低い項目は「17. リーダーシップ」で 15.1 ポイント必要性の方が高く、最も差が大きい。また、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、「6. 創造力」、「3. 論理的思考力、判断力」、「16. ビジネスマナー」、「14. 表現力」も差が見受けられ、社会に出てから必要となる「16. ビジネスマナー」を除くと、主体性が求められる分野や ICT に関する分野の達成度が低いと感じている卒業生が多い。

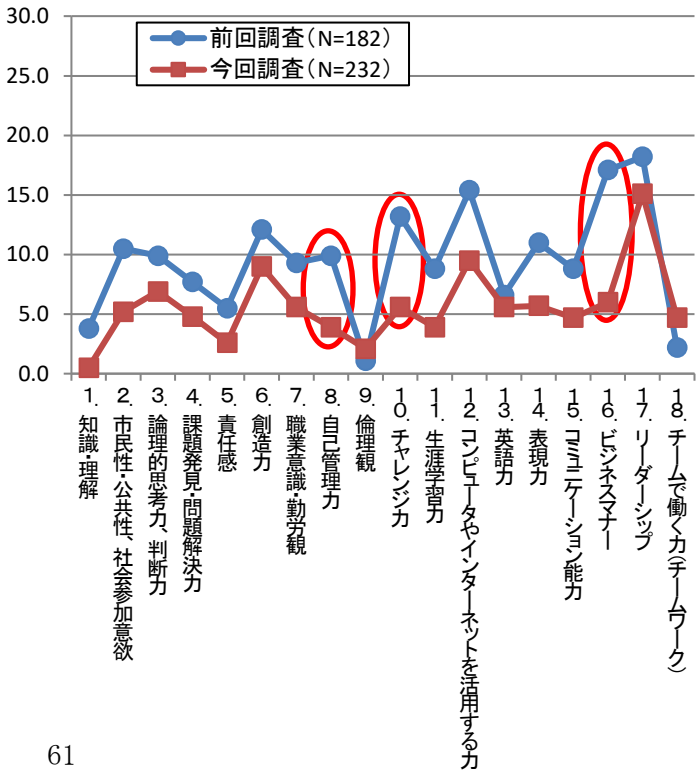
学科別に達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）をみると、看護学科、福祉学科では「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、栄養学科、保育科では「17. リーダーシップ」、英語学科では「15. コミュニケーション能力」「17. リーダーシップ」、観光文化学科では「12. コンピュータやインターネットを活用する力」「16. ビジネスマナー」、助産別科では「1. 知識・理解」でギャップが大きい。

＜達成度と必要性のギャップ（前回調査との比較）＞

達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）について前回調査と比較を行った。

項目によってバラツキがあるが、特にギャップが広くなっているのは、「16. ビジネスマナー」(11.1 ポイント差)、「10. チャレンジ力」(7.6 ポイント差)、「8. 自己管理力」(6.0 ポイント差）である。

【達成度と必要性のギャップ前回調査との比較】



＜能力やスキルを身につけるために役立ったこと＞

能力やスキルを身につけるにあたり、多くの卒業生が大学での講義が役立ったと回答している。特に「12. コンピュータやインターネットを活用する力」「14. 表現力」については大学での講義を挙げる人が多く 70%を超えている。

一方、「15. コミュニケーション能力」、「18. チームで働く力（チームワーク）」については研究室、ゼミ活動、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」では実習、インターンシップで役立ったと感じている。このように、大学の講義だけでなく、研究室、ゼミ活動や実習、インターンシップなどを通じて必要な能力やスキルを習得している様子がうかがえる。

また、社会で必要とされる能力やスキルに対し、卒業生が特に達成度が低いと感じている「英語力」、「リーダーシップ」については、大学での講義や研究室、ゼミ活動での習得率が高いため、今後はこうした社会で必要とされる能力やスキルの習得を意識した在学中からの指導が必要だと言える。

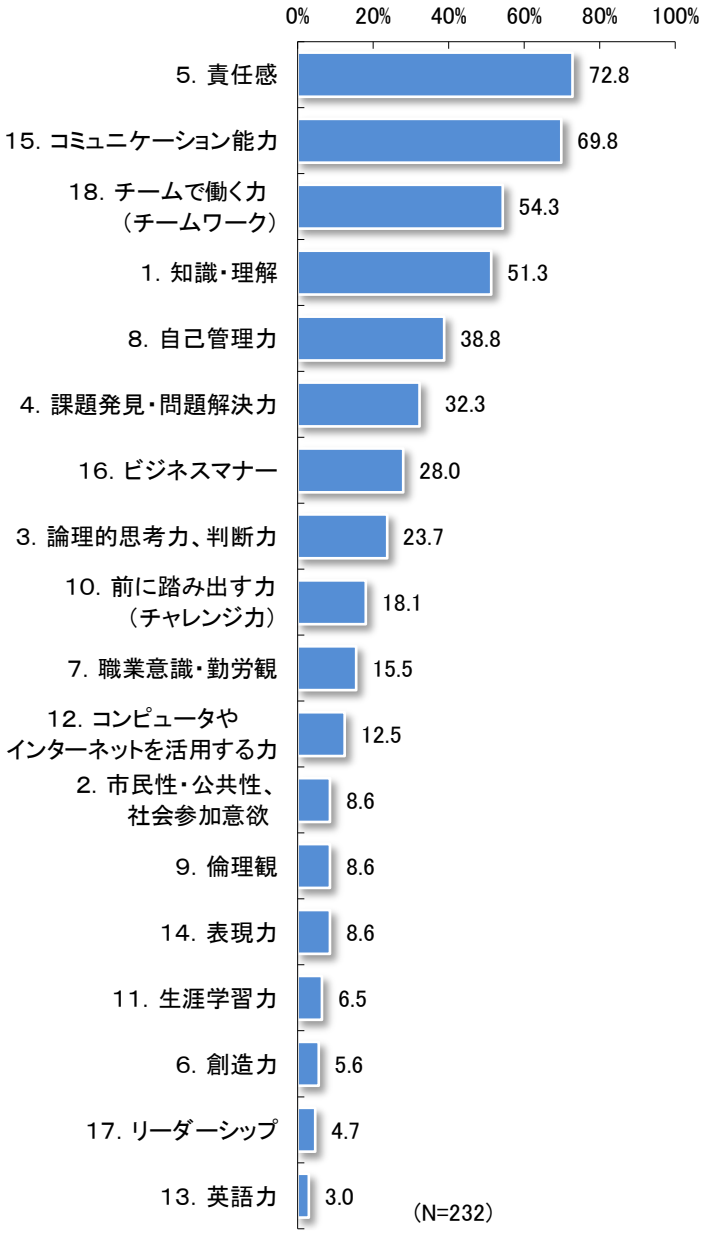
＜仕事をする上で重要だと思う事＞

仕事をする上で重要だと思う事については、「5. 責任感」や「15. コミュニケーション能力」、「18. チームで働く力(チームワーク)」が上位に挙げられた。

「5. 責任感」に関しては、大学・短期大学部で身につけた力やスキルにおける達成度でも最も高くなっており、大学・短期大学部で学んだことや経験したことが仕事をする上でも役立っていると考えられる。

また、前回調査においても概ね同様の結果となっており、「5. 責任感」と「15. コミュニケーション能力」は業種や職種に関わらず仕事をする上で特に重要視されていることが分かる。

【仕事をする上で重要だと思う事】



※回答のなかった項目は省略

第2章　就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

１．調査の概要

調査対象者	2024 年 3 月卒業生　就職受け入れ事業所
調査方法	郵送配布、Web回収
回収数	141 事業所
調査時期	2024 年 12 月 13 日～2025 年 3 月 3 日
回収率	下表の通り

	依頼事業所数	回答事業所数	回　収　率
看　護　学　科	59	14	23.7%　(34.2%)
福　祉　学　科	62	26	41.9%　(57.4%)
栄　養　学　科	60	25	41.7%　(61.4%)
英　語　学　科	36	14	38.9%　(46.7%)
観 光 文 化 学 科	63	34	54.0%　(47.4%)
助　産　別　科	13	4	30.8%　(28.6%)
全　　体	293	117	39.9%　(49.2%)

()内の前年度回収率

	依頼事業所数	回答事業所数	回　収　率
保　育　科	36	24	66.7%　(73.7%)
全　　体	36	24	66.7%　(73.7%)

()内の前年度回収率

【調査結果の見方】

○回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第 2 位を四捨五入している。このため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。また、2 つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

○学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。

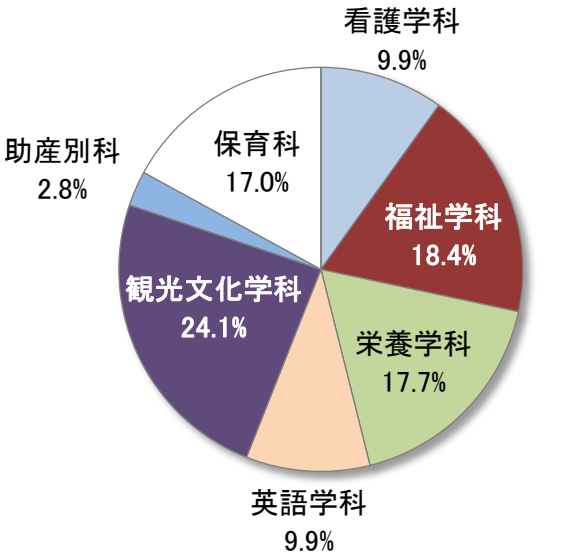
○報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。

○本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第３章　調査項目」を参照のこと。

２．調査結果

〔1〕回答者について

【卒業した学科】



全体（N=141）

〔2〕仕事に必要な能力

① 必要性と達成度（全体）

問　下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

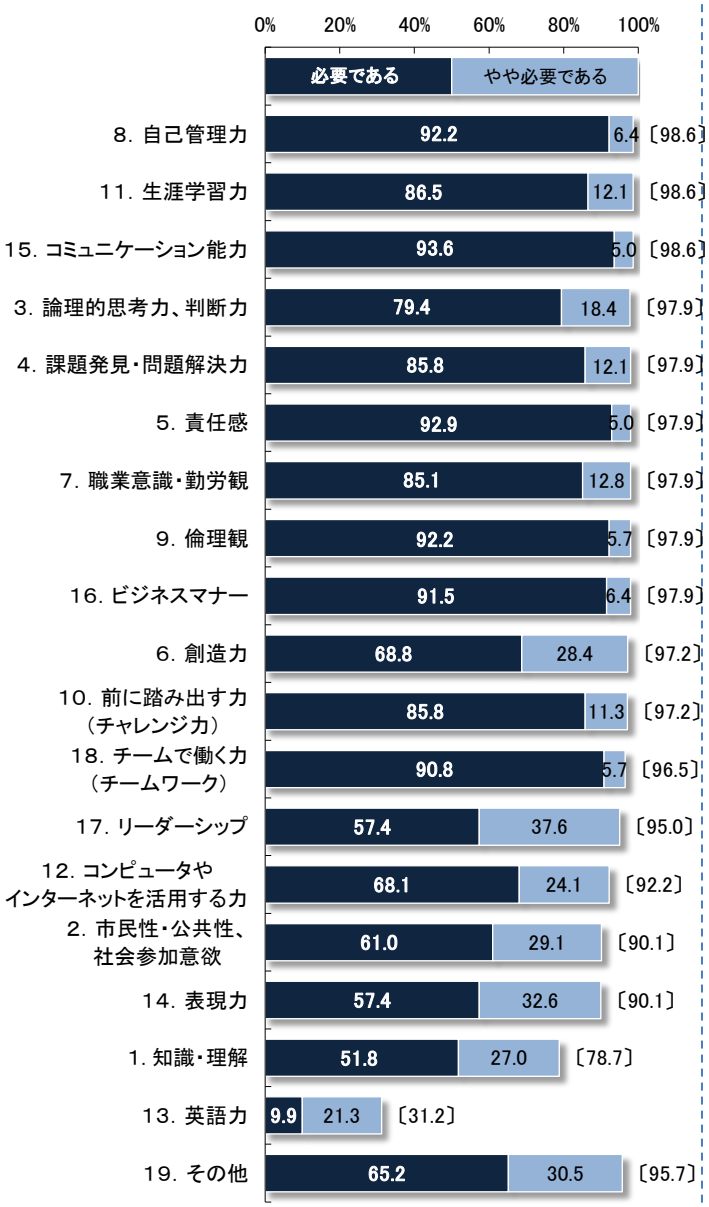
就職受け入れ先からみた、現在の仕事においてのスキルや能力について、全体的にほとんどの項目は『必要である』（必要である＋やや必要である）とされており、なかでも「8.自己管理力」、「11.生涯学習力」、「15.コミュニケーション能力」（いずれも98.6%）、「3.論理的思考力、判断力」、「4.課題発見・問題解決力」、「5.責任感」、「7.職業意識・勤労観」、「9.倫理観」、「16.ビジネスマナー」（いずれも97.9%）が上位に挙げられている。また、「必要である」の割合に着目した場合、「15.コミュニケーション能力」（93.6%）や「5.責任感」（92.9%）が特に必要視されている様子がうかがえる。

一方、卒業生が力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価されている項目をみると、「9.倫理観」（94.3%）が最も多く、次いで「5.責任感」（90.8%）、「16.ビジネスマナー」（90.1%）である。しかし、求められる能力に対し、卒業生の達成度は総じて低い傾向にある。

【仕事に必要な能力】

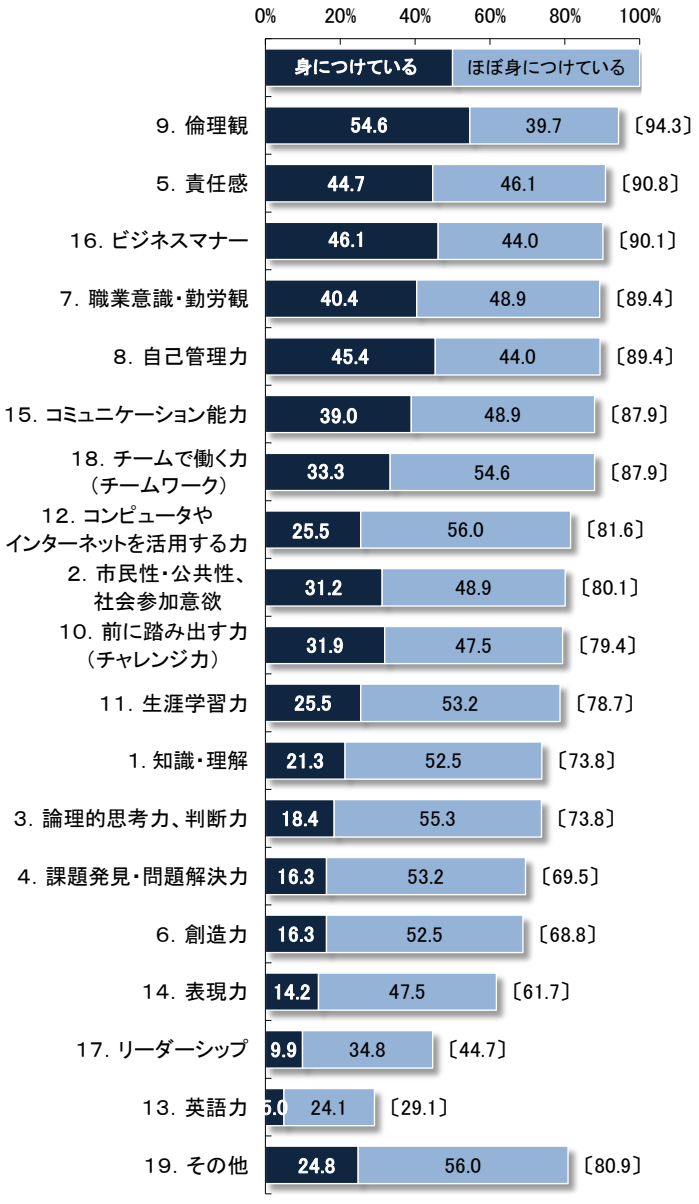
必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
（各項目ともＮ＝141）



達成度

西南女学院大学卒業生の力やスキル
（各項目ともＮ＝141）



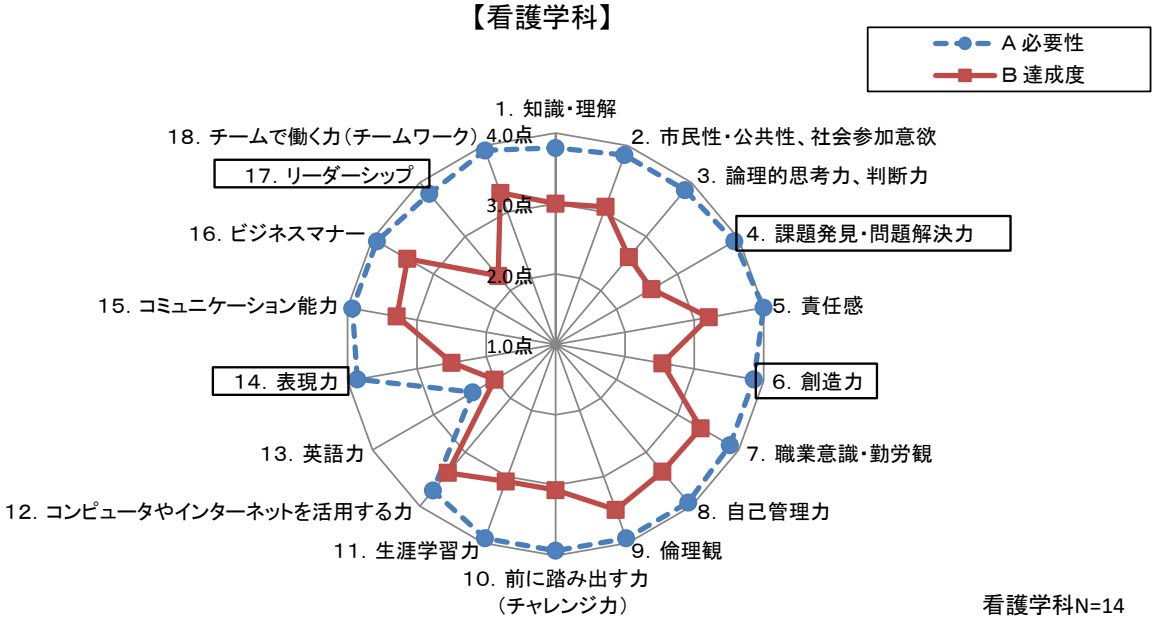
注 1）必要性の選択肢は「必要である」、「やや必要である」、「あまり必要でない」、「必要でない」の 4 段階。
注 2）必要性の〔　　〕は「必要である」+「やや必要である」の合計（%）。ただし、回答比率（%）は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計（%）と内訳の計（%）は一致しない場合がある。
注 3）達成感の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」、「わからない」の 5 段階。
注 4）達成感の〔　　〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計（%）。ただし、回答比率（%）は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計（%）と内訳の計（%）は一致しない場合がある。

② 必要性と達成度（学科別）

必要性と達成度について、「必要である」、「身につけている」＝４点、「やや必要である」、「ほぼ身につけている」＝３点、「あまり必要でない」、「あまり身につけていない」＝２点、「必要でない」、「身につけていない」＝１点として配点し、必要性と達成度の各項目の平均点を算出した。必要性と達成度を比較し、仕事に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位３項目には枠を付けている。

看護学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 1.52 ポイント高くなっており、次いで、「4. 課題発見・問題解決力」「14. 表現力」が 1.36 ポイント、「6. 創造力」が 1.32 ポイント高くなっている。

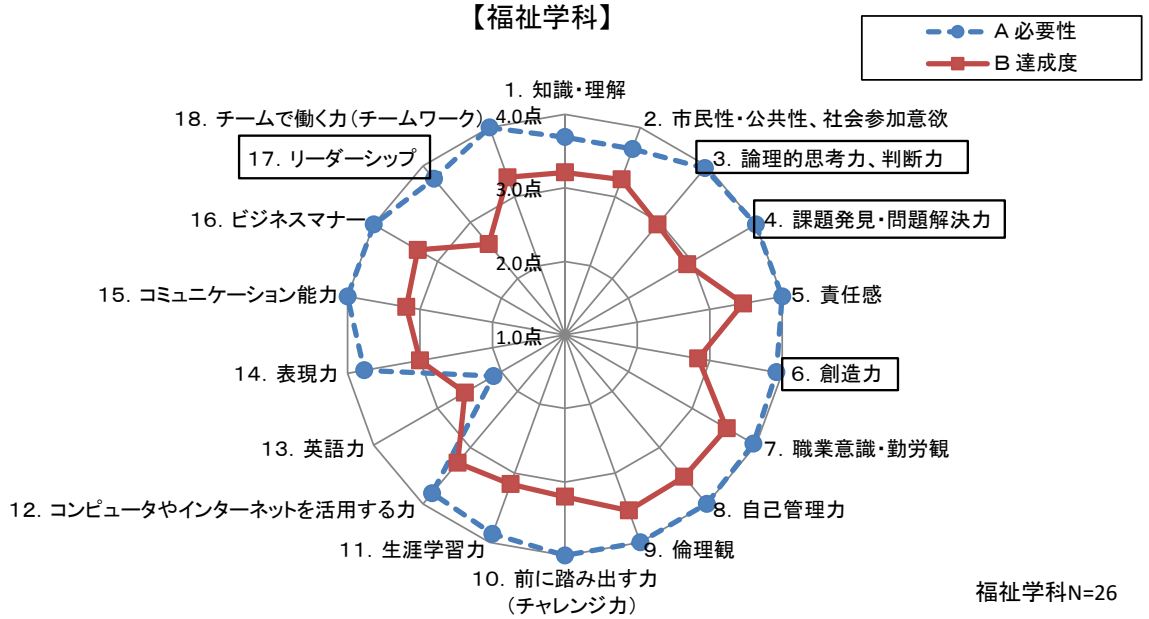
【看護学科】



看護学科N=14

福祉学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 1.16 ポイント高くなっており、次いで、「4. 課題発見・問題解決力」「6. 創造力」が 1.08 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 1.00 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.45 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

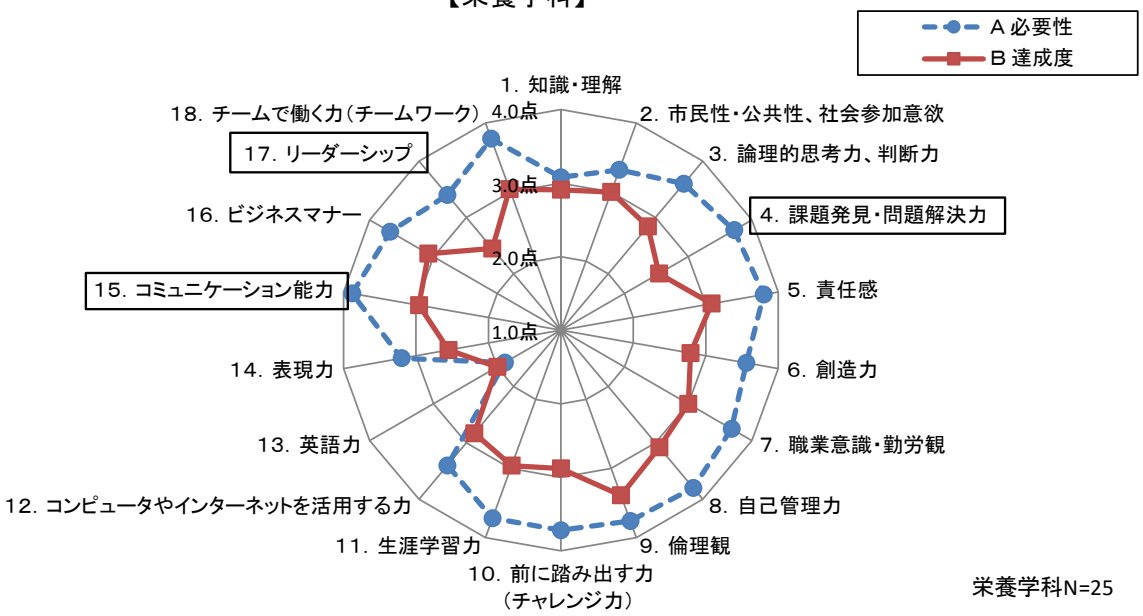
【福祉学科】



福祉学科N=26

栄養学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 1.18 ポイント高くなっている。次いで、「17. リーダーシップ」が 0.95 ポイント、「15. コミュニケーション能力」が 0.92 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.12 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

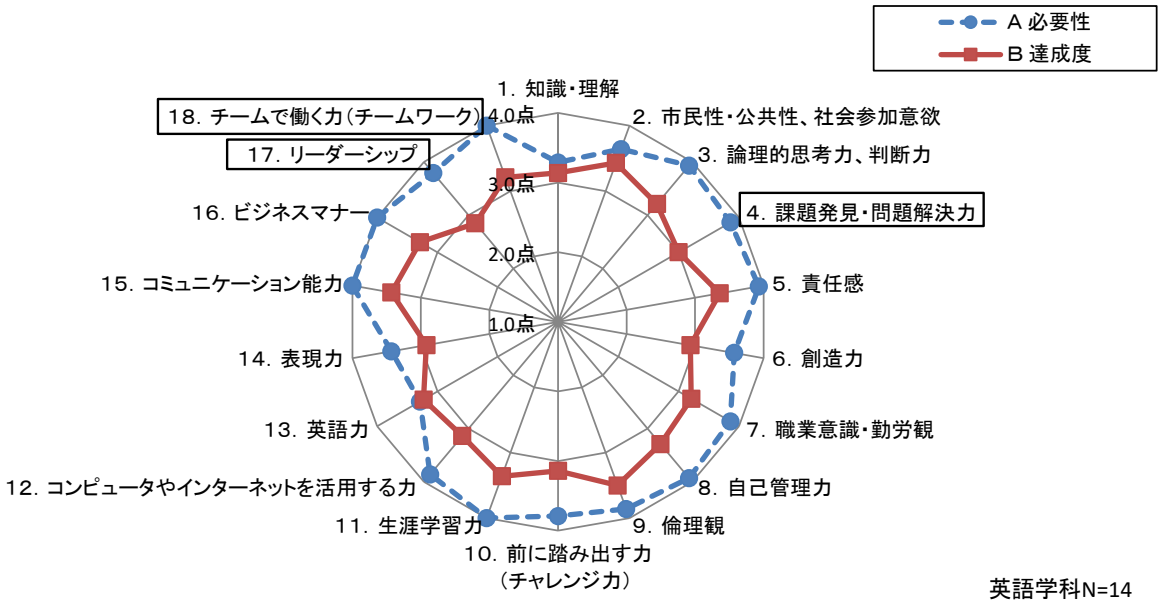
【栄養学科】



栄養学科N=25

英語学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 0.94 ポイント高くなっており、次いで、「4. 課題発見・問題解決力」が 0.86 ポイント、「18. チームで働く力（チームワーク）」が 0.79 ポイント高くなっている。

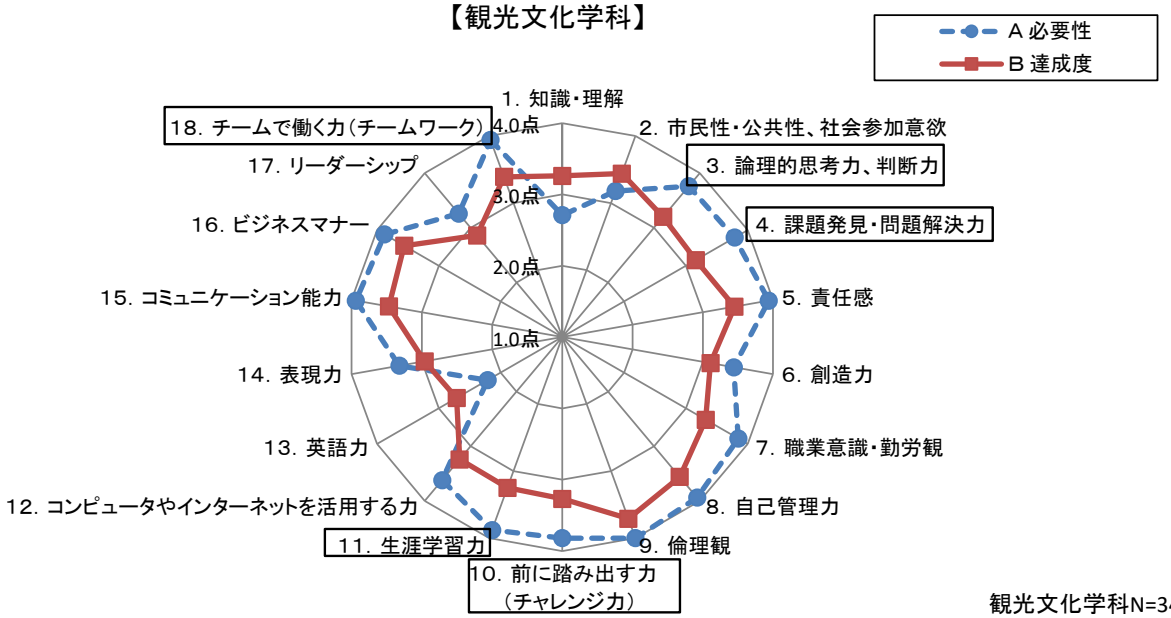
【英語学科】



英語学科N=14

観光文化学科では、「4. 課題発見・問題解決力」「11. 生涯学習力」の必要性が達成度よりも 0. 63 ポイント高くなっており、次いで、「3. 論理的思考力、判断力」が 0. 56 ポイント、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力)」「18. チームで働く力(チームワーク)」が 0. 55 ポイント高くなっている。一方、「1. 知識・理解」の達成度は必要性よりも 0. 55 ポイント、「13. 英語力」が 0. 50 ポイント、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」が 0. 26 ポイント高くなっていることから「1. 知識・理解」と「13. 英語力」と「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

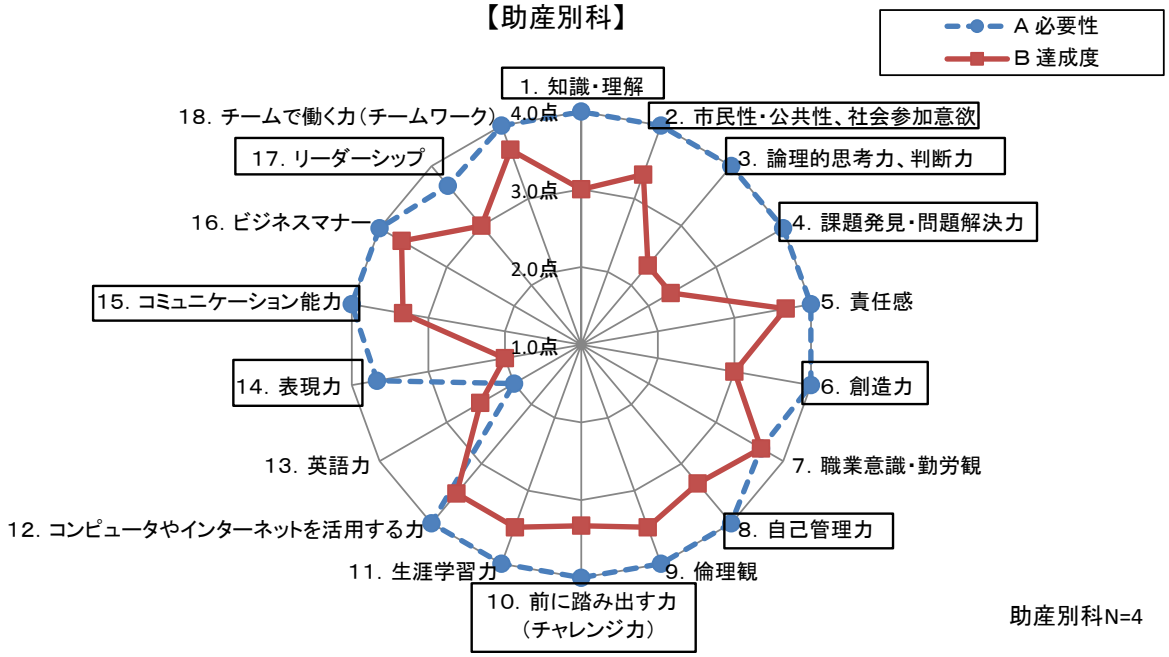
【観光文化学科】



観光文化学科N=34

助産別科では、「3. 論理的思考力、判断力」「4. 課題発見・問題解決力」「14. 表現力」の必要性が達成度よりも 1. 67 ポイント高くなっており、次いで、「1. 知識・理解」「6. 創造力」が 1. 00 ポイント、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」「8. 自己管理力」「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」「15. コミュニケーション能力」「17. リーダーシップ」が 0. 67 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0. 50 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

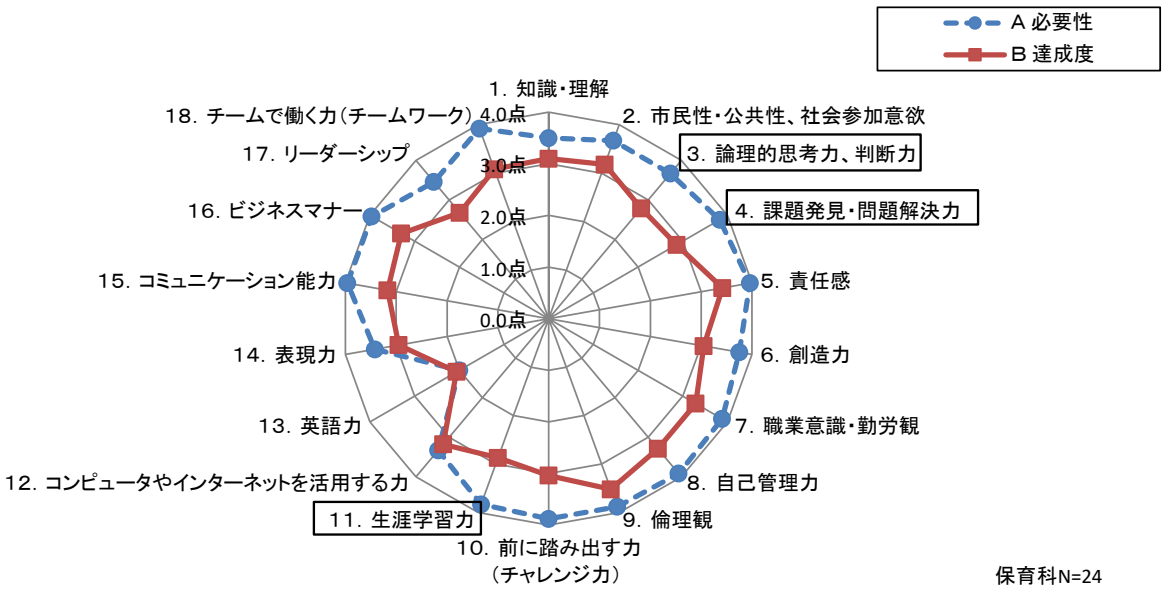
【助産別科】



助産別科N=4

保育科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 0. 97 ポイント高くなっており、次いで、「11. 生涯学習力」が 0. 96 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 0. 88 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0. 06 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

【保育科】



保育科N=24

③ 採用の際に重要視する能力

問　採用の際、重要視する能力上位５つに○をつけてください。

採用の際、重要視する能力は、「15. コミュニケーション能力」（86. 5%）が最も多く、次いで、「5. 責任感」（73. 0%）、「18. チームで働く力（チームワーク）」（69. 5%）が 6 割以上で高くなっている。

また、学科別にみると、最も重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」、「5. 責任感」、「18. チームで働く力（チームワーク）」の有無が重要とされていることがわかる。それ以外の項目では、看護学科、栄養学科では「8. 自己管理力」、福祉学科では「4. 課題発見・問題解決力」、英語学科では「13. 英語力」、観光文化学科では「16. ビジネスマナー」、助産別科、保育科では「7. 職業意識・勤労観」が他学科と比べて高くなっている。

【採用の際に重要視する能力】

全体(N＝141)

【学科別　採用の際に重要視する能力（1/2)】(%)

	全体（人）	15.コミュニケーション能力	5.責任感	18.チームで働く力（チームワーク）	8.自己管理力	4.課題発見・問題解決力	10.前に踏み出す力（チャレンジ力）	3.論理的思考力、判断力	7.職業意識・勤労観	1.知識・理解	16.ビジネスマナー
全体	141	86.5	73.0	69.5	45.4	35.5	33.3	28.4	26.2	17.0	16.3
看護学科	14	71.4	57.1	64.3	64.3	35.7	35.7	21.4	35.7	28.6	－
福祉学科	26	84.6	84.6	73.1	53.8	50.0	15.4	42.3	26.9	11.5	19.2
栄養学科	25	80.0	84.0	68.0	60.0	20.0	44.0	12.0	24.0	16.0	8.0
英語学科	14	85.7	57.1	64.3	28.6	28.6	21.4	42.9	7.1	21.4	14.3
観光文化学科	34	94.1	76.5	67.6	44.1	44.1	44.1	32.4	11.8	11.8	38.2
助産別科	4	75.0	50.0	75.0	25.0	－	25.0	－	50.0	－	－
保育科	24	95.8	66.7	75.0	25.0	33.3	33.3	25.0	50.0	25.0	4.2

【学科別　採用の際に重要視する能力（2/2)】(%)

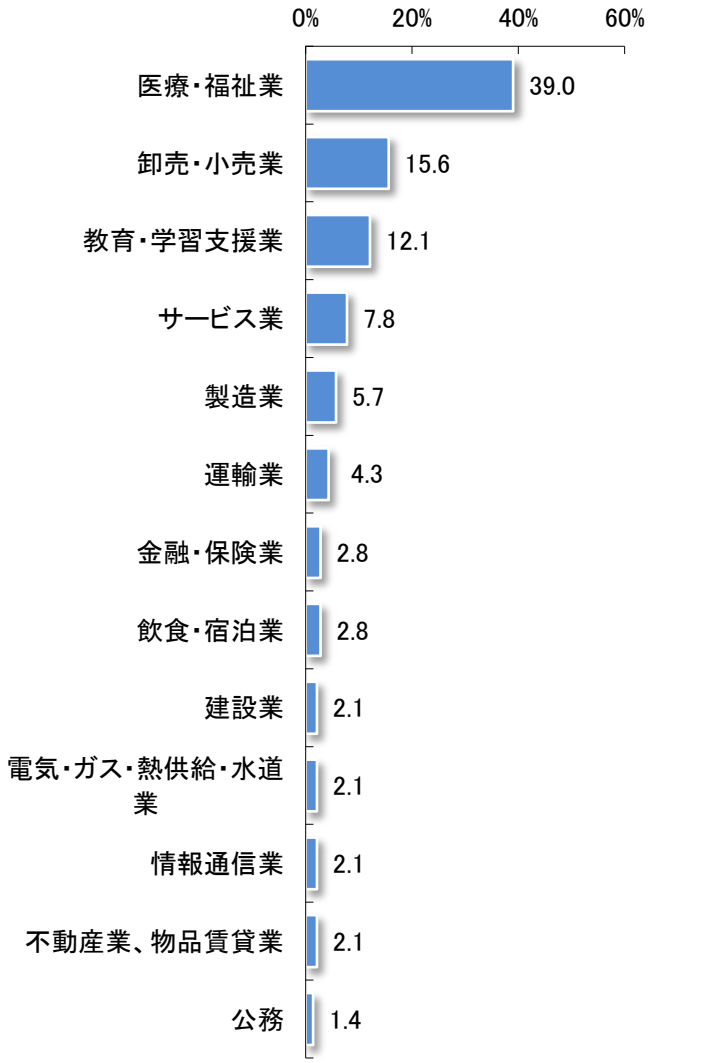
	全体（人）	6.創造力	9.倫理観	12.コンピュータやインターネットを活用する力	17.リーダーシップ	11.生涯学習力	14.表現力	13.英語力	2.市民性・公共性、社会参加意欲	19.その他	無回答
全体	141	12.1	12.1	6.4	6.4	5.0	4.3	2.8	0.7	1.4	1.4
看護学科	14	－	28.6	－	－	7.1	－	－	－	－	7.1
福祉学科	26	7.7	11.5	7.7	－	－	3.8	－	3.8	－	－
栄養学科	25	20.0	4.0	12.0	20.0	8.0	4.0	－	－	－	－
英語学科	14	28.6	7.1	14.3	14.3	7.1	－	21.4	－	7.1	－
観光文化学科	34	－	14.7	5.9	－	2.9	2.9	2.9	－	2.9	－
助産別科	4	－	50.0	－	－	25.0	－	－	－	－	25.0
保育科	24	25.0	4.2	－	8.3	4.2	12.5	－	－	－	－

〔3〕事業所の概要

問　主たる業種に○をつけてください。

事業所の主たる業種は「医療・福祉業」(39.0%)が最も多く、次いで「卸売・小売業」(15.6%)、「教育・学習支援業」(12.1%) となっている。

【主たる業種】



全体(N＝141)

※回答のなかった項目は省略

【学科別　主たる業種（1/2)】(%)

	全体（人）	医療・福祉業	卸売・小売業	教育・学習支援業	サービス業	製造業	運輸業	金融・保険業
全　体	141	39.0	15.6	12.1	7.8	5.7	4.3	2.8
看護学科	14	85.7	－	7.1	－	－	－	－
福祉学科	26	61.5	7.7	23.1	－	3.8	－	－
栄養学科	25	40.0	20.0	4.0	12.0	12.0	－	－
英語学科	14	－	28.6	－	21.4	7.1	－	7.1
観光文化学科	34	5.9	32.4	－	11.8	8.8	8.8	8.8
助産別科	4	100.0	－	－	－	－	－	－
保育科	24	45.8	－	37.5	4.2	－	12.5	－

【学科別　主たる業種（2/2)】(%)

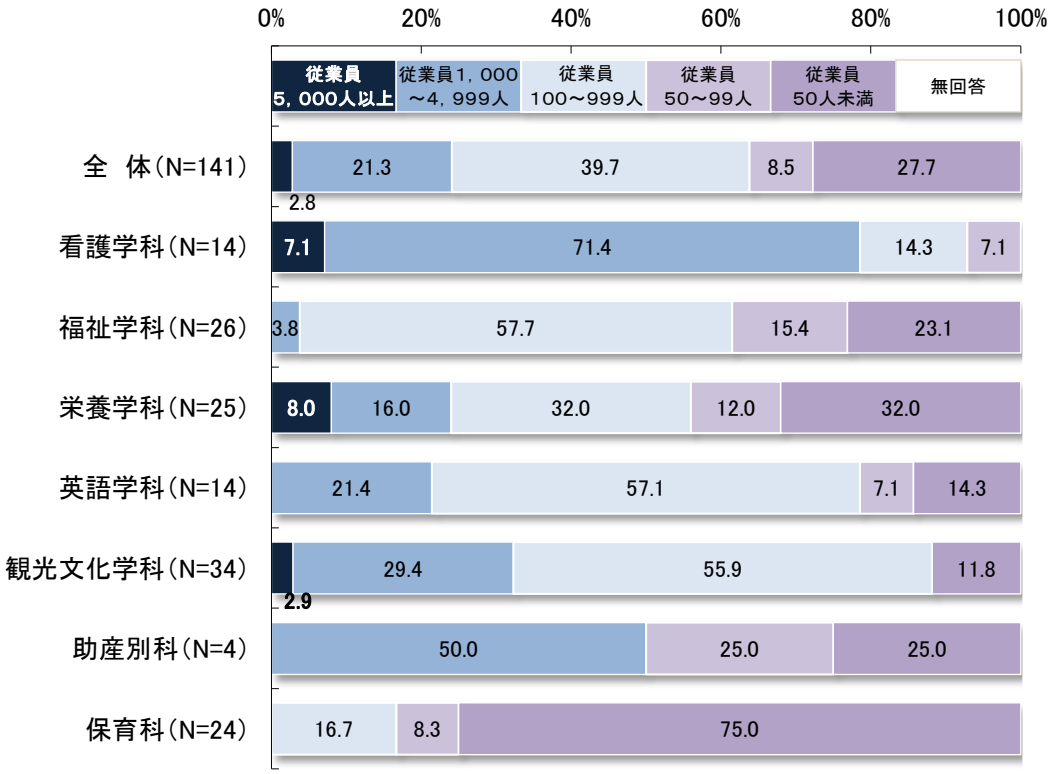
	全体（人）	飲食・宿泊業	建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	不動産業、物品賃貸業	公務
全　体	141	2.8	2.1	2.1	2.1	2.1	1.4
看護学科	14	－	－	－	－	－	7.1
福祉学科	26	－	－	－	－	－	3.8
栄養学科	25	8.0	4.0	－	－	－	－
英語学科	14	7.1	7.1	－	14.3	7.1	－
観光文化学科	34	2.9	2.9	8.8	2.9	5.9	－
助産別科	4	－	－	－	－	－	－
保育科	24	－	－	－	－	－	－

問　従業員数に○をつけてください。

従業員数は、「従業員 100～999 人」（39.7%）が最も多く、次いで、「従業員 50 人未満」（27.7%）、「従業員 1,000～4,999 人以上」（21.3%）、「従業員 50～99 人」（8.5%）となっている。

学科別の従業員数をみると、看護学科、助産別科では「従業員 1,000～4,999 人」（看護学科：71.4%、助産別科：50.0%）が他と比べて高く、「従業員 50 人未満」では、保育科（75.0%）が高くなっている。

【従業員数】



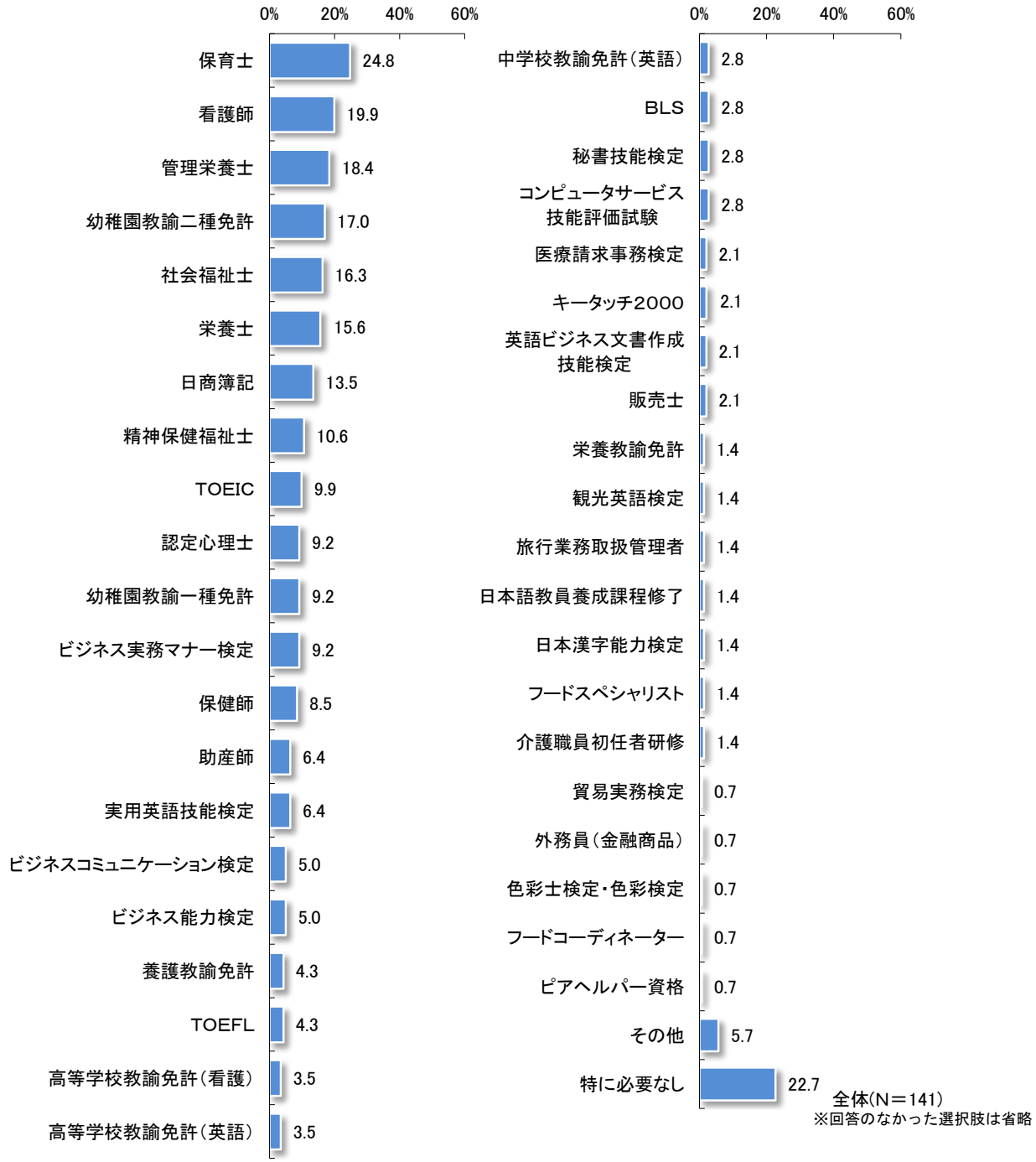
〔4〕学生に希望する資格や検定

問　貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

学生に希望する資格や検定は、「保育士」(24.8%) が最も多く、次いで、「看護師」(19.9%)、「管理栄養士」(18.4%)、「幼稚園教諭二種免許」(17.0%) となっている。一方で、「特に必要なし」は 22.7%である。

また、学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」、英語学科で「ＴＯＥＩＣ」、助産別科で「助産師」、保育科で「保育士」等、卒業学科に応じた専門性が求められている。

【学生に希望する資格や検定】



【学科別　学生に希望する資格や検定（1/3)】(%)

	全体（人）	保育士	特に必要なし	看護師	管理栄養士	幼稚園教諭二種免許	社会福祉士	栄養士	日商簿記	精神保健福祉士	ＴＯＥＩＣ	認定心理士	幼稚園教諭一種免許	ビジネス実務マナー検定	保健師	助産師
全　体	141	24.8	22.7	19.9	18.4	17.0	16.3	15.6	13.5	10.6	9.9	9.2	9.2	9.2	8.5	6.4
看護学科	14	21.4	－	92.9	35.7	7.1	21.4	7.1	－	7.1	7.1	28.6	7.1	－	28.6	35.7
福祉学科	26	30.8	－	26.9	19.2	19.2	61.5	23.1	11.5	50.0	3.8	26.9	15.4	7.7	15.4	－
栄養学科	25	16.0	20.0	12.0	44.0	8.0	8.0	40.0	16.0	－	12.0	4.0	4.0	12.0	8.0	4.0
英語学科	14	－	50.0	－	7.1	－	－	7.1	28.6	－	42.9	－	－	14.3	－	－
観光文化学科	34	－	47.1	2.9	2.9	－	－	－	23.5	－	8.8	－	－	17.6	2.9	－
助産別科	4	25.0	25.0	75.0	25.0	－	－	25.0	－	－	－	－	－	－	25.0	75.0
保育科	24	79.2	12.5	4.2	8.3	66.7	8.3	12.5	－	4.2	－	4.2	29.2	－	－	－

【学科別　学生に希望する資格や検定（2/3)】(%)

	全体（人）	実用英語技能検定	ビジネスコミュニケーション検定	ビジネス能力検定	養護教諭免許	ＴＯＥＦＬ	高等学校教諭免許（看護）	高等学校教諭免許（英語）	中学校教諭免許（英語）	ＢＬＳ	秘書技能検定	コンピュータサービス技能評価試験	医療請求事務検定	キータッチ２０００	英語ビジネス文書作成技能検定	販売士
全　体	141	6.4	5.0	5.0	4.3	4.3	3.5	3.5	2.8	2.8	2.8	2.8	2.1	2.1	2.1	2.1
看護学科	14	7.1	－	－	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	28.6	－	－	－	－	－	－
福祉学科	26	－	7.7	3.8	19.2	－	15.4	15.4	11.5	－	3.8	7.7	－	3.8	－	－
栄養学科	25	8.0	12.0	8.0	－	4.0	－	－	－	－	4.0	－	－	4.0	8.0	4.0
英語学科	14	28.6	7.1	7.1	－	21.4	－	－	－	－	7.1	－	－	－	－	－
観光文化学科	34	5.9	2.9	8.8	－	2.9	－	－	－	－	2.9	5.9	5.9	2.9	2.9	5.9
助産別科	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	25.0	－	－	－
保育科	24	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【学科別　学生に希望する資格や検定（3/3)】(%)

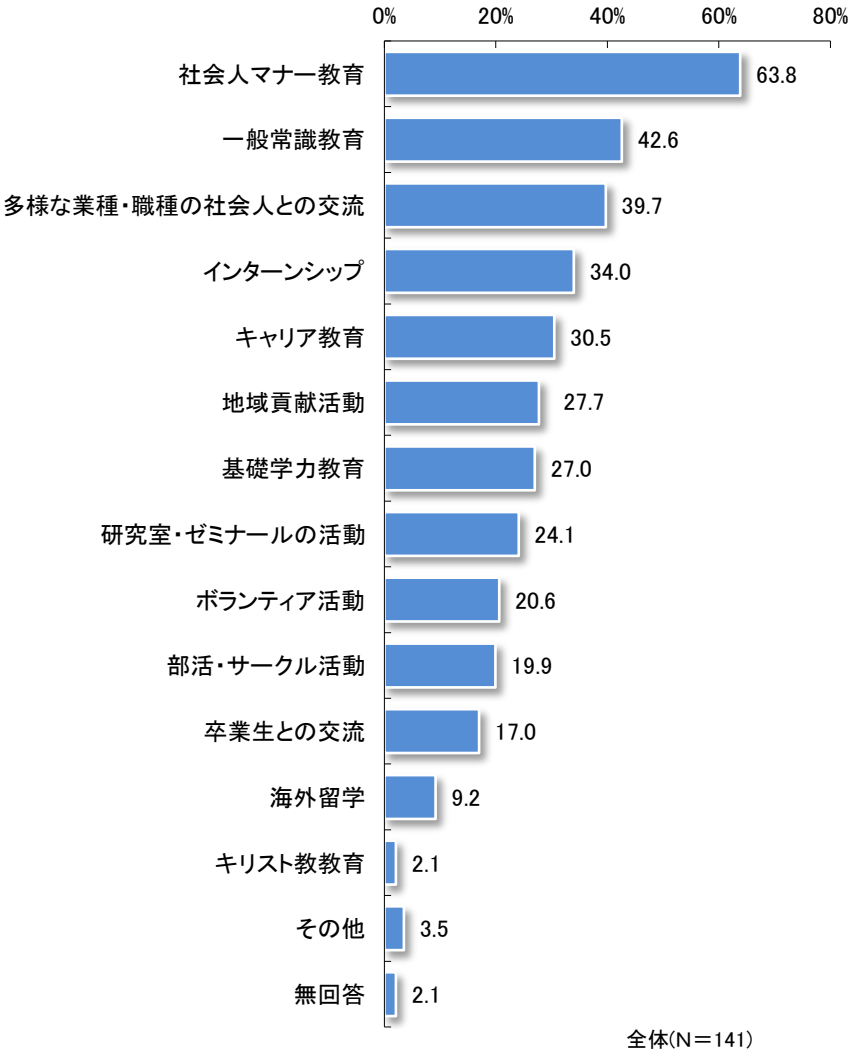
	全体（人）	栄養教諭免許	観光英語検定	旅行業務取扱管理者	日本語教員養成課程修了	日本漢字能力検定	フードスペシャリスト	介護職員初任者研修	貿易実務検定	外務員（金融商品）	色彩士検定・色彩検定	フードコーディネーター	ピアヘルパー資格	その他
全　体	141	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	5.7
看護学科	14	7.1	－	－	－	－	－	14.3	－	－	－	－	－	－
福祉学科	26	3.8	－	－	7.7	－	－	－	－	－	－	－	－	11.5
栄養学科	25	－	－	－	－	4.0	8.0	－	4.0	－	4.0	4.0	4.0	4.0
英語学科	14	－	7.1	7.1	－	－	－	－	－	7.1	－	－	－	7.1
観光文化学科	34	－	2.9	2.9	－	2.9	－	－	－	－	－	－	－	8.8
助産別科	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
保育科	24	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

〔5〕大学生の人間形成に必要な支援

問　大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

大学の人間形成に必要な支援は、「社会人マナー教育」（63.8%）が最も多く、次いで、「一般常識教育」（42.6%）、「多様な業種・職種の社会人との交流」（39.7%）となっている。

【大学生の人間形成に必要な支援】



【学科別　大学生の人間形成に必要な支援（1/2)】（%）

	全体（人）	社会人マナー教育	一般常識教育	多様な業種・職種の社会人との交流	インターンシップ	キャリア教育	地域貢献活動	基礎学力教育	研究室・ゼミナールの活動
全　体	141	63.8	42.6	39.7	34.0	30.5	27.7	27.0	24.1
看護学科	14	71.4	64.3	50.0	42.9	42.9	28.6	28.6	－
福祉学科	26	69.2	46.2	34.6	26.9	30.8	30.8	26.9	23.1
栄養学科	25	64.0	36.0	40.0	40.0	24.0	24.0	24.0	32.0
英語学科	14	57.1	35.7	35.7	28.6	42.9	28.6	28.6	35.7
観光文化学科	34	61.8	41.2	44.1	41.2	26.5	29.4	29.4	29.4
助産別科	4	75.0	75.0	50.0	－	25.0	－	50.0	－
保育科	24	58.3	33.3	33.3	29.2	29.2	29.2	20.8	20.8

【学科別　大学生の人間形成に必要な支援（2/2)】（%）

	全体（人）	ボランティア活動	部活・サークル活動	卒業生との交流	海外留学	キリスト教教育	その他	無回答
全　体	141	20.6	19.9	17.0	9.2	2.1	3.5	2.1
看護学科	14	35.7	－	14.3	－	7.1	7.1	－
福祉学科	26	34.6	23.1	－	3.8	－	3.8	－
栄養学科	25	12.0	24.0	28.0	4.0	－	4.0	－
英語学科	14	7.1	21.4	21.4	35.7	7.1	－	－
観光文化学科	34	5.9	26.5	14.7	11.8	－	－	5.9
助産別科	4	25.0	－	－	25.0	－	－	25.0
保育科	24	33.3	16.7	29.2	4.2	4.2	8.3	－

〔6〕採用について

問　貴事業所において、過去５年間で採用の実績がある大学名を３校まで差し支えなければ、ご記入ください。

各事業所において、過去５年間で採用に実績がある大学名を３校まで自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

看護学科

大学名	記入数
久留米大学	1
聖マリア学院大学	1
国際医療福祉大学	1
大分大学	1
大分県立看護科学大学	1
福岡女学院大学	1
純真学園大学	1
福岡看護大学	1
上智大学	1
山口県立大学	1
山陽小野田市立山口東京理科大学	1

栄養学科

大学名	記入数
中村学園大学	3
梅光学院大学	2
西九州大学	2
安田女子大学	1
十文字学園女子大学	1
中村学園大学短期大学部	1
沖縄大学	1
長崎国際大学	1
福岡国際医療福祉大学	1
九州看護福祉大学	1
熊本保健科学大学	1
東亜大学	1
東京農業大学	1
昭和女子大学	1
東洋大学	1
東筑紫短期大学	1
北九州保育福祉専門学校	1
甲南女子大学	1
福岡女子大学	1
西南女学院大学	1
久留米大学	1
九州栄養福祉大学	1

福祉学科

大学名	記入数
久留米大学	4
九州産業大学	3
福岡県立大学	3
山口県立大学	3
西南女学院大学	2
福岡教育大学	2
西南学院大学	2
中村学園大学	2
佐賀女子短期大学	1
九州看護福祉大学	1
北九州市立大学	1
日本文理大学	1
山口大学	1
岡山理科大学	1
別府大学	1
広島国際大学	1
福岡女学院大学	1

英語学科

大学名	記入数
北九州市立大学	3
九州国際大学	1
下関市立大学	1
立教大学	1
早稲田大学	1
明治大学	1
山口大学	1
青山学院大学	1
立命館アジア太平洋大学	1
九州産業大学	1
西南女学院大学	1
東邦大学	1
神奈川工科大学	1
東京農業大学	1
筑紫女学園大学	1
福岡女学院大学	1
福岡女子大学	1

観光文化学科

大学名	記入数
北九州市立大学	8
九州産業大学	5
久留米大学	3
福岡大学	3
京都女子大学	2
同志社女子大学	2
神戸女学院大学	2
西南女学院大学	2
九州国際大学	2
下関市立大学	2
九州女子大学	2
山口大学	1
福岡女学院大学	1
西日本工業大学	1
山口県立大学	1
広島修道大学	1
筑紫女学園大学	1
中村学園大学	1
西南学院大学	1
島根大学	1

助産別科

大学名	記入数
西南女学院大学	1

保育科

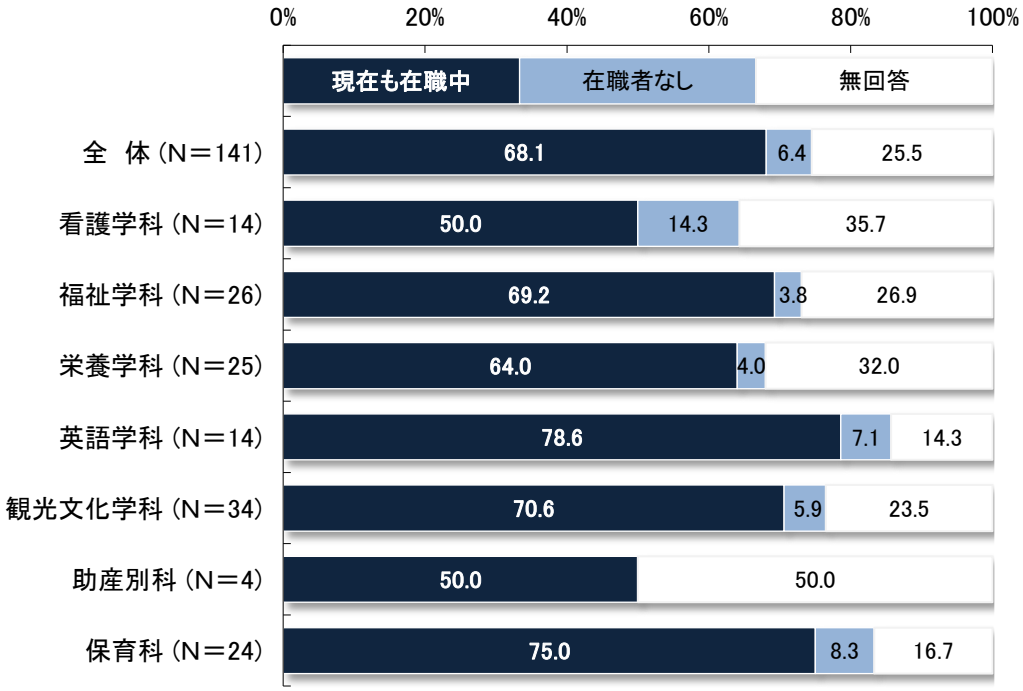
大学名	記入数
東筑紫短期大学	10
北九州保育福祉専門学校	5
福岡こども専門学校	3
宇部フロンティア大学短期大学部	2
山口県立大学	2
九州女子短期大学	2
下関短期大学	2
梅光学院大学	2
九州女子大学	2
西日本工業大学	2
九州共立大学	2
九州国際大学	2
中村学園大学	2
広島経済大学	1
福岡女学院大学	1
福岡教育大学	1
筑紫女学園	1
福岡女学院	1
福岡県立大学	1
北九州市立大学	1
日本文理大学	1
福岡こども短期大学	1
西南女学院大学短期大学部	1

問　本学卒業生の在職人数と最近５年以内に入職した本学卒業生のうち１年以内に退職した人数をご記入ください。

在職状況について、就業先全体では「現在も在職中」（68.1%）が最も多くなっている。

学科別にみると英語学科、観光文化学科、保育科では「現在も在職中」（英語学科：78.6%、観光文化学科：70.6%、保育科：75.0%）が 70%を超えて多くなっている。

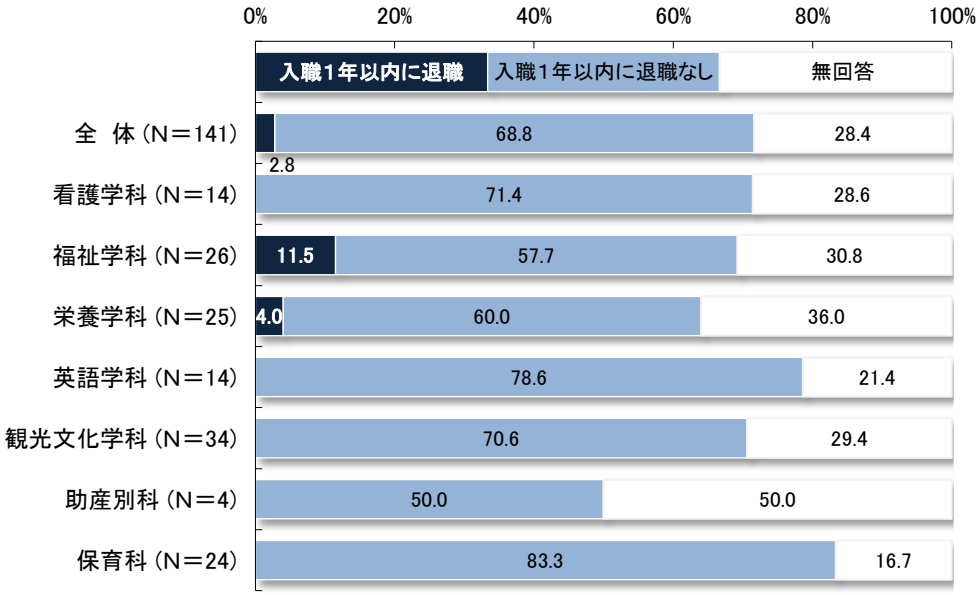
【在職状況】



退職状況について、就業先全体では、「入職 1 年以内に退職なし」（68.8%）が最も多くなっている。

学科別にみると、無回答の割合が高い学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、福祉学科では「入職 1 年以内に退職」の割合が他学科に比べ高い傾向にある。

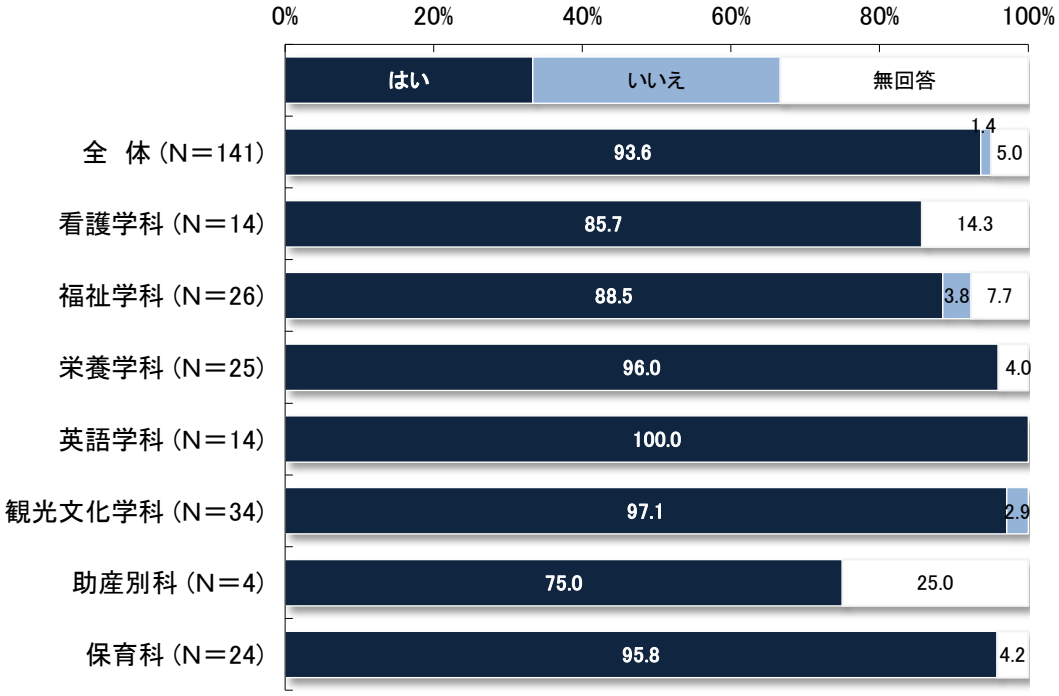
【退職状況】



問　貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

今後の応募機会について、全体結果及び学科別ともに「はい」の割合が大半を占める結果となっている。

【応募機会】



〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問　本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【採用・就職支援について】　（回答者数：36人/141人）

学科	自由回答
福祉学科	病院MSWについては、基礎学力は問題ないですが、コミュニケーション能力を問われる職種だと思います。他職種との連携も必要になるので、その力を発揮出来るような、実践に合ったことが必要だと思います。病院に就職が少ないと聞きます。MSW希望の方の病院見学など、就職した後のギャップを無くせると、病院MSWは増えていくのではないかと感じています。これから活躍できる人材の育成を期待しています。
保育科	幅広く多くの人に接しながら自己研鑽の中で、自分を成長させていく意欲を持つ人材の育成。

【現在就業中の卒業生について】

学科	自由回答
福祉学科	本校の養護教諭で2期連続採用させて頂いております。特に今回の養護教諭（新卒）の先生はとてもよく頑張ってくれております。今後もずっと本校で頑張ってもらいたいと思いますし、貴学卒業生の評判はとても良いです。ありがとうございます。今後とも何かありましたら、お願いしたいと思います。
栄養学科	今年入職された貴大学卒業生は、素直で快活、コミュニケーション能力も優れた、とても素敵な方です。仕事に真面目に取り組む姿勢もあり、とても良い人材が来てくれて喜ばしく思います。ひとえに貴大学の学生に対する真摯な教育の賜物だと感じます。
	この度は入職して頂きありがとうございます。久しぶりの新卒者の採用ということもあり、指導する方も戸惑っていることに申し訳なく思います。また、本人もコロナ禍の中で制限された学生生活によって、今までできていたことができなかった状況もあるのか、戸惑うことも多いのかなと思います。少しずつ社会人として成長していけるように見守っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。
英語学科	新入社員と思えないぐらい戦力になっております。一般職の職員の重要性が高まってきており、引き続き採用活動にご協力頂きたいと思います。
	2名共に非常にいい人物です。これからもいい学生を育てて下さい。
観光文化学科	貴学卒業生の方が1名いらっしゃいます。コミュニケーション能力も高くいつも落ち着いた行動ができており、安心して業務をお任せしています。報告書等も上手くまとめることができており、即戦力となって頂いています。
	本人はとても頑張っております。今後ともよろしくお願い致します。
	貴校の新卒入社スタッフはとても評判が良く、今後にも期待しております。
	弊社の当部に来て頂いた方は、大変優秀で素晴らしい学生さんです。
	素敵な学生が2名も来て下さり、大変感謝しております。 今後ともよろしくお願い致します。
保育科	就職課の皆様、担当課の教職員御一同様。いつも丁寧なご指導、対応、感謝しております。貴校からの学生様は、皆さんスキルの向上に向け、努力し、丁寧に子ども・保護者・関係者・同僚と関わることができています。その志が同僚にも反映し、職場環境が明るくなりました。今後も貴校で培ったマインドを大切に育むことができる様、大切に関わっていきたいと思います。

【大学への要望】

学科	自由回答
看護学科	引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。
	実習先ではない病院に、興味を持ってもらいありがとうございます。在校生と卒業生の情報共有の場があるといいと思います。
	お世話になります。今年度より入職した、貴学の卒業生の影響を受け、本校2年の生徒が貴学の看護学科への進学を強く希望しております。現在、本校は他学部の指定校枠を頂いていますが、看護学科の指定校推薦枠を是非お願いしたいと思っています。このような依頼は可能でしょうか。また、可能であればどのような手順かをご教授頂ければ幸いです。これまでも本校の卒業生が貴学へ進学し、お世話になっておりますが、今後とも同じキリスト教精神に基づく学校の繋がりを大切にしていきたいと考えております。是非、ご検討をお願い致します。
福祉学科	毎年、優秀な方々に入社して頂いており、感謝致しております。辞めないように努力して参ります。
	今後も企業や事業所、そして地域の発展に積極的に貢献できる人材の育成をよろしくお願い致します。
	日頃から学生さんをご紹介頂きありがとうございます。 今後も当院に興味のある学生さんがおられましたら、ご紹介頂けますと幸いです。
	就職課の方がいつも丁寧に対応して下さり、また昨年は学生もご紹介頂き、感謝しています。これからも学生にとって魅力ある企業となれるよう努力致しますので、今後ともよろしくお願い致します。
栄養学科	歯科医院という特殊な環境で、貴学の卒業生が三名働いており、非常に活躍しています。 機会があれば、その姿を興味のある学生さんに見てもらうことで、歯科医院での管理栄養士の働き方や貴学卒業生の社会人としての成長、活躍に夢を持って頂けるのではないかと思います。是非よろしくお願い致します。
	来年度もどうぞ宜しくお願い致します。
	卒業される学生には、とにかく保育園への就職を勧めて頂きたい。
英語学科	いつもお世話になっております。企業説明会などを通じて、弊社業務に関しまして学生の皆様にご説明をさせて頂く機会を設けさせて頂けると幸いです。ご検討をお願いします。
観光文化学科	今後ともよろしくお願い致します。
	弊社の採用開始以降（2023年度以降）、毎年、貴学の有望な人材に入社頂いております。今後も引き続きよろしくお願い致します。
	鹿児島で就職希望の学生がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さいませ。
	この度は、貴重なアンケートの機会をいただきまして、ありがとうございます。今後も、貴校と連携しながらご就職以外にもお取り組みができ、ご縁が広がりますこと楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。
保育科	生徒の性格を分かっている担当の先生に、入社当時、職員のことを相談させて頂いた時には凄く安心しました。他の学校で、そんな学生時代に戻れる先生がたまに園にお越しになってくれます。その度に、その学校の職員を順番に集める文化があるのですが、そんな時間が、いつもの先生から、学生時代の先生の姿になって、職員としても、ほっとして大変有難い時間になっていると思っています。今後とも宜しくお願い致します。
	保育科が閉じることが残念ですが、今後も実習生受け入れますので、よろしくお願い致します。
	実習生の事前指導、フォローも手厚く、有難いです。今後ともよろしくお願い致します。

保育科	貴学のこととしてではありませんが、近年、学生から社会人となって、社会人としての自覚が薄れてきているように感じることが多々あります。学生生活でのあり方を見直していく時期が来ているのかもしれませんが、当方でも実習時など外部からの指導も入れていければと思っております。
	ここ数年、貴大学からの実習生がいませんので、是非来られて下さい。
	今年度もありがとうございました。26卒でもどうぞよろしくお願い致します。

【その他】

学科	自由回答
栄養学科	アンケートの回答が分かりづらいです。
保育科	入職して下さる方に対し、保育者という仕事への理解ややりがいを感じて頂き、また、共に働く仲間がいるという喜びや安心感なども感じ得て頂けるよう、今後も努めて参りたいと思います。

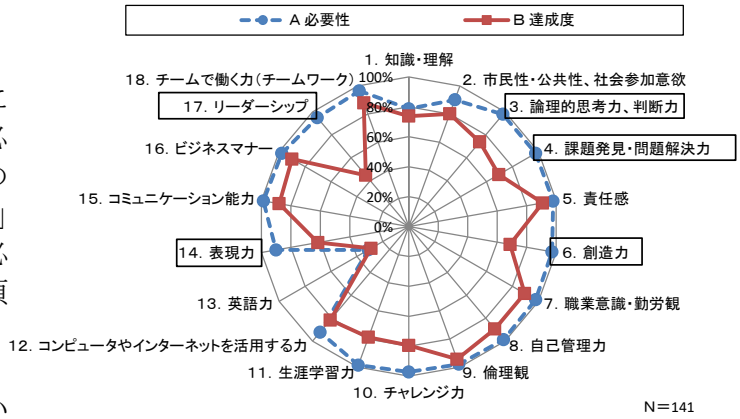
３．調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2023 年度（令和 5 度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2024 年度（令和 6 年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケートの総括とする。

▶仕事に必要な能力

＜必要性と達成度＞

就職受け入れ先から見た、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「必要である」+「やや必要である」）、卒業生の力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）として分析し、必要性と達成度の差が最も大きい上位 3 つの項目には枠を付けた。



N＝141

仕事上では、「1. 知識・理解」「13. 英語力」以外はどの項目も必要性が 90%を超えている。

必要性に比べ、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあるが、とりわけ「17. リーダーシップ」、「4. 課題発見・問題解決力」、「6. 創造力」、「14. 表現力」、「3. 論理的思考力、判断力」でその差が大きい。しかし、これらの力やスキルは、学生生活のうちに習得するというよりも、本来、社会経験を積むことで得られる要素が強いため、今後、卒業生の職場での成長に期待したい。

一方、「13. 英語力」、「9. 倫理観」、「1. 知識・理解」、「5. 責任感」などは、必要性に対する達成度のギャップが小さく、これらについては卒業生の評価が比較的高いと言える。

こうした達成度とのギャップについては、前回調査結果と同様の傾向を示していることから、在学生に対しては、リーダーシップや創造力、課題発見・問題解決力、論理的思考力などの観点の自主性を育むような指導・取り組みを取り入れる必要があると言える。

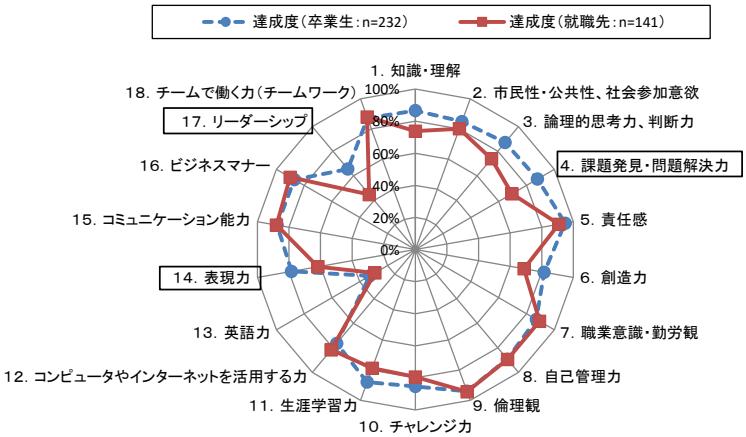
＜達成度評価のギャップ（就職先と卒業生との比較）＞

就職先が評価する卒業生の達成度と、卒業生本人が考える自身の達成度について比較を行った。

卒業生本人が考える自身の達成度に比べて、就職先が評価する卒業生の達成度の方が低い項目として「17. リーダーシップ」、「4. 課題発見・問題解決力」、「14. 表現力」については、特にギャップが大きい。

しかしながら、就職先の評価対象であるのは 2024 年 3 月卒業生となり、卒業後 1 年未満と経験が浅いことを踏まえると、特に「リーダーシップ」は妥当な評価とも考えられる。今後、経験を積んでいく中で、これらの能力を伸ばしてゆけるよう期待したい。

【就職先と卒業生の達成度評価の比較】



▶採用について

＜採用時に重要視する能力＞

事業所が採用の際に重要視する能力として、「15. コミュニケーション能力」や「5. 責任感」、「18. チームで働く力（チームワーク）」が約 7 割～8 割と他の項目より高くなっており、特に人と連携して働いていくスキルを重視している様子がうかがえる。これらは、前回調査結果でも上位に挙げられており、常に採用の判断基準となっていると言える。また、これらは卒業生アンケートでも大学・短期大学部で得たスキルとして 8 割以上が『身につけている』と回答しており、就職先が重要視している能力と大学・短期大学部で得られたスキル（達成度）は一致する。

なお、学科別にみても最も重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」と「5. 責任感」、「18. チームで働く力（チームワーク）」の有無が重要とされていることがわかる。

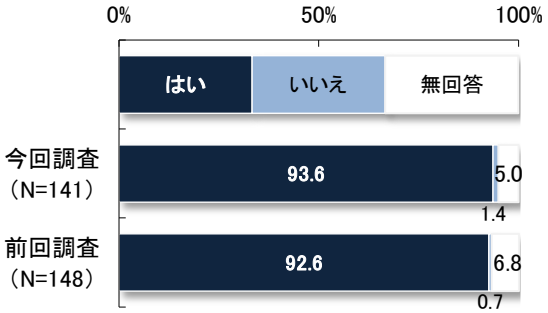
また、就職先から学生に希望する資格や検定について学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」、英語学科で「ＴＯＥＩＣ」、助産別科で「助産師」、保育科で「保育士」等、当然のことながら卒業学科に応じた専門性が求められており、資格の有無が採用に大きく影響すると言える。

▶大学・短期大学部で必要な支援

大学生の人間形成に必要な支援として、「社会人マナー教育」、「一般常識教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」が上位に挙げられた。これらは前回調査でも上位に挙げられていることから、大学でも基礎的な社会人マナーや一般常識など社会に出て役立つ教育機会の充実や、社会人との交流、社会参加など、在学中に経験できるような環境づくりが必要とされている。

＜今後の採用について＞

【今後の採用意向（前回調査との比較）】



今後の採用時に、本学の学生に応募機会を与えるか否かについては、9 割を超える事業所が応募機会を与えると回答しており、前回調査から引き続き高い支持を得ている。

調査結果から、卒業生の仕事に必要な力やスキルに不十分な部分はあるものの、就職受け入れ先では今後も引き続き採用意向があることから、本学の学生は採用に値する一定の評価を得ているものと考えられる。

本学の卒業生が今後も事業所の期待に応え、社会に貢献できるよう、在学時からの人材育成に引き続き取り組む必要がある。

▶大学に対する意見や要望

大学に対する意見や要望について自由記述形式にて回答を得たところ、本学の卒業生に対して好評価の事業所が多く、大学に対する意見としても、企業説明会などの実施依頼や学生の紹介依頼等、採用に積極的な意見が多い。

総じて、就職先から見た本学卒業生の評価は高いものと考えられるが、就職受け入れ先では共通して、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力のある学生を求めており、大学・短期大学部においては、専門的な知識や経験、スキル等だけではなく、こうした人間形成の基礎を育む教育・指導が今後も求められていると言える。

第３章　調査項目

2024(令和 6)年 12 月

卒業生の皆さまへ

西南女学院大学
学長　浅野　嘉延

「西南女学院大学　卒業生アンケート調査」について（お願い）

拝啓　卒業生の皆様におかれましては、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。
さて、本学では、卒業生の皆様の現在の状況を確認するとともに、卒業生からの本学に対する率直なご意見やご要望をいただくことで、今後のより良い大学運営に役立てていきたいと考えております。
つきましては、年末のお忙しい時期に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力をくださいますようお願いいたします。　敬　具

１．調査内容
西南女学院大学　卒業生アンケート調査
２．対象者
2022 年 3 月大学卒業生
３．回答期限
2025 年 1 月 31 日（金）
４．回答方法
以下の URL または QR より、WEB ページからご回答ください。
【URL】
https://forms.gle/yuAtcqZSxfcpa16t7
【QR】

※このアンケート調査により得られた結果は統計的に集計し、皆様の個人的な情報が公表されることや他の目的に使用することは一切ありません。

【問い合わせ先・回答先】
〒803－0835
北九州市小倉北区井堀 1－3－5
西南女学院大学　就職課
TEL　(093)583－5777
FAX　(093)583－4633

西南女学院大学　卒業生アンケート調査

Ⅰ．あなたご自身のことについて該当するものに○をつけてください。

1. 卒業した学科を教えてください。

1. 看護学科	2. 福祉学科	3. 栄養学科	4. 英語学科	5. 観光文化学科	6. 助産別科

2. 現在の状況を教えてください。

1. 現在、仕事をしている　→ **Ⅱへ進んでください**	2. 現在、仕事をしていない　→ **Ⅳへ進んでください**

Ⅱ．現在仕事をしている方におたずねします。

1. 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）⇒ [　　]

2. 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）⇒ [　　]

3. 現在の勤務先について○をつけてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わっていない	2. 転職した　→ **Ⅲに進んでください**

4. 雇用形態について教えてください。
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

1. 正規職員	2. 契約(非正規)職員	3. パート・アルバイト	4. 派遣社員	5. その他(　　)

②現在の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

1. 正規職員	2. 契約(非正規)職員	3. パート・アルバイト	4. 派遣社員	5. その他(　　)

5. 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

1. 満足している	2. どちらでもない	3. 満足していない

Ⅴに進んでください

6. Ⅱ-5 で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

1. 転職(退職)を考えている	2. 転職(退職)するまではない

Ⅴに進んでください

Ⅲ．Ⅱ-3 で「転職した」を選択した方におたずねします。

1. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）⇒ [　　]

2. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）⇒ [　　]

3. 雇用形態について教えてください。
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

1. 正規職員	2. 契約(非正規)職員	3. パート・アルバイト	4. 派遣社員	5. その他(　　)

②現在の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

1. 正規職員	2. 契約(非正規)職員	3. パート・アルバイト	4. 派遣社員	5. その他(　　)

4. 転職された時期をご記入ください。（複数回転職された場合は最初の転職についてご記入ください。）

入職後、[　　]年[　　]ヶ月目

5. 転職した理由に○をつけてください。（複数選択可）

1. 仕事内容	2. 給与	3. 休日	4. 福利厚生
5. 人間関係	6. 社風・職場の雰囲気	7. 勤務地	8. 将来性
9. 家庭の事情	10.その他(　　)		

Ⅴに進んでください

Ⅳ．現在、仕事をされていない方におたずねします。

1. 現在の状況に○をつけてください。（複数選択可）

1. 求職中	2. 学生	3. 家事、子育て	4. その他(　　)

2. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）⇒ [　　]

3. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（１つ選択）⇒ [　　]

4. 卒業時の雇用形態に○をつけてください。（１つ選択）

1. 正規職員	2. 契約(非正規)職員	3. パート・アルバイト	4. 派遣社員	5. その他(　　)

5. 退職した理由に○をつけてください。（複数選択可）

1. 仕事内容	2. 給与	3. 休日	4. 福利厚生	5. 人間関係
6. 社風・職場の雰囲気	7. 勤務地	8. 将来性	9. 家庭の事情	
10.その他(　　)				

Ⅴ．仕事をする中で感じたこと（苦労したことや成長したことなど）をご記入ください。

（裏面につづく）

【業種・職種区分表】

A 業種

1 農業
2 林業
3 漁業
4 鉱業、採石業、砂利採取業
5 建設業
6 製造業
7 電気・ガス・熱供給・水道業
8 情報通信業
9 運輸業
10 卸売・小売業
11 金融・保険業
12 不動産業、物品賃貸業
13 飲食業
14 宿泊業
15 一般病院
16 精神科病院
17 クリニック
18 高齢者施設
19 障がい児・者施設
20 児童施設
21 保育園
22 教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23 幼稚園
24 学習支援業
25 サービス業
26 公務
27 その他(　　)

B 職種

1 事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）
2 販売
3 営業
4 接客
5 看護師
6 保健師
7 助産師
8 医療ソーシャルワーカー
9 相談員
10 精神保健福祉士
11 支援員・指導員
12 介護職
13 保育士
14 管理栄養士
15 栄養士
16 幼稚園教諭
17 養護教諭
18 英語教諭
19 公務員
20 その他（　　）

Ⅵ. 西南女学院大学で受けた教育について教えてください。

①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、（　）内に具体的内容をご記入ください。

			A 達成度 西南女学院大学で得た力やスキル				B 必要性 現在の仕事において必要な力やスキル				C 能力やスキルを身につけるため役立った事（複数回答可）									
			身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	役に立つ	やや役に立つ	あまり役に立たない	役に立たない	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	先輩や友人との交流	部活・サークル、	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修
1	**知識・理解** 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	**市民性・公共性、社会参加意欲** 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	**論理的思考力，判断力** 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	**課題発見・問題解決力** 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	**責任感** 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	**創造力** 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	**職業意識・勤労観** 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	**自己管理力** 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	**倫理観** 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	**前に踏み出す力（チャレンジ力）** 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	**生涯学習力** 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
12	**コンピュータやインターネットを活用する力** 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
13	**英語力** 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
14	**表現力** 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
15	**コミュニケーション能力** 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
16	**ビジネスマナー** 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
17	**リーダーシップ** 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
18	**チームで働く力（チームワーク）** 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19	**その他** （基礎学力・一般常識など　　）	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

②上記の表の 1～19 の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、５つまでその番号をご記入ください。 ⇨ □ □ □ □ □

Ⅶ. 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければその理由をご記入ください。

Ⅷ. どの様な授業があれば更によかったか具体案があればご記入ください。

Ⅸ. 大学に対して講義以外でもっと支援をしてもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（５つまで選択可）。
また、具体的な内容があればご記入ください。

1. 部活、サークル活動　2. 研究室・ゼミの活動　3. キャリア教育　4. 実習、インターンシップ　5. ボランティア活動
6. 地域貢献活動　7. 海外留学　8. 卒業生との交流　9. 多様な業種・職種の社会人との交流　10. キリスト教教育
11. 一般常識教育　12. 基礎学力教育　13. 社会人マナー教育

【具体的な内容】

Ⅹ. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。

なお、今後、仕事のことなどで相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

下記の項目は差し支えない範囲でご記入ください。

氏名	住所	勤務先
	〒 携帯番号　　－　　－	

〈個人情報保護について〉ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2024(令和 6)年 12 月

採用ご担当者　様

西 南 女 学 院 大 学
西南女学院大学短期大学部
学 長　浅 野　嘉 延

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査」について(お願い)

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より、本学学生の就職に関しましては、格別のご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。
さて、本学では、卒業生を受け入れていただいた事業者様から、本学の教育に関する評価をいただくことで、更なる大学教育の質の向上を図り、より社会で活躍できる人材の育成に役立てて参りたいと考えております。
つきましては、本学卒業生の評価に関するアンケート調査のご回答をお願いいたします。
ご多用中まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬　具

１．調査内容
就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査
２．対象者
本学の〇**学科**卒業生で、**2024 年 4 月**就職者
３．回答期限
2025 年 1 月 31 日（金）
４．回答方法
以下の URL または QR より、WEB ページからご回答ください。
【URL】
https://forms.gle/rrsX31cRzwhA6cEA7
【QR】

【問い合わせ先・回答先】
〒803－0835
北九州市小倉北区井堀 1－3－5
西南女学院大学　就職課
TEL　(093)583－5777
FAX　(093)583－4633

就職受け入れ先から見た西南女学院大学･西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査

Ⅰ．　回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

アンケート対象者：2024 年 4 月就職者　○学科 卒業生　　※在職者複数の場合、総合的評価としてご記入ください。

Ⅱ．　下記の項目の仕事に必要な能力に関して、Ａ、Ｂ、Ｃそれぞれ該当する番号に○をつけてください。
その他を選択した場合は、(　)内に具体的内容を記入してください。

			A 必要性 現在の仕事において必要な力やスキル				B 達成度 西南女学院大学 卒業生の力やスキル					C 採用の際、重要視する能力 上位5つに○をつけてください
			必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	わからない	
1	**知識・理解** 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1
2	**市民性・公共性、社会参加意欲** 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	2
3	**論理的思考力，判断力** 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	3
4	**課題発見・問題解決力** 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	4
5	**責任感** 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	5
6	**創造力** 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
7	**職業意識・勤労観** 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	7
8	**自己管理力** 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	8
9	**倫理観** 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	9
10	**前に踏み出す力（チャレンジ力）** 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	10
11	**生涯学習力** 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	11
12	**コンピュータやインターネットを活用する力** 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	12
13	**英語力** 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	13
14	**表現力** 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	14
15	**コミュニケーション能力** 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	15
16	**ビジネスマナー** 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	16
17	**リーダーシップ** 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	17
18	**チームで働く力（チームワーク）** 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	18
19	**その他** （　基礎学力・一般常識など　）	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	19

（裏面につづく）

貴事業所に関するアンケート調査

※本様式は一事業所につき1枚ご回答ください。

Ⅰ．　回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏　名	

Ⅱ．　主たる業種に〇をつけてください。（１つ選択）

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	
8. 情報通信業	9. 運輸業	10. 卸売・小売業	11. 金融・保険業
12. 不動産業、物品賃貸業	13. 飲食・宿泊業	14. 医療・福祉業	15. 教育・学習支援業
16. サービス業	17. 公務		

Ⅲ．　従業員数に〇をつけてください。

1. 従業員 5,000 人以上	2. 従業員 1,000～4,999 人	3. 従業員 100～999 人
4. 従業員 50～99 人	5. 従業員 50 人未満	

Ⅳ．　貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに〇をつけてください。

1. 特に必要なし

＜本学で取得可能な資格・免許等＞

2. 看護師	3. 保健師	4. 助産師	5. 管理栄養士
6. 栄養士	7. 社会福祉士	8. 精神保健福祉士	9. 認定心理士
10. 保育士	11. 幼稚園教諭一種免許	12. 幼稚園教諭二種免許	13. 高等学校教諭免許（看護）
14. 高等学校教諭免許（英語）	15. 中学校教諭免許（英語）	16. 養護教諭免許	17. 栄養教諭免許

＜本学が取得支援している主な資格・検定等＞

18. BLS	19. TOEIC	20. 実用英語技能検定	21. TOEFL
22. 観光英語検定	23. 旅行業務取扱管理者	24. 通訳案内士	25. 旅行地理検定
26. 貿易実務検定	27. 外務員（金融商品）	28. 日本語教員養成課程修了	29. 日本漢字能力検定
30. 日商簿記	31. 秘書技能検定	32. 医療請求事務検定	
33. ビジネスコミュニケーション検定	34. ビジネス能力検定	35. ビジネス実務マナー検定	36. キータッチ 2000
37. 英語ビジネス文書作成技能検定		38. コンピュータサービス技能評価試験	
39. 販売士	40. 色彩士検定・色彩検定	41. フードコーディネーター	42. フードスペシャリスト
43. 介護職員初任者研修	44. ピアヘルパー資格	45. その他（　　）	

Ⅴ．　大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに〇をつけてください。

1. 部活・サークル活動	2. 研究室・ゼミナールの活動	3. キャリア教育	4. インターンシップ
5. ボランティア活動	6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流
9. 多様な業種・職種の社会人との交流		10. キリスト教教育	11. 一般常識教育
12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育	14. その他（　　）	

Ⅵ．　採用について

1. 貴事業所において、過去５年間で採用の実績がある大学名を３校まで差し支えなければ、ご記入ください。（本学卒業生と同職種の女子）

大学	大学	大学

2. 本学卒業生の在職人数と最近５年以内に入職した本学卒業生のうち１年以内に退職した人数をご記入ください。

現在も在職中	人	入職１年以内に退職	人

3. 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

1. はい　　2. いいえ（差し支えなければその理由：　　）

Ⅶ．　本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。
集計結果については後日、送付させていただきます。

〈個人情報保護について〉ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2024 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

2025 年６月

発　行　　西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部
就職課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5777